



KORIYAMA CITY MUSEUM OF ART ANNUAL REPORT 2022

郡山市立美術館年報
令和4年度

目次

郡山市立美術館年報 令和4年度

目次

I	沿革・郡山市立美術館の目的と性格	2
II	展覧会事業	3
	1) 常設展	4
	2) 企画展	20
III	教育普及事業	40
	1) 講演会	40
	2) シンポジウム	40
	3) 美術講座	40
	4) スライドトーク	41
	5) ギャラリートーク	41
	6) ミュージアム・シアター	41
	7) 文化講座	42
	8) ミュージアム・コンサート	42
	9) ワークショップ	43
	10) 学校との連携事業	44
	11) 対外協力	44
	12) 図書資料・視聴覚資料	45
	13) 刊行物	45
	14) 館外での活動及び関連記事・報道	47
IV	作品収集・保存管理事業	48
	1) 新収蔵作品・美術資料一覧	48
	2) 収蔵作品貸出状況	55
	3) 収蔵作品等の掲載	57
	4) 収蔵作品修復状況	57
	5) その他の保存管理事業	61
V	利用者数	62
	1) 展覧会	62
	2) 教育普及事業	63
	3) 過去5年間の利用者数の推移状況	63
	4) 教育普及事業別参加者数の推移状況	64
VI	管理運営	65
	1) 関係法規	65
	2) 名簿・組織	69
	3) 建築設備概要・平面図・面積表	70
	4) 利用案内	74

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格

沿革

1981（昭和56）年 9月	美術館建設懇談会設置
1982（昭和57）年 2月	美術館基本構想懇話会設置
1983（昭和58）年 3月	「郡山市美術館基本構想」答申
1985（昭和60）年12月	美術品取得基金条例公布・施行
1987（昭和62）年 4月	美術館建設準備室設置
1987（昭和62）年 6月	郡山市立美術館建設検討委員会設置
1988（昭和63）年 1月	美術館建設場所決定
1989（平成元）年11月	美術館建設設計競技審査会開催
1990（平成2）年 1月	収蔵美術品特別展示開催（於：郡山市民文化センター） （株）TAK建設・都市計画研究所の設計案当選（同社に設計を委託）
1990（平成2）年 3月	美術館建設基本設計完了
1990（平成2）年10月	美術館建設実施設計完了
1990（平成2）年12月	美術館建設工事着工
1992（平成4）年 6月	美術館建設本体工事完了
1992（平成4）年 7月	郡山市立美術館条例施行 美術館建設準備室を解散して美術館としてスタート
1992（平成4）年11月	美術館建設外構工事完了 11月21日 美術館開館
2017（平成29）年10月 1日	改修工事のため休館
2018（平成30）年 7月 7日	再オープン

郡山市立美術館の目的と性格

郡山市立美術館は、「市民がすぐれた美術作品に接することにより美術文化に対する深い理解と親しみを持ち、より豊かな市民生活を享受できる場とするとともに、郷土ゆかりの美術作品、国際的視野と高い水準をもった美術作品及び美術資料を収集・保存・展示して市民文化の向上を図る」という構想のもとに建設が計画された。

作品の収集は、①イギリス近代美術、②日本近代美術、③郷土ゆかりの美術、④本(版)の美術という柱をもっておこなわれている。特にイギリス近代美術について、体系的に収集したコレクションはこれまでの国内の美術館においても例を見ないもので、内外の大きな評価を得ている。

今後についても、この特色あるコレクションの一層の充実を図りつつ、調査研究、展示、教育普及など多彩な活動をおこなっていく。

また、郡山市街から安達太良山までを一望できる緑豊かな丘陵地の自然を背景とした恵まれた立地条件を十分に生かし、多くの方々にやすらぎを与える場とするために、整備していく。

Ⅱ 展覧会事業

1) 常設展

第1期 令和4年4月27日～7月18日

展示室1：銅版画でめぐるイギリスの風景

展示室3：追悼 佐藤静司

展示室2：日本美術院—洋画部門の作家たち

展示室4：①画家と日本版画

②うつわ越しの世界

第2期 令和4年7月21日～10月10日

展示室1：歌う絵画

展示室3：抽象絵画を見る

展示室2：近代洋画 -水辺を描く-

展示室4：①版画の幻想世界

②美しきガラス

第3期 令和4年10月13日～令和5年1月9日

開館30周年 郡山市立美術館名品選

+

テーマ展示「旅をめぐるコレクション Collection×旅」

第4期 令和5年1月28日～4月23日

展示室1：描かれた建築

展示室3：社会へのまなざし

展示室2：日本近代—画家たちの挑戦

展示室4：①春の版画

②食卓を彩る

2) 企画展

令和4年4月23日～6月5日

横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展

令和4年6月18日～8月28日

光と遊ぶ超体験型ミュージアム 魔法の美術館

令和4年9月10日～10月23日

ニューヨークが生んだ伝説の写真家 永遠のソール・ライター

令和4年11月3日～令和5年1月9日

開館30周年記念展①

記録する眼 豊穣の時代 明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々

令和5年1月28日～3月26日

開館30周年記念展② ヨハネ・パウロ2世美術館展

1) 常設展

令和4年度 第1期 令和4年4月27日～7月18日

展示室1 銅版画でめぐるイギリスの風景

18～19世紀のイギリスでは、風景画が大きな発展を見せました。ターナー(1775-1851)やコンスタブル(1776-1837)をはじめとする画家たちは、四季折々の自然に恵まれた風土を観察し、それぞれの価値観のもとに数多くの風景画を描き出しました。

国内で風景への関心が高まるなか、彼らの風景画を原画として、多くの版画集が出版されました。それらは油

彩画や水彩画の単なる複製にはとどまらず、卓越した技術をもつ彫版師と画家の緊密な連携作業により、高い芸術性を保持した極めて良質な銅版画となったのです。

驚くほど繊細な線の集積、深みあるインクの明暗による美しい階調、モノクロームの豊かな空間に広がるイギリスの風景をご堪能ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ポール・サンドビー	聖アウグスチヌス修道院の大門、カンタベリー	1782	アクアチント・紙
ポール・サンドビー	モンマス州チェプトウ城	1775	アクアチント、エッチング・紙
ポール・サンドビー	西方から望むカーディフ城	1777	アクアチント、エッチング・紙
ポール・サンドビー	チェプトウ城入口	1777	アクアチント、エッチング・紙
トマス・ガーティン	エア川沿いのカークストール修道院	1824	メゾチント・紙
トマス・ガーティン	ウォーフ川沿いのボルトン修道院	1825	メゾチント・紙
トマス・ガーティン	ユア川とスケル川沿いのリッポン大聖堂	1825	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョン・コンスタブル	水浴びをする人たち、ハムステッド	1845以前	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	ストゥール川の水門	1830-2	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	春	1830-2	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	夏の朝	1830-2	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	秋の夕暮れ	1830-2	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797頃	水彩、鉛筆・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	橋と牛		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベン・アーサー	1819	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ハンバー川の河口	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ストーンヘンジ	1829	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティーズ川の流れ、ヨークシャー		ライン・エングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ランプリス湖、北ウエールズ	1834	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙
サー・ジョシユア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス

展示室2 日本美術院—洋画部門の作家たち

日本美術院は1898(明治31)年、岡倉天心によって創設されました。明治の終わり頃には、経営難により実体を失っていましたが、1914(大正3)年に横山大観らによって再興されます。この頃、大観は洋画家の小杉未醒と出会い、「絵画自由研究所」設立を構想していました。再興時の美術院三則には、「邦画と洋画とを従来の区別の如く分画せず」とあり、洋画部門が新たに加わりました。し

かし、1920(大正9)年の再興第7回院展会期中に未醒を含む洋画部門の同人6名が連袂脱退することとなります。わずか7年の間に未醒のほか、小出楯重や木村荘八など名だたる洋画家たちが再興院展で作品を発表しました。

ここでは、再興院展洋画部門に出品した作家を中心に、院展ゆかりの作家たちをご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
小杉 未醒	日光東照宮図		水彩・紙
倉田 白羊	みのり		水彩・紙
森田 恒友	田園風景	1906(明治39)頃	水彩・紙
望月 省三	潮干狩		水彩・紙
小出 楯重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス
片多 徳郎	残雪の庭	1925(大正14)	油彩・キャンバス
里見 勝蔵	軍人	1927(昭和2)	油彩・キャンバス
小山 敬三	裸婦立像	1920-22(大正9-11)頃	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
小山 敬三	風景	1922(大正11)	油彩・キャンバス
木村 荘八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板
木村 荘八	道のある風景	1914(大正3)	油彩・キャンバス
木村 荘八	暮る、堀	1926(大正15)	油彩・板
小川 千甕	サン・ドニ風景	1913(大正2)	水彩・紙
常盤 大空	殷賦考	1962(昭和37)	岩絵具・キャンバス
常盤 大空	古代頌	1960(昭和35)	岩絵具・紙(2点組) 常盤房子氏寄贈
梶田 半古	蝶	1907-1912(明治40代)	岩絵具・絹/二曲一隻屏風
須田 珙中	鷹の図		岩絵具・紙/二曲一隻屏風
玉村 方久斗	松に鳩	1924(大正13)	岩絵具・紙/軸

展示室3 追悼 佐藤静司

昨年9月12日彫刻家・佐藤静司氏が106歳で逝去されました。1915(大正4)年5月4日郡山駅前に生まれ、県立安積中学校(現在の県立安積高校)在学中に彫刻家を志し上京。同郷の三木宗策(1891-1945)のもとで木彫を学び、戦後は澤田政廣(1894-1988)に師事。1936(昭和11)年第1回改組帝展に初入選以来、戦後も日展を中心に活躍し、審査員、評議員等を歴任。1997(平成9)年勲四等瑞宝章

を受章。近年まで日展への出品を続け、戦後の福島県の彫刻界を先導しました。

当館では2007(平成19)年「佐藤静司彫刻展」を開催しました。会場で中学生の質問に気さくに応じるなど優しい人柄を偲び、ご冥福をお祈りするとともに、代表作をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 静司	早春	1940(昭和15)	木彫 寄託作品
佐藤 静司	癩	1936(昭和11)	木彫
佐藤 静司	やすを持つ少年	1966(昭和41)	木彫、鉄
佐藤 静司	風紋	1976(昭和51)	木彫
佐藤 静司	合掌	1986(昭和61)	木彫
佐藤 静司	閑	1986(昭和61)	木彫 佐藤静司氏寄贈
佐藤 静司	求道	1995(平成7)	木彫 佐藤静司氏寄贈
佐藤 静司	フルーティスト	2000(平成12)	木彫 佐藤静司氏寄贈
佐藤 静司	せせらぎ	2003(平成15)	木彫 佐藤静司氏寄贈
佐藤 静司	街の詩	2006(平成18)	木彫 佐藤静司氏寄贈
【特別出品】			
佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ 宇野洋子氏蔵

展示室4-① 画家と日本版画

浮世絵の伝統を引き継いだ日本版画は、明治後半以降、創作版画や新版画といった芸術運動がおこり、版画芸術の新たな可能性が模索されました。そして、浮世絵師で日本画家でもあった水野年方や、その弟子、鐫木清方のように、多くの画家は、本の口絵や挿絵など版画の仕事にも取り組んでいます。

その清方らと日本画の研究団体「金鈴社」を結成した平

福百穂や、日本美術院同人となった、彫刻家で洋画家の石井鶴三は、『日本風景版画』に作品を残しました。鶴三は、『HANGA』『版芸術』にも作品を寄せています。そして、おなじく『HANGA』『版芸術』に作品を寄せた平塚運一は、院展洋画部に油彩画、水彩画を出品しています。

ここでは、日本画家や日本美術院にかかわりのある作家を軸に、版画作品との関係を探ってみたいと思います。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
水野 年方(画)	『日の出島 富士の巻』口絵	1897(明治30)	木版/本
鐫木 清方(装丁)	『日の出島 朝日の巻』(村井弦斎著)表紙	1902(明治35)	木版/本
楊洲 周延	『江戸錦』より「ふじ」「たなばた」「きん魚」	1904(明治37)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
宮川 春江	『美人十二カ月』より 「其二 観梅」「其三 桜がり」「其四 牡丹」「其五 藤見」	1898(明治31)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
山本 昇雲	『いま姿』より「ゆり園」「おどろき」「おこわ」「花かげ」	1906-1909(明治39-42)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
前川 千帆	『書窓版画帖十連聚其四 新野外小品』より	1941(昭和16)	木版/本
平塚 運一	『書窓版画帖十連聚其九 伊豆一周画詞』より	1943(昭和18)	木版/本
平塚 運一	『HANGA』第一輯より「夜の女」	1924(大正13)	木版/ポートフォリオ
石井 鶴三	『HANGA』第二輯より「裸婦浴後」	1924(大正13)	木版/ポートフォリオ
平塚 運一	『HANGA』第三輯より「北海道の或る海岸」	1924(大正13)	木版/ポートフォリオ
平塚 運一	『HANGA』第五輯より「松江郊外」	1924(大正13)	木版/ポートフォリオ

作者名	作品名	制作年	技法・材質
平塚 運一	『HANGA』第六輯より「駒沢村風景」	1925(大正14)	木版／ポートフォリオ
平塚 運一	『HANGA』第七輯より「カーネーション」	1925(大正14)	木版／ポートフォリオ
平塚 運一	『HANGA』第八輯より「南天樹」	1925(大正14)	木版／ポートフォリオ
平塚 運一	『HANGA』第九輯より「兵営付近」	1926(大正15)	木版／ポートフォリオ
石井 鶴三	『HANGA』第十二輯より「犬」(表紙)	1927(昭和2)	木版／ポートフォリオ
大内 青圃	『版芸術』第一号より「少女」(表紙)	1932(昭和7)	木版／本
大内 青圃	『版芸術』第三号より「除草」(表紙)	1932(昭和7)	木版／本
大内 青圃	『版芸術』第四号より「向日葵」(表紙)	1932(昭和7)	木版／本
前川 千帆	『版芸術』第五号より「赤城山上」	1932(昭和7)	木版／本
平福 百穂	『日本風景版画』第三集より「松島」	1917(大正6)	木版／ポートフォリオ
小杉 未醒	『日本風景版画』第七集より「首里古城」	1917(大正6)	木版／ポートフォリオ
石井 鶴三	『日本風景版画』第九集より「中川」	1917(大正6)	木版／ポートフォリオ
石井 鶴三	『日本風景版画』第九集より「板橋」	1917(大正6)	木版／ポートフォリオ
石井 鶴三	『日本風景版画』第十集より「檜ヶ岳」	1917(大正6)	木版／ポートフォリオ
久保田 米選	『国民新聞』第196号附録より「宇治拾遺物語」	1890(明治23)	石版・紙
[資料] 鑄木 清方(画)	『月魄 藤乃の巻』(菊池幽芳著)口絵	1908(明治41)	木版／本 山田俊幸氏寄贈
[資料] 鑄木 清方(画)	『月魄 倭文子の巻』(菊池幽芳著)口絵	1908(明治41)	木版／本 山田俊幸氏寄贈
[資料] 鑄木 清方(装丁)	『円朝全集』第6巻より	1927(昭和2)	木版／本 山田俊幸氏寄贈
[資料] 安田 靱彦(装丁)	『川端康成全集』第1巻より	1948(昭和23)	木版／本 山田俊幸氏寄贈
[資料] 安田 靱彦(装丁)	『川端康成全集』第5巻より	1949(昭和24)	木版／本 山田俊幸氏寄贈
[資料] 安田 靱彦(装丁)	『川端康成全集』第15巻より	1953(昭和28)	木版／本 山田俊幸氏寄贈

展示室4-② うつわ越しの世界

暮らしのなかで、私たちは知らず知らずのうちに器を「選んで」使っています。質感や重さ、大きさ、色など器には性質があり、それが中身や他の器、季節、そして場と相性がよいかを考えているものです。これは日本で伝統的に行われてきたことでもあります。たとえば茶道では、道具の取合わせに趣向を凝らし、花見の茶会には桜の意匠の茶道具など、季節やテーマに沿った道具類を使

用し、床の間の掛物などを選びます。また、千利休は、日常生活用品であった魚籠や瓢箪を花入に見立てて茶道具に取り入れました。

今回は、器の用い方のひとつの案として絵画を展示します。その組み合わせは器の性質に合っているでしょうか。それとも、あなたなら別のものと組み合わせますか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ベン・ニコルソン	水差しと楕円形	1973	オイルウォッシュ、鉛筆・紙、木製ボード
サ・エドワード・コリー・バーンズ	『フラワーブック』より「蛇の舌」	1905	リトグラフ・紙
オーブリー・ピアズリー	「セット・オブ・オッド・ヴェリユームズ」喫煙招待状デザイン	1895	ラインブロック・紙
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	舟について	1957	エングレーヴィング・紙
ロバート・ギビングス	チューリップ	1922	木口木版・紙
クリストファー・ドレッサー	六角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	水差し「ラクダの背」	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	青緑釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉刻文花瓶	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	刻文舟形容器	1892-95頃	陶器
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器
原 撫松	桔梗		水彩、鉛筆・紙
原 撫松	木春菊		水彩、鉛筆・紙
安井 曾太郎	『安井曾太郎版画集』(石原求龍堂)より「魚とさざえ」	1933(昭和8)	木版・紙
岩谷 徹	赤い魚(大)	1976(昭和51)	メゾチント・紙
岸田 劉生	丹絵ごのみ・麗子		木版・紙 (榊寿ビル寄贈)
佐藤 潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	花器・アダムとイヴ		ガラス／宙吹・サンドブラスト
佐藤 潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス／宙吹・カレット封入
佐藤 潤四郎	置物・花	1954(昭和29)頃	ガラス／サンドブラスト
佐藤 潤四郎	灰皿		ガラス／型押し
佐藤 潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス／宙吹・グラヴェール、ブランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	葡萄文ワイングラス		ガラス／宙吹・グラヴェール 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	魚(オレンジ)	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス／宙吹・カレット封入
佐藤 潤四郎	魚(ブルー)	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス／宙吹・カレット封入
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利器(試作)	1978(昭和53)	ガラス／宙吹・グラヴェール

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ 大高善二郎氏寄贈
北村 四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石
佐藤 忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第1期 常設展示室1



第1期 常設展示室2



第1期 常設展示室3



第1期 常設展示室4

展示室1 歌う絵画

演劇と音楽、舞踏、文学、舞台の建築、ポスターといったグラフィック・アート——ありとあらゆる芸術が交差する場所、それが舞台芸術とされます。この展示では、イギリス美術をとおして、ヨーロッパ演劇の源流となるギリシャ悲劇から中世以降のイギリスの聖史劇、シェイ

クスピアの戯曲、ヴェルディやワーグナーの19世紀オペラ、そして現代映画まで、舞台を彩る人物と物語を追います。絵画をたどれば、ヨーロッパ舞台芸術の歴史の一端が見えてくることでしょう。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・フラクスマン 原画、トンマーゾ・ピロリ 版刻	アイスキュロス『悲劇より』(1831年版) 表紙 岩に縛られたプロメテウス(『縛られたプロメテウス』より) ダナオスの娘たちの祈り(『救いを求める女たち』より) 使者を止めるペラスゴス(『救いを求める女たち』より) エテオクレスとポリュネイクスの決闘(『テバイ攻めの七将』より) ポリュネイクスとエテオクレスの哀悼(『テバイ攻めの七将』より) トロイア陥落後のアガ멤ノンの帰還(『アガ멤ノン』より) アガ멤ノンの哀悼(『アガ멤ノン』より) クリュタイムネストラとアイギストスを殺すオレステス(『供養する女たち』より) 犠牲者を追いかける復讐の女神エリニースたち(『慈しみの女神たち』より) アテナ、アポロン、オレステスのもとを立ち去る復讐の女神エリニースたち(『慈しみの女神たち』より) アトッサの夢(『ペルシャ人』より) ペルシャ人の敗北(『ペルシャ人』より)	1831	ラインエングレーヴィング・紙/ ポートフォリオ (ローダー・コレクション)
ジョン・フラクスマン 原画、ウィリアム・ブレイク版刻 ポール・ナッシュ	『神統紀、仕事と日々とヘシオドスの生きた時代』より ヘシオドスとムーサたち 『フォード・マドックス・フォード(ヘファー)による ボスフォラス氏とミュースの神々』表紙(バルナッソス)	1816-7 1923	ステイップル、ラインエングレーヴィング・ 紙/ポートフォリオ (ローダー・コレクション) 木版・紙/本 (ローダー・コレクション)
デイヴィッド・ジョーンズ	チェスター劇「大洪水」のための10点の挿絵集 (クローバー・ヒル・エディションズ)	1977	木口木版/ポートフォリオ (ローダー・コレクション)
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	『フラワー・ブック』より ベツレヘムの星	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	『フラワー・ブック』より 旅人の喜び	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
ヒラリー・ペプラー (画・刻)	『三人の賢者』	1929	木口木版/本 (ローダー・コレクション)
ウィリアム・ブレイク	眠るダンカン王に近づくマクベス夫人		水彩、インク・紙
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	『フラワー・ブック』より 壁越しの逢引き	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
オーブリー・ピアズリー	『トリスタンとイゾルデ』表紙デザイン	1893-4頃	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	タンホイザー		写真製版
オーブリー・ピアズリー	T. マロリー『アーサー王の死』	1893-4	ラインブロック・紙/本(分冊12点)
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	アヴァロンにおけるアーサー王の眠り	1894	グワッシュ・紙
オーブリー・ピアズリー	ジュゼッペ・ヴェルディ		写真製版
フォード・マドックス・ブラウン	牢獄のヤコボ・フォスカリ	1869	チョーク・紙
オーブリー・ピアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカナーン (オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	1893	ラインブロック・紙
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	『フラワー・ブック』より 目覚めて、愛しい人よ!	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
デイヴィッド・ホックニー	『六つのグリム童話(C版)』 成長したラプンツェル (『ラプンツェル』より)	1969-70	エッチング、アクアチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス

展示室2 近代洋画 —水辺を描く—

生活の場として、憩いの場として、人の営みに欠かせない“水辺”。水はもっとも身近でありながら、浄めの意味をもつ神聖な存在でもありました。日本美術において、川や湖、滝など水にまつわる自然は、伝統的な画題として重要視され続けてきましたが、油彩画・水彩画といった西洋の技法を取り入れた明治以降の洋画家にとっても

親しみ深いテーマでした。

その土地らしさを有する名所としての水景、また日常の景色や寛ぎの場としての水辺、いずれにも情景の美を描き出すために、洋画家たちが西洋由来の画材を駆使しているさまが見てとれるでしょう。水面に煌めく画家の個性をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
川村 清雄	滝	1919(大正8)	油彩・キャンバス	
諫山 麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス	
野崎 華年	富士	1907(明治40)	油彩・キャンバス	
高木 背水	英国帝室植物園		油彩・キャンバス	
吉田 博	ウインザー橋	1906(明治39)頃	水彩・紙	
武内 鶴之助	ウインザー城		パステル・ボード	
三宅 克己	箱根		水彩・紙	
原 撫松	鯉を見る少女		水彩・紙	原優子氏寄贈
小寺 健吉	アンシイ湖畔	1922(大正11)	水彩・紙	
小寺 健吉	セーヌ河畔	1922(大正11)	水彩・紙	
中澤 弘光	灯(加茂川夕涼)	1914(大正3)	油彩・キャンバス	
諫山 麗吉	神戸付近の風景		油彩・キャンバス	
中川 八郎	秋の河辺		水彩・紙	
鹿子木 孟郎	綾瀬(スケッチ)	1893(明治26)	鉛筆・紙	
鹿子木 孟郎	綾瀬		水彩・紙	
吉田 博	夕暮		水彩・紙	
高橋 勝蔵	水辺	1905(明治38)	水彩・紙	
川村 清雄	水郷		油彩・キャンバス	木村喜昭氏寄贈
栗原 忠二	遠くに橋の見える風景、ストランド=オン=グリーン		油彩・ボード	
三宅 克己	セーヌ河畔サンジェルマンを望む		水彩・紙	
互井 開一	ヴェトゥイユ		グワッシュ・紙	小針代助氏寄贈
水野 以文	水辺の風景		水彩・紙	
石川 欽一郎	ロンドン・テムズ河岸ハマースミス	1922(大正11)頃	水彩・紙	
南 薫造	河べりから見た風景		水彩・紙	
南 薫造	河と並木		水彩・紙	
後藤 工志	夏の川辺		水彩・紙	
織田 一磨	京町堀、千秋橋からの眺め	1934(昭和9)頃	水彩、木炭・紙	
石川 寅治	泊河口 『琉球』	1912(明治45)	水彩、パステル・紙/画帖	

展示室3 抽象絵画を見る

「あなたの話は抽象的ですね」といわれて、うれしい人は少ないかもしれません。それは、その話が「わかりにくくて、あいまい」であることを意味するからです。抽象絵画は、そうした絵のことでしょうか？

抽象という漢字から、鼻の長い象を描いた絵を連想してしまうと、抽象絵画からはなれてしまいます。しかし、その象は、それがほかの動物と区別できる固有の「かた

ち」もっています。抽象の「象」とは「かたち」のことでした。そして、抽象絵画とは、具体的な「もの」をつくりあげている「かたち」、そして「色」「線」そのものに注目する絵なのです。

力強い線や、明るい色、色の対比、色とかたちから生まれる動き、リズム感などに気づきだすと、抽象絵画がとたんにおもしろくなってきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
今井 俊満	コンポジション 23	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	
勝呂 忠	ひろがり(A)	1962(昭和37)	油彩、樹脂・キャンバス	
佐藤 昭一	コンポジション	1959	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈
佐藤 昭一	作品61	1961	油彩、パテ・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈
堂本 尚郎	1962-18(二元的なアンサンブル)	1962	油彩・キャンバス	
リチャード・ゴーマン	フラット(ナイン・ペインティングスより)	2000	油彩・キャンバス	
勝呂 忠	浮遊する3本の線	1989(平成元)	油彩・キャンバス	
ヴァイクター・パスモア	ワインレッド(version 1)	1964	レリーフペインティング・パネル	
デム・パーバ・ハップナス	ふたつのフォルム、青	1958	油彩ボード	
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メゾチント	
アラン・グリーン	ドロ잉336	1995	ミクストメディア・紙	
アラン・グリーン	ドロ잉339	1995	ミクストメディア・紙	

展示室 4-① 版画の幻想世界

近代以降、作家個人の独創性が評価の主軸となってきた版画芸術の世界。そこには原画を描き、版を刻み、摺るという、全ての工程を一人が担う事で得られる創作の喜びがありました。S. W. ヘイターが一版多色刷エッチングという独自の技法を開発したように、また柄澤齊が伝統的な木口木版技法を深化させたように、版画家たちはそれぞれ技法を追求します。

そうした創作自体への関心は、作家独自の想像の世界を忠実に描き出す上で大切な要素となっています。躍動する線や色彩による心象風景、物語を感じさせる空想世界、現実を映す鏡として描かれた幻影など、様々なイメージの質感や量感を熟練の技が支えているのです。

作家の確かな技量と想像力が織りなす幻想の世界を、どうぞお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
デイヴィッド・ホックニー	こわさを習いに出かけた若者の話(家)	1969-70	エッチング・紙
デイヴィッド・ホックニー	こわさを習いに出かけた若者の話(鐘楼)	1969-70	エッチング、アクアチント・紙
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	緑陰	1963	エッチング、スクレイパー・紙
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	花火	1958	エッチング・紙
斎藤 寿一	波と月(B)	1964(昭和39)	ディープエッチング・紙
斎藤 清	MEDITATION 黙想	1969(昭和44)	ドライポイント・紙
斎藤 清	NUDE (A)	1969(昭和44)	ドライポイント・紙
柄澤 齊	『死と変容 I 夜』より 汝の死は我が命	1988(昭和63)	木口木版・紙/ポートフォリオ
柄澤 齊	『死と変容 I 夜』より 夢または流刑	1988(昭和63)	木口木版・紙/ポートフォリオ
柄澤 齊	『死と変容 I 夜』より 水	1988(昭和63)	木口木版・紙/ポートフォリオ
武井 武雄	『書窓版画帖十連聚其六 宇宙説』(アオイ書房)	1942(昭和17)	エッチング、ドライポイント・紙/本
恩地 孝四郎	Lyrique No. 3 楽曲によせる抒情 ラヴェル“道化師の朝歌”	1933(昭和8)	木版・紙
岩谷 徹	微睡	1974(昭和49)	メゾチント・紙
秀島 由己男	『静物考』より Shell	1985(昭和60)	メゾチント・紙/ポートフォリオ
秀島 由己男	『静物考』より Paper Balloon	1985(昭和60)	メゾチント・紙/ポートフォリオ
安部 直人	まなざし	1990(平成2)	エッチング、メゾチント・紙
中林 忠良	囚われる日々 II	1974(昭和49)	エッチング、アクアチント、メゾチント、ディープエッチング・紙
泉 茂	ヨット	1958(昭和33)頃	リトグラフ・紙
泉 茂	春		リトグラフ・紙
池田 満寿夫	空の寝台	1969(昭和44)	ドライポイント、エッチング、ルーレット、メゾチント・紙
駒井 哲郎	13	1959(昭和34)	エッチング、アクアチント、エンブレヴィング・紙
駒井 哲郎	調理場(La Cuisine)	1958(昭和33)	エッチング、アクアチント・紙
山下 清澄	『七つの幻想庭園』(アンドレ・P・マンディアルグ著)	1983(昭和58)	カラーエッチング、アクアチント・紙/ポートフォリオ

展示室 4-② 美しきガラス

光の反射や透過によって、さまざまな表情を楽しむことができるのはガラスという素材の最大の魅力です。グラスや皿、花器など、ガラスは私たちの日常生活と深くかかわっています。また、そのデザイン性の高さや美しさから実用を超えて鑑賞の対象ともなっています。

当館では、郡山市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎(1907-1988)、イギリスで活躍したデザイナーのクリス

トファー・ドレッサー(1834-1907)によるガラス作品を多く所蔵しています。ここでは、二人の作家を中心に「美しい」ガラス作品を特集します。

2022年は国連によって「国際ガラス年2022」と定められています。記念すべき年に、当館でさまざまなガラスをお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 潤四郎	ステンドグラス・窯		ガラス、鉄 小林東洋氏寄贈
佐藤 潤四郎	ブルー花器		ガラス/宙吹
佐藤 潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹・カット
佐藤 潤四郎	花器	1980年代	ガラス/宙吹、プランツ
佐藤 潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	ガラス/宙吹
佐藤 潤四郎	花器(グリーン)		ガラス/宙吹
佐藤 潤四郎	花器(グリーン)		ガラス/宙吹
佐藤 潤四郎	植物文一輪挿し		ガラス/宙吹・グラヴェール
佐藤 潤四郎	花器(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス/型吹・エッチング、カット
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス/宙吹・プランツ
佐藤 潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		ガラス/宙吹・プランツ、雲母封入 石川和子氏、長谷川貴子氏寄贈
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤 潤四郎	タンブラー(6点)		ガラス/型吹ほか 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	グリーン大杯・ガラスの神様	1980年代	ガラス/宙吹、プランツ、グラヴェール
佐藤 潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 潤四郎	花器(雲母入り)		ガラス/宙吹・雲母封入
佐藤 潤四郎	雲母入り花器		ガラス/宙吹・雲母封入
佐藤 潤四郎	花器(カレット入り)		ガラス/宙吹・カレット封入
吉田 丈夫	クリスタル瓶《瓢》		ガラス/宙吹 田淵十一氏寄贈
各務 鏡三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和45)頃	ガラス/宙吹・気泡封入、グラヴェール 田淵十一氏寄贈
佐藤 潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス/宙吹・サンドブラスト (株)ノリタケクリスタル寄贈
佐藤 潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	ガラス/宙吹 石井謙治氏寄贈
クリストファー・ドレッサー	瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶(茶色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	ローマン瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶(淡緑色クルーサ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
● 1階 笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
● 2階展示ロビー アリストテールド・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ
北村 四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石
佐藤 忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
● 前庭 バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第2期 常設展示室1



第2期 常設展示室2



第2期 常設展示室3



第2期 常設展示室4

開館30周年 郡山市立美術館名品選 テーマ展示「旅をめぐるコレクション Collection × 旅」

30周年の節目を迎える今期は、当館のコレクションから選りすぐりの優品をご覧ください。収集活動は、計画的かつ網羅的に行われることが理想ですが、現実にはそう簡単にはいきません。しかし振り返れば、思いもかけない出会いや機会によってコレクションに加わった貴重な作品もあります。そうしたエピソードなどご紹介しつつ、コレクションの魅力を体感していただければ幸いです。さらに今回は、「旅」というテーマを織り交ぜた展示内容としました。たとえば、古くから風景画と旅は深い関わりを持っています。写真が普及していなかつ

た時代、ひとびとはまだ見ぬ土地の姿を、旅する画家が描いた風景画によってまるで見てきたように知ることができました。旅先で新鮮な光景を眼にしたり、非日常的な体験をしたり…画家たちの旅の経験から、紀行的な優れた絵画も数多く生まれています。また、神話や物語のテーマとしても旅は繰り返し描かれてきました。想像の翼で幻想世界を旅する画家も少なくありません。旅への期待がふくらむ昨今、さまざまな旅にまつわるコレクションをどうぞおたのしみください。

展示室 1

作者名	作品名	制作年	技法・材質
高橋 由一	風景(鳥海山)	1880年代	油彩・キャンバス
諫山 麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス
山本 芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス
五姓田 義松	園田御令嬢肖像	1902(明治35)	コンテ・紙
川村 清雄	滝	1919(大正8)	油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893(明治26)	油彩・紙、板
小林 万吾	朽葉の袖	1907(明治40)	油彩・キャンバス
原 撫松	奈良の夕	1911(明治44)	油彩・キャンバス
高橋 勝蔵	桃と葡萄	1909(明治42)頃	油彩・キャンバス
白瀧 幾之助	編物をする少女	1895(明治28)	油彩・キャンバス
岸田 劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911(明治44)頃	油彩・板
岸田 劉生	銀座数寄屋橋	1909(明治42)頃	油彩・板
石川 寅治	房総風景	1923-24(大正12-13)頃	油彩・キャンバス
小出 檣重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス
藤島 武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス
古賀 春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和3)	油彩・キャンバス
安井 曾太郎	初秋の北京	1944(昭和19)	油彩・キャンバス
石川 欽一郎	牛荘(ニューチョワン)		水彩・紙
中川 八郎	早春		水彩・紙
吉田 博	風景		水彩・紙
原 撫松	霧の広場	1906(明治39)	油彩・キャンバス
武内 鶴之助	虹(英国牧場風景)		油彩・キャンバスボード
栗原 忠二	オックスフォード		グワッシュ・紙
南 薫造	日没		水彩・紙

展示室 2

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙
ポール・サンドビー	ウォーリック城シーザー塔	1778-82	水彩、インク・紙
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797頃	水彩、鉛筆・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
サー・ジョシユア・レイノル	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
ダンテ・ガブリエル・ロセッティ	マドンナ・ピエトラ	1874	パステル・紙
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	アヴァロンにおけるアーサー王の眠り	1894	グワッシュ・紙
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ビール街	1750-51	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ジン小路	1750-51	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
ウィリアム・ブレイク	眠るダンカン王に近づくマクベス夫人		水彩、インク・紙
オーブリー・ピアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカナーン (オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	1893	ライnbrロック・紙

展示室3

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メゾナイト
デイル・バーバラ・ヘップワース	石柱(パヴァース)	1953	油彩・パネル
デイル・バーバラ・ヘップワース	オルフェウス(マケット2)	1956	真鍮、糸
アラン・グリーン	赤に向かう白のアンゲル	1992	エッチング・紙 (榊カサハラ画廊寄贈)
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	舟について	1957	エンブレイヴィング・紙
瑛九	構図	1957(昭和32)	エアブラシ・合板 武田光司コレクション寄贈
村井 正誠	いそぐ人	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
今井 俊満	コンポジション 23	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
土橋 醇	小さな村	1955(昭和30)	油彩・キャンバス
難波田 龍起	建物の構成	1954(昭和29)	油彩・キャンバス
佐藤 昭一	シリーズ透過02	2002(平成14)	アクリル・キャンバス
安藤 重春	雨の華	1979(昭和54)	岩絵具・紙
鎌田 正蔵	ロボット家族 (B)	1982(昭和57)	アクリル・キャンバス
佐藤 静司	せせらぎ	2013(平成15)	木彫 佐藤静司氏寄贈
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピース B	1976	リトグラフ・紙
デイヴィッド・ホックニー	『放蕩者のなりゆき』より「到着」	1961-63	エッチング、アクアチント・紙
パトリック・コールフィールド	『ジュール・ラフォルグの詩(A版)』より 「あゝ、なんてありふれたこの人生」 「彼女は通りを逃げていった」 「部屋の中ばかりにいると病気になるよ」 「これらすべての告白・・・」 「おゝ、ヘレン、私は部屋の中を歩き廻る」 「彼女はスカーフを忘れてしまうだろう」	1973	シルクスクリーン・紙

展示室 4

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ネッカー川から見たハイデルベルク	1846	エッチング、ライン・エングレイヴィング・紙
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	1834-7	メゾチント・紙
ウィリアム・ブレイク	盗人たちの囊：六本足の蛇に襲われる アニョロ・ブルネレスキ	1826-7	ラインエングレイヴィング、 ドライポイント・紙
ウィリアム・ブレイク	盗人たちの囊：蛇に襲われたブオゾ	1826-7	ラインエングレイヴィング、ドライポイント・紙
サミュエル・パーマー	孤高の塔	1879	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ラルエット坊や	1859	エッチング・紙
	ヴァージルの『田園詩』第1巻	1821	木口木版、ラインエングレイヴィング・紙/本
トマス・ビューイック (画・刻)	『英国鳥類誌 第二巻 水鳥編』	1804	木口木版・紙/本
ローレンス・ハウスマン (画)	C.ロセッティ『ゴブリン・マーケット』	1893	ラインブロック・紙/本
エドモンド・エヴァンズ (刻・刷)	『バラッド集』	1860	木口木版・紙/本
デイヴィッド・ジョーンズ	エヴリマン	1929	木口木版・紙
ロバート・ギビングス	チューリップ	1922	木口木版・紙
ウィリアム・ブラウン・マクドゥーガル (画)	J.キーツ『イザベラ(バジルの壺)』	1898	木口木版・紙/本
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ (画)	W.モリス『世界の果ての泉』	1896	木口木版・紙/本
山本 芳翠 合田清(刻)	磐梯山噴火真図	1888(明治21)	木口木版・紙
柄澤 齊	旅	1988(昭和63)	木口木版・紙/ポートフォリオ
吉田 博	神の島	1930(昭和5)	木版・紙
川上 澄生	夜の銀座	1929(昭和4)	木版・紙
恩地 孝四郎	Lyrique No.3 楽曲によせる抒情 ラヴェル “道化師の朝歌”	1933(昭和8)	木版・紙
長谷川 潔	シャトー・アルヌーの寺院	1932(昭和7)	メゾチント・紙
駒井 哲郎	鳥と果实(小)	1959(昭和34)	エッチング、アクアチント、 サンドペーパーによるエッチング・紙
駒井 哲郎	花とレモン	1974(昭和49)頃	モノタイプ・紙
浜口 陽三	西瓜	1981(昭和56)	メゾチント・紙
斎藤 清	ノートルダム、パリ	1974(昭和49)	木版・紙
秋山 泰計	春宵	1968(昭和43)	木版・紙
吉田 穂高	私のコレクションより—白い家、N	1979(昭和54)	木版・紙
サー・アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	1889頃	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	1889頃	水彩・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	1891	水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙
三宅 克己	渋谷村天現寺附近の茶店	1893(明治26)	水彩・紙
大下 藤次郎	蓮池		水彩・紙
大下 藤次郎	赤城駒ヶ岳の紅葉	1907(明治40)	水彩・紙
三宅 克己	箱根		水彩・紙



第3期 常設展示室 4



第3期 常設展示室 4

作者名	作品名	制作年	技法・材質
石川 欽一郎	信州の田舎		水彩・紙
小寺 健吉	飯坂温泉		水彩・紙
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	ガラス/宙吹・カット
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	ガラス/宙吹・プランツ、雲母封入
佐藤 潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	ガラス/宙吹
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス/宙吹・プランツ
佐藤 潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹・プランツ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	銀製ティー・セット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-1882頃	金属、電気メッキ

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
清水 多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ
舟越 保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
佐藤 忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
高田 博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ
●ロビー、階段ホール 企画展全ポスター展示			



第3期 常設展示室1



ロビー



階段ホール

展示室1 描かれた建築

旅をする人にとって、その土地ならではの名建築を楽しむことも一つの醍醐味と言えるでしょう。人の生活に広く関わる建築には、実用のほかに、その時代に追及された美を見ることが出来ます。

ここでは、イギリスのもっとも古い建築様式であるノルマン様式やゴシック様式の建築が描かれた作品を中心に特集しています。ノルマン征服(1066年)後、12世紀末まで続いたノルマン様式の建築は、ずっしりとして重厚

な印象です。長い年月の間に破壊され、改装され、あるいは崩れて廃墟となったものも少なくありません。13世紀に入ると、空を貫くような鋭塔を持つゴシック様式の建築が登場します。厳しくも美しいこの建築様式は教会を中心に発展し、信仰の象徴となりました。

古の巡礼者たちが祈り、あるいは人々の生活の一部になった建築は、どのように描かれてきたのでしょうか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』より ドゥカーレ神殿 第20番目の柱頭 サン・マルコ聖堂 南側ポルティコ 驛口頭 カ・コンタリーニ・ボルタ・ディ・フェッロとカムボ・サンタ・マルゲリータから アラブ風の窓 カムボ・サンタ・マリア・マテール・ドミニ	1887	リトグラフ、エッチング、 アクアチント・紙 ／ポートフォリオ(16点組)
ジョン・セル・コットマン	『ノーフォークに見られる建築遺構集』より 丘の上の礼拝堂内部、リン ヴォルスオーカン教会の内部、ノーフォーク ヤーマスの小修道院 ラングリー修道院にあるヴォルトの石碑	1818	エッチング／ポートフォリオ
ジョン・セル・コットマン	カーンの聖トリニティー大寺院、クリプト		エッチング
ポール・サンドビー	聖アウグスチヌス修道院の大門、カンタベリー	1782	アクアチント
ポール・サンドビー	『ウェールズ12景』第1部より 中庭から見るメイナーボア城	1775	アクアチント、エッチング・紙 ／ポートフォリオ(表紙+12点組)
ポール・サンドビー	カーナーヴォン城	1776	アクアチント、エッチング
トマス・ガーティン	エア川沿いのカークストール修道院	1824	メゾチント
トマス・ガーティン	フォックス川沿いのヨーク大聖堂		メゾチント
トマス・ガーティン	リンカーン州の名所風景	1797-1801	ライン・エングレーヴィング／本
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	S.ロジャース『詩集』第1巻		ライン・エングレーヴィング／本
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ノラム城		エッチング、メゾチント
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ブルーアム城	1825	メゾチント
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』よりストーク・バイ・ネイランド	1830-2	メゾチント／ポートフォリオ
ジョン・コンスタブル	ストーンヘンジ	1843-4頃	メゾチント
トマス・ラウンド	デビルズ・タワー-キャロウ橋から見たところ	1832	エッチング
トマス・ラウンド	デビルズ・タワー-キャロウ橋に向かって見たところ		エッチング
ジョン・セル・コットマン	丘の上の聖母マリア礼拝堂、リン、ノーフォーク	1817	エッチング
ジョン・セル・コットマン	ジュミエージュ大寺院、西側正面	1819	エッチング
ジョン・セル・コットマン	『ジョン・セル・コットマンのエッチング集』より セント・ボトルフス小修道院、エセックス	1811	エッチング／ポートフォリオ
ジョン・セル・コットマン	フェカンのロマネスク遺跡		鉛筆・紙
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ピュセル広場のブルトルルド館	1823	水彩・紙
ミューアヘッド・ポーン	ノリッジの市場		ドライポイント・紙
リチャード・パークス・ポニントン	エヴルーの大時計塔		リトグラフ・紙
ウォルター・グリーヴズ	デューク通り、チェルシー	1860	エッチング・紙
ウォルター・シッカート	カフェの中	1914頃	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダール・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
サー・ジョシユア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス

展示室2 日本近代—画家たちの挑戦

明治時代、本格的に日本にもたらされた西洋の絵画技法は、当時の画家たちに衝撃を与えました。その逼真的な表現技法を獲得すべく、画家たちは手探りのなか歩みだします。

フランスで本格的に美術教育を受けた黒田清輝は、明るい印象派的な表現を日本にもたらし、東京美術学校で指導者となりました。彼の後には藤島武二や和田英作ら

も教鞭を執り、近代日本における洋画の礎を築きました。

時代が進むにつれ、画家たちは書物や雑誌をとおして海外の最新の美術に触れるようになり、それぞれの表現の可能性を模索していきます。また、欧米各地に留学する画家も増え、彼らは帰国後日本に新たな潮流を生み出しました。明治から大正にかけて、多様な展開をみせた日本の洋画をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
浅井 忠	少女の顔	1878(明治11)	木炭・紙
五姓田 義松	婦人像	1871(明治4)頃	油彩・キャンバス
百武 兼行	風車のある風景	1877(明治10)	油彩・キャンバス
高橋 由一	風景(鳥海山)	1880年代	油彩・キャンバス
五百城 文哉	真如堂図	1897(明治30)	油彩・キャンバス
諫山 麗吉	神戸付近の風景		油彩・キャンバス
黒田 清輝	東久世伯爵像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス
和田 英作	上総風景	1897(明治30)	油彩・キャンバス
藤島 武二	がくの花	1901(明治34)	油彩・キャンバス
岸田 劉生	銀座数寄屋橋	1909(明治42)頃	油彩・板
岸田 劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911(明治44)頃	油彩・板
満谷 国四郎	冬	1922(大正11)	油彩・キャンバス
高村 真夫	風景	1903(明治36)	油彩・キャンバス
牧野 義雄	ハイド・パークのアキレス像		油彩・キャンバス
原 撫松	霧の広場	1906(明治39)	油彩・キャンバス
栗原 忠二	ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板
斎藤 豊作	風景	1912(明治45)	油彩・キャンバス
山本 森之助	冬の磐梯山	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス
山下 新太郎	苔寺	1922(大正11)頃	油彩・キャンバス
高木 背水	風景		油彩・キャンバス
小山 敬三	風景	1922(大正11)	油彩・キャンバス
曾宮 一念	静物	1918(大正7)	油彩・キャンバス 武田光司コレクション寄贈
恩地 孝四郎	黒い机	1922(大正11)	油彩・キャンバス

展示室3 社会へのまなざし

第二次世界大戦が終わり、1950年代になると日本は高度経済成長の時代を迎えます。しかし、戦災からの復興を遂げる一方、社会に暗い影を落とす事件や環境問題が起こったこともまた事実です。社会の変化は芸術家たちにも少なからずの影響を与えました。

1947(昭和22)年に新美術の創造を旨として結成された「前衛美術会」には、高山良策や山下菊二、尾藤豊らが参

加し、1950年代には社会的事件を記録・報告する「ルポルタージュ絵画」と呼ばれる作品を制作するようになります。ジラード事件に取材した中村宏の《射殺 Aching》や公害問題への批判を込めた高山良策の《漁夫》は、ルポルタージュ絵画の流れのなかで生まれた作品です。

激動の時代に、歪んだ社会と向き合った芸術家たちのまなざしをご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
丸樹 長三郎	戦災後	1945(昭和20)	油彩・キャンバス 丸樹敏男氏寄贈
丸樹 長三郎	おろかなりし歴史	1945(昭和20)	油彩・キャンバス 丸樹敏男氏寄贈
吉井 忠	敗れたる風景	1946(昭和21)	油彩・キャンバス 吉井忠氏寄贈
鎌田 正蔵	飢える人	1952(昭和27)	油彩・キャンバス 鎌田正蔵氏寄贈
佐藤 昭一	夏期休業(ガラス工場にて)	1953(昭和28)	油彩・紙
尾藤 豊	川口鋳物工場 A	1955(昭和30)	水彩、墨、インク・紙
尾藤 豊	川口鋳物工場 B	1955(昭和30)	水彩、墨、インク・紙
尾藤 豊	川口鋳物	1954(昭和29)	油彩・キャンバス
中村 宏	射殺 Aching	1957(昭和32)	油彩・キャンバス
中村 宏	城	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
中村 宏	島	1956(昭和31)	水彩、墨、鉛筆、インク・紙
中村 宏	亡命者の対話より(プレヒト)No.4(少女乱舞)	1963(昭和38)	インク、墨・紙
高山 良策	漁夫	1958(昭和33)	油彩・キャンバス
高山 良策	血化洞尻酢池場留	1975(昭和50)	油彩・キャンバス 柳沼文子氏寄贈
山下 菊二	意国への帰還	1980(昭和55)	リトグラフ、コラージュ・紙
山下 菊二	身体障害児をめぐる人々	1967(昭和42)	リトグラフ、コラージュ・紙
石井 茂雄	戒厳状態 I - 暴力シリーズより -	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
黒沢 吉蔵	ガスタンクのある風景	1956(昭和31)	岩絵具、箔・紙 黒沢吉蔵氏寄贈
菊地 養之助	煙突のある風景	1959(昭和34)	岩絵具・紙 菊地一郎氏寄贈

展示室4-① 春の版画

現代の私たちが雑誌やWEBで季節ごとの特集などを見るように、江戸時代には、絵草紙屋の店先に並んだ錦絵によって、季節の話題や人気の役者などの情報が伝えられ、木版画はその中心的な役割を果たしていました。幕末から明治にかけて、銅版画や石版画など新しい技術として伝わった版画技法も、最新の情報を伝えるメディ

アとして広がり、季節の風俗や風景を魅力的に伝えました。

今回は、明治の銅版画、木版画、石版画にみられる春の情景、昭和から現代の主に木版画に描かれた華やかな春を特集します。待ち遠しい春の訪れを思いながら、お楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
岡田 春燈斎	江戸上野東叡山花盛		銅版・紙
橋本 澄月	江戸上野東叡山花見之景		銅版・紙
橋本 澄月	江戸神田明神社内風景		銅版・紙
楊洲 周延	『江戸錦』お庭あるき	1904(明治37)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
楊洲 周延	『江戸錦』長局	1904(明治37)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
宮川 春江	『美人十二ヶ月』追羽子	1898(明治31)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
宮川 春江	『美人十二ヶ月』観梅	1898(明治31)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
宮川 春江	『美人十二ヶ月』桜かり	1898(明治31)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
山本 昇雲	『今姿』花かけ	1909(明治42)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
山本 昇雲	『今姿』ひなまつり	1907(明治40)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
山本 昇雲	『今姿』酔いけしき	1908(明治41)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
熊澤 喜太郎	宮中和歌詠図	1888(明治21)	石版、手彩色・紙
渡辺 忠久	美人花生之図	1889(明治22)	石版、手彩色・紙
荒川 藤兵衛	婦人弾琴之図	1889(明治22)	石版、手彩色・紙
渡辺 忠久	美人花見之図	1888(明治21)	石版、手彩色・紙
岡村 政子(推定)	桜狩	1891(明治24)	石版・紙
岡村 政子	梅若丸	1889(明治22)	石版、手彩色・紙
小山 正太郎	『西洋画譜』(第四秩)東京眞景(第三)(東京日本堂発行)「亀井戸梅林」	1890(明治23)	石版・紙
小山 正太郎	『西洋画譜』(第四秩)東京眞景(第三)(東京日本堂発行)「墨堤晩桜」	1890(明治23)	石版・紙
二神 純孝	『西洋画譜』(第四秩)東京眞景(第三)(東京日本堂発行)「東台早桜」	1890(明治23)	石版・紙
二神 純孝	『西洋画譜』(第四秩)東京眞景(第三)(東京日本堂発行)「飛鳥山春霞」	1890(明治23)	石版・紙
石井 鶴三	『日本風景版画 第九集 東京近郊之部』(日本風景版画会)荒川堤	1918(大正7)	木版・紙/ポートフォリオ
安井 曾太郎	『安井曾太郎版画集』(石原求龍堂)正月娘姿	1933(昭和8)	木版・紙/ポートフォリオ
坂本 繁二郎	『日本風景版画 第六集 筑紫之部』(日本風景版画会)表紙	1918(大正7)	木版・紙/ポートフォリオ
坂本 繁二郎	『日本風景版画 第六集 筑紫之部』(日本風景版画会)覆寺神社	1918(大正7)	木版・紙/ポートフォリオ
坂本 繁二郎	『日本風景版画 第六集 筑紫之部』(日本風景版画会)神の湊	1918(大正7)	木版・紙/ポートフォリオ
福田 利秋	花	1933(昭和8)	木版・紙
福田 利秋	福寿草	1967(昭和42)	木版・紙
秋山 泰計	春宵	1968(昭和43)	木版・紙
泉 茂	春		リトグラフ・紙
斎藤 清	早春	1990(平成2)	木版・紙
福田 利秋	春の小峰城	1991(平成3)	木版・紙

展示室4-② 食卓を彩る

実用性と美を兼ね備えた工芸作品、とりわけ食器は、私たちの五感を大いに刺激するものといえます。食卓にどんな風味をもたらししてくれるのか。手に取ったとき、指先に伝わる感触や奏でる音はどのようなものか。そしてもちろん、様々な意匠が凝らされており、器そのものの存在だけでも十分に私たちの目を楽しませてくれます。同じ作家の同じ種類の食器でも、形状や素材のちょっ

とした違いで、飲食のシーンに与える印象が変わってくるでしょう。

毎日の生活で愛でたいような親しみを感じさせる食器から、晴れの場を盛り立ててくれそうな特別感のある器まで、多彩な作品を展示します。貴方の食卓を彩りたい作品はどれでしょうか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	デカンター・セット(栓付き細首ぶどう酒瓶)		ガラス、金属金具、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
佐藤 潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		ガラス／宙吹・プランツ、 雲母封入 石川和子氏寄贈
佐藤 潤四郎	葡萄文ワイングラス		ガラス／宙吹・グラヴェール 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス／宙吹・グラヴェール、 プランツ 佐藤久枝氏寄贈
クリストファー・ドレッサー	孔雀象嵌模様円形皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	草花象嵌模様足付皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	緑釉サラダボウル(サーバー付き)	1879-82頃	陶器、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	三角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	三角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	日本風把手付き薬味入れ		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	日本風把手付き薬味入れ		ガラス、金属、電気メッキ
佐藤 潤四郎	皿(グリーン)		ガラス／宙吹き
佐藤 潤四郎	グリーンタンブラー		ガラス／プランツ 林王健治氏寄贈
佐藤 潤四郎 (デザイン)	ウイスキーボトル「インペリアル」		ガラス／機械吹き・カット サントリー(株)寄贈
佐藤 潤四郎	タンブラー(20点)より2点		ガラス／型吹ほか 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎 カガミクリスタル製作	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》初号モデル	1962(昭和37)頃	ガラス／宙吹 川崎清氏寄贈
佐藤 潤四郎	タンブラー(スモークグラス)(2点組)		ガラス／宙吹き
クリストファー・ドレッサー	青釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉水差(一対)	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	蓋つきスープ入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	蓋付きバスケット、黒檀把手		金属、銀メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(ポイントアーチ型)	1879	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(楕円型)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	塩入れとスプーン	1884	銀
佐藤 潤四郎	シュガーポット		ガラス／型吹き・金属
クリストファー・ドレッサー	ミルク入れ	1880	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	シュガー・バスケット(穴あきふるい付き)	1884	金属、銀メッキ
クリストファー・ドレッサー	銀製ティー・セット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレッサー	彩色金彩ロータス文大皿		陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉蓮花刻文皿	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	黄釉竹節型小皿	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	彩釉台鉢	1879-82頃	陶器
田村 耕一	野草図楕円鉢	1963(昭和38)頃	陶器 麻山富義氏寄贈
折笠 兆春	朱い盛器	1985(昭和60)	乾漆 折笠兆春氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
清水 多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ
舟越 保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
佐藤 忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
高田 博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ

2) 企画展

横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展 大観・観山から御舟まで

会 期:令和4年4月23日(土)～6月5日(日)
主 催:郡山市立美術館、横浜美術館
観 覧 料:一般800(640)円
高校・大学生・65歳以上500(400)円
※()内は20名以上の団体料金中学生以下、
障がい者手帳をお持ちの方は無料

趣 旨

日本美術院は、岡倉天心によって1898(明治31)年に設立された在野の日本美術団体である。東京美術学校を追われた天心は、新時代にふさわしい日本画を創造するという理想のもと、寺崎広業、横山大観、菱田春草ら近代日本画の旗手を育成した。やがて彼らは西洋の遠近法や陰影を研究し、「朦朧体」と揶揄された描法によって、日本画の革新を模索し、さらに、天心亡き後の再興日本美術院では、今村紫紅や前田青邨、速水御舟ら次世代の画家たちが、伝統と革新のせめぎあいの中で、独自の画風を様々に展開していく。

本展では、現在長期休館中の横浜美術館のコレクションから、日本美術院に所属した21作家48作品を厳選し、明治から昭和に至るまで、日本美術院が近代日本画壇にもたらした精華を紹介した。

関連行事

- 講演会
「横浜美術館の日本画コレクション -天心、三溪、日本美術院」
講師: 柏木智雄氏(横浜美術館副館長、主席学芸員)
日時: 令和4年5月21日(土)午後2時から
場所: 多目的スタジオ
- 特別美術講座
「院展とその作家たち」
講師: 八柳サエ氏(横浜美術館主任学芸員)
日時: 令和4年4月29日(金・祝)午後2時から
場所: 多目的スタジオ
- スライドトーク
講師: 菅野洋人(当館館長)
日時: 令和4年5月8日(日)午後2時から
場所: 多目的スタジオ
- スライドトーク
講師: 田中有沙子(当館学芸員)
日時: 令和4年5月15日(日)午後2時から
場所: 多目的スタジオ
- スライドトーク
講師: 塚本敬介(当館学芸員)
日時: 令和4年5月22日(日)午後2時から
場所: 多目的スタジオ
- スライドトーク
講師: 鈴木えみこ(当館学芸員)
日時: 令和4年5月29日(日)午後2時から
場所: 多目的スタジオ



ポスター



鑑賞ガイドブック

○映画会

「天心」(監督：松村克弥、2013年、122分)

日時：令和4年5月14日(土)午後2時から

場所：多目的スタジオ

発行物

鑑賞ガイドブック「横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展 大観・観山から御舟まで 展覧会鑑賞ガイド」

21.0×14.8cm 16ページ

発行日：令和4年4月23日

監修：八柳サエ(横浜美術館主任学芸員)

編集・発行：郡山市立美術館

デザイン：平雄一朗(ajito)

内容：はじめに/日本美術院の創始者 岡倉天心/日本美術院/新しい日本画/朦朧体の開発/西洋画への挑戦/再興日本美術院/三溪と紫紅/靱彦と青邨/写実表現の追求 御舟/同時代を描く/年表/出品目録

関連記事

「日本美術院の名画展示 横山大観、下村観山など多彩 郡山市立美術館、6月5日まで」、『福島民友』令和4年4月25日付

鈴木えみこ「近代日本画の名品 郡山で一挙公開」、『新美術新聞』令和4年5月1日付

鈴木えみこ「新しい日本画」創出の歩み 大観や観山ら21人48点、「福島民友」令和4年5月3日付

塚本敬介「近代画壇けん引 優品一挙に 郡山市立美術館 日本画名品展 21作家厳選48点、彫刻も」、『福島民報』令和4年5月10日付

「福島で横浜美術館所蔵作品展」、『神奈川新聞』令和4年5月16日付

「来月5日まで 日本画名品展」、『福島民報』令和4年5月20日付

「近代画壇の流れ紹介 郡山市立美術館で講演会」、『福島民報』令和4年5月24日付

出品リスト

No.	作家名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
1	松本楓湖	東方朔	1920(大正9)年	紙本着色、一幅	109.5×30.0	松浦信太郎氏寄贈
2	水野年方	御殿女中図	1898(明治31)年	絹本着色、一幅	131.3×70.3	
3	寺崎広業	王維竹裡館詩意	制作年不詳	絹本着色、一幅	132.5×48.5	松浦信太郎氏寄贈
4	横山大観	草廬三顧図	1910(明治43)年	絹本着色、双幅	各121.7×50.0	山口久像氏寄贈
5	横山大観	虎溪三笑	1912(大正元)年	絹本墨画、三幅対	各115.2×41.6	
6	横山大観	霊峰不二	1919(大正8)年	絹本墨画淡彩、額	83.5×117.4	
7	横山大観	江上舟遊	1921(大正10)年頃	絹本墨画、六曲屏風一双	各170.0×378.0	筒井佐太郎氏寄贈
8	横山大観	雲揺ぐ	1927(昭和2)年	絹本墨画、一幅	187.9×72.7	
9	平櫛田中	岡倉天心胸像	1931(昭和6)年	ブロンズ	108.2×85.3×60.0	
10	平櫛田中	陶淵明(婦去来)	1946(昭和21)年	木、着色	52.5×21.7×17.7	石崎康吉氏寄贈
11	平櫛田中	破邪	1947(昭和22)年	木	54.4×37.5×23.1	石崎康吉氏寄贈
12	下村観山	辻説法	1892(明治25)年	紙本着色、額	44.7×62.8	
13	下村観山	闇雑	1898(明治31)年	絹本着色、額	143.7×256.0	
14	下村観山	ナイト・エラント(ミレイの模写)	1904(明治37)年	紙本着色、額	101.0×75.0	原範行氏・原會津子氏寄贈
15	下村観山	椅子の聖母(ラファエルロの模写)	1904(明治37)年	絹本着色、額	56.0×54.5	
16	下村観山	まひわの聖母(ラファエルロの模写)	1905(明治38)年	絹本着色、一幅	49.0×42.0	松信泰輔氏寄贈
17	下村観山	維摩居士	1911(明治44)年	絹本着色、一幅	119.8×49.6	
18	下村観山	弱法師	1915(大正4)年	絹本着色、双幅	各120.0×56.0	原範行氏・原會津子氏寄贈
19	川合玉堂	鶴	制作年不詳	紙本着色、一幅	47.0×61.0	松浦信太郎氏寄贈
20	菱田春草	夏汀	1902(明治35)年	絹本着色、一幅	131.0×67.5	
21	木村武山	堀河の静	1905(明治38)年頃	絹本着色、一幅	123.2×56.8	
22	木村武山	観世音寺炎上之図	1934(昭和9)年	絹本着色、一幅	204.0×96.1	
23	荒井寛方	稚児文殊	1916(大正5)年頃	絹本着色、一幅	46.5×51.0	松浦信太郎氏寄贈
24	荒井寛方	観世音菩薩	制作年不詳	紙本着色、一幅	148.0×51.0	
25	今村紫紅	平親王	1907(明治40)年頃	絹本着色、一幅	164.9×112.1	原範行氏・原會津子氏寄贈
26	今村紫紅	伊達政宗	1910(明治43)年	絹本着色、一幅	120.5×71.0	原範行氏・原會津子氏寄贈
27	今村紫紅	潮見坂	1915(大正4)年	絹本着色、一幅	112.5×42.0	
28	小林古径	竹取物語 昇天図(画稿)	1917(大正6)年	紙本着色、額	44.8×135.7	

No.	作家名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
29	小林古径	草花	1935(昭和10)年	絹本着色、額	56.5×85.0	
30	小林古径	菓子	1940(昭和15)年	絹本着色、額	56.5×72.3	
31	安田靉彦	聖日蓮之門徒	1903(明治36)年頃	絹本着色、一幅	124.3×50.6	吉川伸彦氏寄贈
32	安田靉彦	松風	1906(明治39)年	絹本着色、一幅	133.5×86.0	
33	安田靉彦	窓	1951(昭和26)年	紙本着色、額	117.2×75.0	
34	山村耕花	婦女愛禽図	1925(大正14)年	紙本着色、二曲屏風一双	各185.5×186.0	山村行輝氏寄贈
35	前田青邸	蝦墓 鉄拐	1913(大正2)年	絹本着色、双幅	各125.5×28.0	
36	前田青邸	六歌仙	1918(大正7)年	絹本着色、額	140.0×60.0	
37	前田青邸	奎堂先生	1942(昭和17)年	紙本着色、額	123.3×74.6	
38	堅山南風	鮒 魚楽図ノ内其一	1926(大正15)年	紙本墨画淡彩、五幅対	71.3×91.6	
39	堅山南風	朱ピンタ 魚楽図ノ内其二	1926(大正15)年	紙本墨画淡彩、五幅対	71.6×92.5	
40	堅山南風	蜻蜒(せいてい) 魚楽図ノ内其三	1926(大正15)年	紙本墨画淡彩、五幅対	71.3×93.1	
41	堅山南風	イダ 魚楽図ノ内其四	1926(大正15)年	紙本墨画淡彩、五幅対	71.7×92.2	
42	堅山南風	鱈魚(じょうぎょ) 魚楽図ノ内其五	1926(大正15)年	紙本墨画淡彩、五幅対	72.3×93.3	
43	中村岳陵	砂浜	1937(昭和12)年	絹本着色、二曲屏風一隻	130.3×197.0	
44	小茂田青樹	ボンボンダリヤ	1922(大正11)年	絹本着色、一幅	78.9×56.0	
45	速水御舟	麦	1925(大正14)年	絹本着色、額	131.0×41.0	藤浦了一氏寄贈
46	速水御舟	水仙図	1925(大正14)年	絹本着色、一幅	40.0×55.0	
47	小倉遊亀	良夜	1957(昭和32)年	紙本着色、額	140.0×97.0	
48	太田聴雨	飛天	1952(昭和27)年	紙本着色、額	113.5×179.0	山口和宏氏寄贈



展示風景



展示風景



講演会(柏木智雄氏)



特別美術講座(八柳サエ氏)

光と遊ぶ超体験型ミュージアム 魔法の美術館

会 期:令和4年6月18日(土)～8月28日(日)
 主 催:郡山市立美術館
 企画協力:ステップ・イースト
 観 覧 料:一般800円(640円)
 高校・大学生・65歳以上500円(400円)
 ※()内は20名以上の団体料金中学生以下、
 障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

本展では、最新のデジタル技術を駆使して、光や影などを自在に操る気鋭のアーティストたちによる作品を紹介した。

人の動きにあわせて映像が変化する双方向性を重視した作品など、「見て」「触れて」「遊ぶ」体験型のアート作品の数々によって構成され、新進気鋭のアーティスト6組による、12作品を展示した。

関連記事

「不思議“光の魔法” 郡山市立美術館 体験型展示始まる」、『福島民報』令和4年6月19日付
 「光や音 幻想の世界へ 郡山の「魔法の美術館」若者らでにぎわう 8月28日まで 12作品並ぶ」、『福島民報』令和4年6月20日付
 「奥の細道 「魔法の美術館」」、『福島民友』令和4年6月23日付



ポスター

展示リスト

作家名	作品名
藤本直明	色のある夢
藤本直明	Immersive Shadow: Bubbles
藤本直明	衝突と散乱
坪倉輝明	つくもがみ
坪倉輝明	七色小道
坪倉輝明	幻想シアター
坪倉輝明	展覧会の絵
Ponboks(本多大和)	ユビサキに咲く
Ponboks(本多大和)	ミルアンサンプル
岡田憲一+冷水久仁江 (LENS)	TRANSFORM
的場やすし / 山野真吾 / 徳井太郎	SplashDisplay
佐藤江未	光を当てると浮かびあがる影の世界



坪倉輝明《七色小道》



Ponboks (本多大和) 《ユビサキに咲く》

ニューヨークが生んだ伝説の写真家 永遠のソール・ライター

会 期：令和4年9月10日(土)～10月23日(日)

主 催：郡山市立美術館

協 力：ソール・ライター財団

企画協力：コンタクト、Bunkamura

観 覧 料：一般1,000円(800円)

高校・大学生・65歳以上700円(560円)

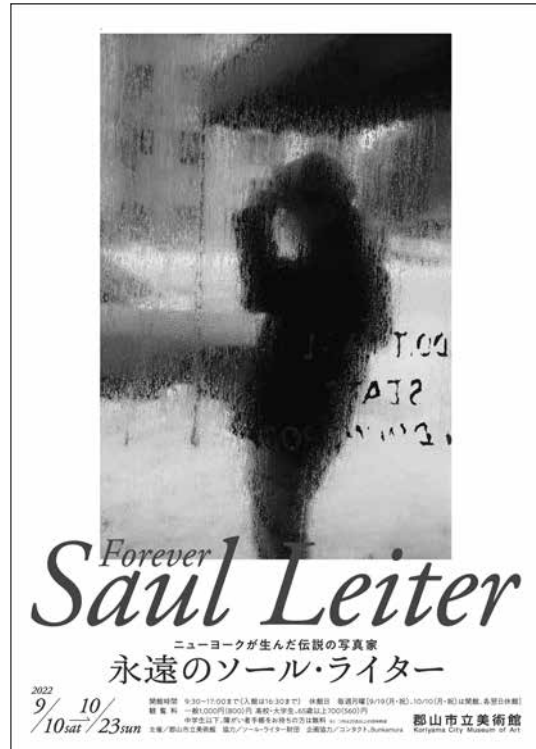
※()内は20名以上の団体料金中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

ソール・ライター(1923-2013)は、1950年代からニューヨークでファッション写真家として第一線で活躍した。1980年代に表舞台から退いたが、2006年にドイツで出版された初の写真集『Early Color』によって「再発見」され、以降展覧会の開催や映画などを通じて世界中の人々に知られるようになった。

ソール・ライターはニューヨークを舞台に、類稀な造形感覚によって、日常が織りなす光景を独自の距離感で撮り続けた。

本展では、2014年に創設されたソール・ライター財団が管理する膨大な作品資料のアーカイブから、選び抜かれた作品を展覧してソール・ライターの業績を辿るとともに、その創作の源泉に迫った。



ポスター

関連行事

○講演会

「写真家ソール・ライター」

講師：飯沢耕太郎氏(写真、映像評論家)

日時：令和4年10月23日(日)午後2時30分から

場所：多目的スタジオ

○美術講座

「ソール・ライターと日本」

講師：永山多貴子(当館学芸員)

日時：令和4年9月23日(金・祝)午後2時から

場所：多目的スタジオ

○ギャラリートーク

講師：田中有沙子(当館学芸員)

日時：令和4年10月1日(土)午後2時から

場所：企画展示室

○ギャラリートーク

講師：新田量子(当館学芸員)

日時：令和4年10月8日(土)午後2時から

場所：企画展示室

○映画会

「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」

(監督：撮影：トーマス・リーチ、2012年、75分、イギリス、アメリカ)

日時：令和4年10月22日(土)午後2時から

場所：多目的スタジオ

○美術館・観光課共同企画

郡山写真部とのワークショップ、展示等

※P.44参照

○「目指せ! ふくしまのソール・ライター ちゃんろく。フォトコンテスト」展

会期：令和4年10月8日(土)～10月23日(日)

場所：ロビー



図録

発行物

『ニューヨークが生んだ伝説の写真家 永遠のソール・ライター』

21.0×14.8cm 212ページ

発行日：令和4年5月24日

企画：佐藤正子(コンタクト)

監修：マーギット・アープ、マイケル・パリーロ(ソール・ライター財団)

発行：株式会社小学館

内容：図版(写真)/終わりのなき旅マーギット・アープ、マイケル・パリーロ)/何も起きない平坦さのなかに、ふいに見えてくるものがある(大竹昭子)/ソール・ライター年譜

『ソール・ライターの写真技法と写真の歴史』(配布資料)

B3三つ折り 両面4色

関連記事

「NYの日常 神秘的に 写真家ソール・ライター展」、『福島民報』令和4年9月21日付

「伝説の写真家に迫る ソール・ライターの企画展」、『福島民友』令和4年9月25日付

出品リスト

第1章 ソール・ライターの世界

No.	作品名	制作年	技法・材質
モノクローム			
1	煙突 Smokestack	1970年代	ゼラチン・シルバー・プリント
2	ニューヨーク New York	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
3	マッカーサー・パレード MacArthur Parade	1951年	ゼラチン・シルバー・プリント
4	読む Reading	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
5	ショッピング Shopping	1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
6	ミリアム Miriam	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
7	レミィ Remy	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
8	無題 Untitled	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
9	5番街 Fifth Avenue	1970年代	ゼラチン・シルバー・プリント
10	5番街 Fifth Avenue	1970年代	ゼラチン・シルバー・プリント
11	無題 Untitled	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
12	ミリアム Miriam	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
13	三本の脚 Three Feet	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
14	花 Flower	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
15	安雑貨店 Five and Dime	1952年	ゼラチン・シルバー・プリント
16	水兵たち Sailors	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
17	尼僧たち Nuns	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
18	尼僧 Nun	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
19	毛皮 Fur	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
20	ローマ Rome	1960年	ゼラチン・シルバー・プリント
21	地下鉄 Subway	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
22	散歩 Walking	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
23	散歩 Walking	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
24	靴 Shoe	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
25	物乞い Begging	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
26	荷車 Cart	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
27	結婚式 Wedding	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
28	隠れる Hiding	1936年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
29	窓、ビーコン・ストリート5817番地 Window, 5817 Beacon Street	1942年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
30	ペリー・ストリート Perry Street	1946年	ゼラチン・シルバー・プリント
31	ペリー・ストリート Perry Street	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント

No.	作品名	制作年	技法・材質
32	キャシーとグロリア、ブルックリン Kathy and Gloria, Brooklyn	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
33	ボビーの肖像 Portrait of Bobby	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
34	アンジェロ Angelo	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
35	パーティ Party	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
36	キス Kissing	1956年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
37	無題 Untitled	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
38	無題 Untitled	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
39	無題 Untitled	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
40	無題 Untitled	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
41	キス Kiss	1952年	ゼラチン・シルバー・プリント
42	無題 Untitled	1970年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
43	建築現場 Construction Site	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
44	無題 Untitled	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
45	ドッティ Dottie	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
46	無題 Untitled	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
47	高架鉄道から From the El	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
48	そばかす Freckles	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
49	無題 Untitled	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
50	高架鉄道から From the El	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
51	無題 Untitled	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
52	無題 Untitled	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
53	無題 Untitled	1970年代	ゼラチン・シルバー・プリント
カラー 1			
54	薄紅色の傘 Purple Umbrella	1950年代	発色現像方式印画
55	無題 Untitled	1950年代	発色現像方式印画
56	窓 Window	1957年	発色現像方式印画
57	無題 Untitled	1960年代	発色現像方式印画
58	落書きの頭部 Graffiti Heads	1950年	発色現像方式印画
59	無題 Untitled	撮影年不詳	発色現像方式印画
60	野球 Baseball	1953年頃	発色現像方式印画
61	バス停 Bus Stop	1957年頃	発色現像方式印画
62	CANAL	1948年頃	発色現像方式印画
63	帽子 Cap	1960年頃	発色現像方式印画
64	運転手 Driver	1950年代	発色現像方式印画
65	高架鉄道 El	1954年	発色現像方式印画
66	緑のドレス Green Dress	1957年頃	発色現像方式印画
67	灰色の傘 Grey Umbrella	1954年	発色現像方式印画
68	L&Lデイリー L&L Dairy	1949年頃	発色現像方式印画
69	歩道 Sidewalk	1950年代	発色現像方式印画
70	夜のバス Bus at Night	1950年代	発色現像方式印画
71	無題 Untitled	1950年代	発色現像方式印画
72	無題 Untitled	1960年代	発色現像方式印画
73	丸い鏡 Round Mirror	1950年代	発色現像方式印画
74	蝶々を吊す Hanging Butterflies	1960年代	発色現像方式印画
75	労働者 Worker	1950年代	発色現像方式印画
76	ユニオン・スクエア Union Square	1950年代	発色現像方式印画
77	タイムズ・スクエア Times Square	1950年代	発色現像方式印画
78	雪 Snow	1970年	発色現像方式印画
79	紙 Paper	1950年代	発色現像方式印画
80	無題 Untitled	1950年代	発色現像方式印画

No.	作品名	制作年	技法・材質
81	無題 Untitled	1950年代	発色現像方式印画
82	PULL	1960年頃	発色現像方式印画
83	パーキング Parking	1950年代	発色現像方式印画
ファッション			
84	無題 Untitled	撮影年不詳	発色現像方式印画
85	ファッション・テスト Fashion Test	1960年代	発色現像方式印画
86	『ハーパーズ バザール』 Harper's Bazaar	1959年2月号	銀色素漂白方式印画
87	キャロル・ブラウン、『ハーパーズ バザール』 Carol Brown, Harper's Bazaar	1959年頃	発色現像方式印画
88	『ハーパーズ バザール』 Harper's Bazaar	1960年代	発色現像方式印画
89	『ハーパーズ バザール』のための撮影 Harper's Bazaar	1959年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
90	『ハーパーズ バザール』のための撮影 Harper's Bazaar	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
91	『ハーパーズ バザール』のための撮影 Harper's Bazaar	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
カラー 2			
92	無題 Untitled	1955年頃	発色現像方式印画
93	無題 Untitled	1960年代	発色現像方式印画
94	無題 Untitled	1950年代	発色現像方式印画
95	青いスカート Blue Skirt	1950年代	発色現像方式印画
96	傘 Umbrella	1950年頃	発色現像方式印画
97	赤い傘 Red Umbrella	1958年頃	発色現像方式印画
98	黄色いドット Yellow Dots	1950年代	発色現像方式印画
99	高架鉄道から From the El	1955年頃	発色現像方式印画
100	メニュー、パリ Menu, Paris	1959年頃	発色現像方式印画
101	セダン Sedan	1950年代	発色現像方式印画
102	MR.	1958年頃	発色現像方式印画
103	ANT	1950年頃	発色現像方式印画
104	ペンキのあと Painted	1948年頃	発色現像方式印画
105	赤信号 Red Light	1960年頃	発色現像方式印画
106	反射鏡 Mirrors	1958年頃	発色現像方式印画
107	タナガー・ギャラリーの階段 Tanager Steps	1952年	発色現像方式印画
108	街の風景 Street Scene	1959年	発色現像方式印画
109	タクシー Taxi	1960年頃	発色現像方式印画
110	チューリップ Tulips	1954年頃	発色現像方式印画
111	ユニオン・スクエア Union Square	1952年頃	発色現像方式印画
112	モンドリアンの労働者 Mondrian Worker	1954年	発色現像方式印画
113	自転車 Bicycle	2009年頃	発色現像方式印画
114	ロンドンの地図 London Map	2008年頃	発色現像方式印画
115	靴 Shoe	2006年頃	発色現像方式印画
116	チーズ店 Cheese Store	2008年頃	発色現像方式印画
117	バス Bus	2004年頃	発色現像方式印画
118	足跡 Footprints	1950年頃	発色現像方式印画
119	タクシー Taxi	1957年	発色現像方式印画
120	天蓋 Canopy	1958年	発色現像方式印画
121	板の間 Through Boards	1957年	発色現像方式印画
122	ハーレム Harlem	1960年	発色現像方式印画
123	パリ Paris	1959年	発色現像方式印画
124	ローマ Rome	1959年	発色現像方式印画
125	街の風景 Street Scene	1957年	発色現像方式印画
126	赤いライト Red Lights	1957年	発色現像方式印画
127	Subway Window	1950年代	発色現像方式印画

第2章 ソール・ライターをさがして

No.	作品名	制作年	技法・材質
セルフ・ポートレート			
128	無題 Untitled	1943年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
129	父、兄とのセルフ・ポートレート Self-Portrait with Father and Brother, 1940s	1940年代	ゼラチン・シルバー・プリント
130	無題 Untitled	1942年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
131	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
132	無題 Untitled	1962年	ゼラチン・シルバー・プリント
133	無題 Untitled	撮影年不詳	発色現像方式印画
134	フラワー・マン Flower Man	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
135	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント
136	セルフ・ポートレートのようなもの A Kind of Self-Portrait	1997年	銀色素漂白方式印画
137	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
138	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
139	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
140	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1949年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
141	バーバラ嬢と一緒にセルフ・ポートレート Self-Portrait with Barbara	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
142	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1970年代	ゼラチン・シルバー・プリント
143	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
144	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
145	紐 String	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
146	無題 Untitled	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
147	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1970年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
148	セルフ・ポートレート Self-Portrait	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
149	鏡 Mirrors	1962年頃	発色現像方式印画
デボラ			
150	デボラ Deborah	1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
151	デビーとピーター Debbie and Peter	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
152	デボラ Deborah	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
153	デボラとレジーナ Deborah and Regina	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
154	デボラ Deborah	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
155	ボビーとデボラ Bobby and Deborah	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
156	デボラ Deborah	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
157	デボラと一緒にセルフ・ポートレート Self-Portrait with Deborah	1940年代	ゼラチン・シルバー・プリント
158	デボラ Deborah	1940年代	ゼラチン・シルバー・プリント
159	デボラ Deborah	1940年代	ゼラチン・シルバー・プリント
160	デボラ Deborah	1940年代	ゼラチン・シルバー・プリント
161	デボラ Deborah	1943年5月	ゼラチン・シルバー・プリント
162	デボラ Deborah	1943年5月	ゼラチン・シルバー・プリント
163	デボラ Deborah	1945年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
164	デボラ Deborah	1944年5月	ゼラチン・シルバー・プリント
165	デボラ Deborah	1946年3月	ゼラチン・シルバー・プリント
166	デボラ Deborah	撮影年不詳	サイアノタイプ
167	デボラ Deborah	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
168	デボラ Deborah	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
169	伯母エスター宅のデボラ Deborah at Tante Esther's	1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
170	タクシーの中のデビーとママ	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
171	デボラと一緒にセルフ・ポートレート	1940年代	ゼラチン・シルバー・プリント

No.	作品名	制作年	技法・材質
172	デボラ Deborah	1940年代	ゼラチン・シルバー・プリント
絵画			
173	コンコルド	1960年頃	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
174	無題 Untitled	1950年代-1960年代	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
175	無題 Untitled	1950年代-1960年代	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
ソームズ			
176	ソームズ Soames	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
177	ソームズ Soames	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
178	ソームズ Soames	撮影年不詳	発色現像方式印画
179	『ノヴァ マガジン』のための撮影、アイルランド Ireland, for Nova Magazine	1960年代	発色現像方式印画
180	ソームズ・バントリー、『ハーバース バザー』 Soames Bantry, Harper's Bazaar	1963年頃	発色現像方式印画
181	ソームズ Soames	撮影年不詳	発色現像方式印画
182	ソームズ Soames	1960年代	ゼラチン・シルバー・プリント
183	ソームズ Soames	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
184	ソームズ Soames	1960年代	ゼラチン・シルバー・プリント
185	ソームズ Soames	1960年代	ゼラチン・シルバー・プリント
186	ソームズ Soames	1960年代	ゼラチン・シルバー・プリント
187	ソームズ Soames	1960年代	ゼラチン・シルバー・プリント
188	ソームズ Soames	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
189	ソームズ Soames	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
190	ソームズ Soames	1950年代	発色現像方式印画
191	ソームズと散歩 Walk with Soames	1958年	銀色素漂白方式印画
192	ソームズと一緒にセルフ・ポートレート Self-Portrait with Soames	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
193	ソームズ Soames	1970年代	ゼラチン・シルバー・プリント
194	ソームズ Soames	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
195	ソームズ Soames	1965年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
196	ソームズ Soames	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
197	ソームズ Soames	1965年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
198-206	ソームズに愛を込めて For Soames with Love	1977年1月1日	紙にインク
207	ソームズが7歳だったとき Of Soames, She Was 7	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
208	ソームズ Soames	1970年代-1990年代	印画紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
209	ソームズ Soames	1970年代-1990年代	印画紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
パートナー			
210	アリス Alice	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
211	ピーチーズとパトナム Peaches and Putnum	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
212	アリス Alice	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
213	ピーチーズとジェス Peaches and Jess	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
214	アリス Alice	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
215	パトナム Putnum	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
216	無題 Untitled	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
217	ソームズとアリス Soames with Alice	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
218	ソームズとジェス Soames with Jess	1980年代	ゼラチン・シルバー・プリント
コンタクトシート			
C-1	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント

No.	作品名	制作年	技法・材質
C-2	コンタクトシート Contact sheet	1960年	ゼラチン・シルバー・プリント
C-3	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
C-5	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
C-8	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
C-9	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
C-10	コンタクトシート Contact sheet	1951年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
C-11	コンタクトシート Contact sheet	1951年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
	コンタクトシート Contact sheet	1960年代	オリジナルから引伸ばし
	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	オリジナルから引伸ばし
	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	オリジナルから引伸ばし
	コンタクトシート Contact sheet	1960年代	オリジナルから引伸ばし
	コンタクトシート Contact sheet	撮影年不詳	オリジナルから引伸ばし
	コンタクトシート Contact sheet	1960年代	オリジナルから引伸ばし

スニペット

スニペット Snippetts

ゼラチン・シルバー・プリント

絵画作品など

ソール・ライターのスケッチブック Saul Leiter's Sketchbooks

1950年代頃

紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具

ソール・ライターが住んでいたアパートメントの壁の再現

Reproduction of a wall of Saul Leiter's apartment, East Village, New York

ライター作の油絵 Oil painting by Leiter

1970年

キャンヴァスに油彩

ライター作の油絵 Oil painting by Leiter

1955年頃

キャンヴァスに油彩

ライター作の油絵 Oil painting by Leiter

1955年頃

キャンヴァスに油彩

ソームズ作の油絵 Oil painting by Soames

制作年不詳

キャンヴァスに油彩

ソームズ作の油絵 Oil painting by Soames

制作年不詳

キャンヴァスに油彩

ソームズ作の油絵 Oil painting by Soames

制作年不詳

キャンヴァスに油彩

ソームズ作の油絵 Oil painting by Soames

制作年不詳

キャンヴァスに油彩

ソームズ作の油絵 Oil painting by Soames

制作年不詳

キャンヴァスに油彩

ソームズ作の油絵 Oil painting by Soames

制作年不詳

キャンヴァスに油彩

ソームズ作の油絵 Oil painting by Soames

制作年不詳

キャンヴァスに油彩

ライターが愛用していた鏡 Leiter's Mirror

ライターのお気に入りだった時計 Leiter's favorite clock

ライターが使用していたパレット Leiter's palette

ライターが座っていた椅子 Leiter's chair

ウルフ・ライター(父)の写真 Photo of father (Wolf Leiter)

レジーナ・ライター(母)の写真 Photo of mother (Regina Leiter)

幼少時代のライターの写真 Leiter in his childhood



展示室入口バナー



講演会（飯沢耕太郎氏）

郡山市立美術館開館30周年記念展① ノスタルジック・ジャーニー

記録する眼 豊穣の時代 明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々

会 期:令和4年11月3日(木・祝)
 ~令和5年1月9日(月・祝)
 主 催:郡山市立美術館
 後 援:明治美術学会
 協 力:神奈川県立歴史博物館
 助 成:令和4年度芸術文化振興基金
 観 覧 料:一般1,000(800)円
 高校・大学生・65歳以上700(560)円
 ※ ()内は20名以上の団体料金中学生以下、
 障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

所蔵作家である亀井至一(1843~1905)と弟竹二郎(1857頃~1879)について、その生涯と活動を紹介。ともに写真家・横山松三郎のもとで洋画を学び、版画工房・玄々堂で活動。弟・竹二郎は、蜷川式胤の支援を受けて東海道の53の宿場を油彩画で描くスケッチ旅行ののち、明治12年22,3歳といわれる若さで没した。横山や蜷川のほかにも、玄々堂に出入りした画家や文化人、またその後の印刷業界に関係した人々など、周辺の人々との関わりに焦点をあてることで、これまでの近代美術史上で見落とされがちであった諸相を検証した。



ポスター

関連行事

- 講演会「記録する眼と表現する手の間でーエージェント論を手がかりとしてー」
 講師:小泉晋弥氏(茨城大学名誉教授)
 日時:令和4年11月20日(日)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
- 寄席「幕末明治の見世物寄席」
 演目:落語「がまの油」林家彦三／落語「一眠国」林家正雀／音楽パフォーマンス のだゆき／落語「幸助餅」林家正雀／舞踊「桃太郎」林家正雀
 日時:令和4年11月23日(水・祝)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
- シンポジウム「展覧会ができるまで~亀井兄弟の足跡を辿って~」
 講師:増野恵子氏(早稲田大学講師)／角田拓朗氏(神奈川県立歴史博物館学芸員／中山恵理(当館学芸員)
 日時:令和4年12月3日(土)午後1時30分から
 場所:多目的スタジオ
- 美術講座「『観古図説』を読む」
 講師:鈴木えみこ(当館学芸員)
 日時:令和4年11月13日(日)午後2時から
 場所:講義室
- 美術講座「亀井至一と小林清親」
 講師:塚本敬介(当館学芸員)
 日時:令和4年11月27日(日)午後2時から
 場所:講義室
- 美術講座「メディアとアートと石版画」
 講師:永山多貴子(当館学芸員)
 日時:令和4年12月11日(日)午後2時から
 場所:多目的スタジオ
- 美術講座「明治への旅」
 講師:中山恵理(当館学芸員)
 日時:令和4年12月18日(日)午後2時から
 場所:講義室



図録

○ギャラリートーク

講師：中山恵理(当館学芸員)
日時：令和4年11月12日(土) 午後2時から
場所：企画展示室

○ギャラリートーク

講師：塚本敬介(当館学芸員)
日時：令和4年11月26日(土)午後2時から
場所：企画展示室

○明治美術学会特別研究会「なぜ明治・美術・学会なのか」

発表者及びタイトル：恵美千鶴子(東京国立博物館)「蝿川式胤の眼」
木下直之(静岡県立美術館)「明治研究は机上より路上で」
藤森照信(江戸東京博物館)「明治から建築史を見渡す」
中山恵理(郡山市立美術館)「亀井兄弟の足跡を辿って」
日時：令和4年11月19日(土)午後2時から
主催：明治美術学会、郡山市立美術館
場所：多目的スタジオ

○ギャラリートーク

講師：永山多貴子(当館学芸員)
日時：令和4年12月10日(土)午後2時から
場所：企画展示室

○ギャラリートーク

講師：鈴木えみこ(当館学芸員)
日時：令和4年12月17日(土)も午後2時から
場所：企画展示室

発行物

「郡山市立美術館開館30周年記念展1

ノスタルジック・ジャーニー

記録する眼 豊穣の時代

明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々」展図録

29.8×22.6cm 200ページ

発行日：令和4年11月3日

編集・発行：郡山市立美術館

内容：あいさつ／謝辞／目次／凡例／丹尾安典「亀井竹二郎・亀井至一という初代館長の遺産」／第1章 師・横山松三郎と画家・亀井至一／コラム「画家・亀井至一」(中山恵理)／コラム「亀井至一の「日光」」(塚本敬介)／第2章 玄々堂と亀井兄弟／コラム「明治初期の悪人、玄々堂」(増野恵子)／第3章 夭折の画家・亀井竹二郎／コラム「画家・亀井竹二郎」(中山恵理)／コラム「豊穣の時代をもたらしたキーパーソン」(米崎清実)／コラム「五姓田派」、コラム「明治の「洋画」」(角田拓朗)／コラム「亀井至一のスケッチブックをめぐる一小林清親との距離」(塚本敬介)／亀井家伝来資料／所在不明作品／参考作品図版／論考「横山松三郎と弟子たち」(岡塚章子)、「幻」の画家、亀井至一」(増野恵子)、「明治初期洋画の流転―團伊能旧蔵コレクションの再発見報告も兼ねて」(角田拓朗)、「亀井兄弟の足跡を辿って」(中山恵理)／亀井兄弟年譜／出品目録

関連記事

「俊英・亀井ブラザーズと明治洋画ネットワーク」『芸術新潮』2022年11月号

中山恵理「記録する眼 豊穣の時代 明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々」『版画芸術』2022年秋号

中山恵理「画家 亀井兄弟に光」『福島民報』令和4年11月18日付

木下直之「その他の世界④ 気持ちのよい風景」『記録する眼 豊穣の時代 明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々』『週刊文春』2022年12月15日号

宮下規久朗「欲望の美術史137 しられざる夭折の洋画家」『産経新聞』関西版2022年12月16日付

「亀井兄弟の足跡をたどる」『福島民報』令和4年11月8日付

「記念展「記録する眼 豊穣の時代」―一匂い立つ明治の息吹」『福島民報 タイム』令和4年11月17日付

「明治時代の石版画や油絵並ぶ」『福島民友』令和4年12月3日付



講演会 (小泉晋弥氏)



シンポジウム

出品リスト

第1章 師・横山松三郎と
画家・亀井至一

- 1 横山松三郎
男性像(絵を描く人)
明治初期 コロディオン湿板
個人蔵
- 2 横山松三郎
スタジオ風景
明治初期 コロディオン湿板
個人蔵
- 3 【前期】
横山松三郎
日光龍頭瀧
1869-70(明治2-3)頃 鶏卵紙
東京国立博物館
- 4 横山松三郎
日光撮影の様子(瀧の撮影)
1869-70(明治2-3)頃 鶏卵紙
個人蔵
- 5 横山松三郎
日光撮影の様子
(岩の上立って帽子を振る横山松三郎)
1869-70(明治2-3)頃 鶏卵紙
個人蔵
- 6~15 横山松三郎
【重要文化財】「旧江戸城写真帖」
1871(明治4) 水彩・鶏卵紙
東京国立博物館
【後期】第16図 二丸門図
【前期】第24図 本丸北詰渡門内水道図
【前期】第29図 二丸裏三重櫓及東三重櫓内部図
【後期】第31図 本丸重箱櫓中ノ渡門図
【後期】第33図 本丸寺沢二重櫓図
【後期】第38図 西丸吹上門図
【前期】第39図 和田倉見附図
【前期】第42図 東桜田見附図
【後期】第43図 半蔵門図
【前期】第55図 数寄屋橋見附図
- 16 横山松三郎
旧江戸城写真
1871(明治4) 銀塩写真、鶏卵紙
神奈川県立歴史博物館
(橋忠助氏旧蔵美術資料群)
- 17 高橋由一
旧江戸城之図
1872(明治5) 油彩・キャンバス
東京国立博物館
- 18 横山松三郎
京都御所御常殿「禁中写真」より
【ステレオ写真】
1872(明治5) 鶏卵紙 個人蔵
- 19 横山松三郎
京都御所御局所「禁中写真」より
【ステレオ写真】
1872(明治5) 鶏卵紙 個人蔵
- 20 横山松三郎
法隆寺講堂「西京並南都」より
1872(明治5) 鶏卵紙 個人蔵
- 21 横山松三郎
豊受神宮側面「西京並南都」より
1872(明治5) 鶏卵紙 個人蔵
- 22 横山松三郎
女性像
1877(明治10)頃 カーボン印画
個人蔵
- 23 横山松三郎
男性像(軍服姿の男)
1882(明治15)頃 写真油絵
個人蔵
- 24 横山松三郎
男性像(軍人の肖像)
1882(明治15)頃 写真油絵
個人蔵
- 25 横山松三郎
門人 山本簾平像
1882(明治15)頃 写真油絵
個人蔵

- 26 横山松三郎
時任為基像
1882(明治15)頃 写真油絵
個人蔵
- 27 横山松三郎
婦人像
1881(明治14)頃 油彩・キャンバス
個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
- 28 横山松三郎
薔薇
油彩・絹
個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
- 29 横山松三郎
植物図(カニバサボテンと筆)
「祖父横山松三郎撮影アルバム」より
1875(明治8)頃 水彩・紙
個人蔵
- 30 横山松三郎
裸婦
鉛筆・紙 神奈川県立歴史博物館
- 31 横山松三郎
風景
1882(明治15)頃 油彩・キャンバス
神奈川県立歴史博物館
- 32 横山松三郎
鉛筆画
鉛筆・紙
個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
【後期】戯画 【前期】侍
【前期】少年 【後期】侍
- 33 亀井至一
山茶花の局(美人弾琴図)
油彩・キャンバス
株式会社歌舞伎座
- 34 亀井至一
風俗図
油彩・キャンバス 個人蔵
- 35 亀井至一
富士の景
油彩・紙 桑折町種徳美術館
- 36 亀井至一
第四代田中太右衛門邦懿像
油彩・キャンバス
福島県立美術館寄託
- 37 亀井至一
東京上野之景
1874(明治7) 油彩・キャンバス
郡山市立美術館
- 38 亀井至一
少女(明治美術会通常会員画帳
『小宴紀念』より)
1895(明治28) 水彩・紙
岐阜県美術館
- 39 【前期】
亀井至一
女学生
水彩・紙 東京国立博物館
- 40 亀井至一(画)／松木平吉(発行)
『日光鎮座十二景』
1880(明治13) 木版多色刷・紙
個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
- 41 亀井至一(画)／松木平吉(発行)
『日光八景』
1881(明治14) 木版多色刷・紙
個人蔵
含満ヶ淵ノ景 外山ノ景
満願寺境内之景 歌ヶ濱之景
華厳之瀧ノ景 裏見ヶ瀧ノ景
霧降瀑ノ景 瀧ノ尾社景 袋
- 42 亀井至一(画)／鬼平金四郎(発行)
(日光名勝)
1893(明治26) 木版多色刷・紙
神奈川県立歴史博物館／個人蔵

第2章 玄々堂と亀井兄弟

- 43 亀井至一(画)
戊辰五月彰義隊抗王師之図
1875(明治8) 石版、手彩色・紙
玄々堂(製造)
一般財団法人 黒船館
- 44 亀井至一(画)
明治十年三月三十一日車駕臨御大坂陸軍
臨時病院親自吊慰之図也
1878(明治11) 石版・紙
玄々堂(製造)
一般財団法人 黒船館
- 45 亀井至一(画)
明治十二年八月二十五日上野公園奉迎聖
駕天覧武伎之内流鏑馬写真図
1879(明治12) 石版・紙
玄々堂(製造) 個人蔵
- 46 亀井至一(画)
独乙国皇孫ハインリヒ親王
新富座演劇遊覧之図
1879(明治12) 石版、手彩色・紙
大平三次(印刷) 個人蔵
- 47 亀井至一(画)
米国前大統領グラント氏并夫人之肖像
1879(明治12) 石版・紙
大平三次(印刷)、玄々堂(製造)
個人蔵
- 48 亀井至一(画)
(鮎)
1879(明治12)頃 石版、手彩色・紙
玄々堂(製造) 個人蔵
- 49 亀井至一(画)
支那西湖勝景
1880(明治13)頃 石版・紙
玄々堂(製造) 個人蔵
- 50 亀井至一(画)
名和長年義兵ヲ船上山二舉ル図
1881(明治14) 石版・紙
金子石版(製造)
一般財団法人 黒船館
- 51 亀井至一(画)
高貴肖像
1882(明治15) 石版・紙
大山周(印刷)、至誠堂(製造)、
香山秀吉(発行)
杜若文庫
- 52 亀井至一(発行)、浅間利恵子(画)
東京新吉原芸妓幸
1882(明治15) 石版、手彩色・紙
至誠堂(製造) 個人蔵／杜若文庫
- 53 亀井至一(発行)、浅間利恵子(画)
東京深川芸妓於松
1882(明治15) 石版、手彩色・紙
至誠堂(製造) 個人蔵
- 54 【後期】
亀井至一(画・発行)
東京芸妓松子
石版・紙
玄々堂(製造) 神戸市立博物館
- 55 亀井至一(画・発行)
児女茶之湯之図
1882(明治15) 石版、手彩色・紙
香山秀吉(印刷)、至誠堂(製造)
個人蔵
- 56 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
新吉原銘妓喜代
1882(明治15) 石版、手彩色・紙
香山秀吉(印刷)、至誠堂(製造)
個人蔵
- 57 亀井至一(発行)、浅間利恵子(画)
新吉原銘妓喜代
1882(明治15) 石版・紙
郡山市立美術館

- 58 亀井至一(画・発行)
東京隅田堤之景
1882(明治15) 石版・紙
至誠堂(製造) 郡山市立美術館
- 59 亀井至一(画・発行)
東京不忍弁天景
1882(明治15) 石版・紙
至誠堂(製造) 郡山市立美術館
- 60 亀井至一(画・発行)
芸妓之図
1882(明治15) 石版・手彩色・紙
至誠堂(製造) 郡山市立美術館
- 61 亀井至一(画・発行)
駿州潤川之図
1882(明治15) 石版・紙
至誠堂(製造) 杜若文庫
- 62 亀井至一(発行)、浅間利恵子(画)
東京下谷芸妓小千代
1882(明治15) 石版・手彩色・紙
香山秀吉(印刷)、至誠堂(製造)
個人蔵
- 63 亀井至一(画・発行)
児島高德駐句之図
1882(明治15) 石版・手彩色・紙
香山秀吉(印刷)、至誠堂(製造)
個人蔵
- 64 亀井至一(画・発行)
(高貴肖像)
1882(明治15) 石版・紙
至誠堂(製造) 個人蔵
- 65 亀井至一(発行)、浅間利恵子(画)
東京今春芸妓於柳
1882(明治15) 石版・手彩色・紙
香山秀吉(印刷)、至誠堂(製造)
個人蔵
- 66 亀井至一(画・発行)
常盤雪中抱孤之図
1882(明治15) 石版・手彩色・紙
至誠堂(製造) 郡山市立美術館
- 67 亀井至一(画・発行)
東京下谷芸妓小幾
1883(明治16) 石版・手彩色・紙
至誠堂(製造) 郡山市立美術館
- 68 亀井至一/奥村捨四郎(画)
芸妓小いく
石版・手彩色・紙
精完堂(製造) 個人蔵
- 69 亀井至一(発行)
東海道安倍川駅之景
石版・手彩色・紙
一般財団法人 黒船館
- 70 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
(高貴肖像)
1883(明治16) 石版・手彩色・紙
個人蔵
- 71 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
於摂州兵庫楠公奉迎鳳駕之図
1883(明治16) 石版・手彩色・紙
個人蔵
- 72 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
西京名妓菊勇
1883(明治16) 石版・手彩色・紙
写真石版社(製造)
一般財団法人 黒船館
- 73 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
(高貴肖像)
1884(明治17) 石版・手彩色・紙
至誠堂(製造) 個人蔵
- 74 亀井至一(発行)、森島房次郎(画)
柳橋桃太郎
1884(明治17) 石版・手彩色・紙
個人蔵
- 75 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
高貴肖像
1884(明治17) 石版・紙
写真石版社(製造) 個人蔵
- 76 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
日光山陽明門之図
1885(明治18) 石版・手彩色・紙
写真石版社(製造) 個人蔵
- 77 亀井至一(発行)、鈴木鑑太郎(画)
駿州吉原ノ景
1885(明治18) 石版・手彩色・紙
写真石版社(製造) 個人蔵
- 78 亀井至一(発行)、森島房次郎(画)
官女吹笙之図
1885(明治18) 石版・手彩色・紙
写真石版社(製造) 個人蔵
- 79 亀井至一(発行)、福宮源治郎(画)
東京浅草観音之景
1885(明治18) 石版・手彩色・紙
写真石版社(製造) 個人蔵
- 80 亀井至一(発行)、福宮源治郎(画)
東京上野公園之景
1885(明治18) 石版・手彩色・紙
個人蔵
- 81 亀井至一(発行)、亀井(鈴木)鑑太郎(画)
東京新橋芸妓桃太郎
1885(明治18) 石版・手彩色・紙
至誠堂(製造) 個人蔵
- 82 亀井至一(画・発行)、平木政次(画)
西南ノ役聖上負傷者ヲ慰セラルノ図
1887(明治20) 石版・紙
個人蔵
- 83 亀井至一(画)
普仏戦争之図 千八百七十年八月十八日
ウイルヘルム帝自ラ号令シ仏兵北シテ
「メツ」ニ退陣ス
1887(明治20) 石版・紙
一般財団法人 黒船館
- 84 亀井至一(発行)
宮中女官之肖像
1888(明治21) 石版・紙
個人蔵
- 85 亀井至一(発行)、亀井鑑太郎(画)
東京上野公園ノ景
1888(明治21) 石版・手彩色・紙
個人蔵
- 86 亀井至一(画・発行)
高貴肖像
1890(明治23) 石版・紙
個人蔵
- 87 亀井至一(画)
『東京中新聞』第2352号附録
1890(明治23)年9月21日 石版・紙
東京中新聞社(発行) 個人蔵
- 88 亀井至一(画)
十二ヶ月之内 美人(『時事新報』
第4066号附録)
1894(明治27)年9月5日 石版・紙
信陽堂(印刷) 郡山市立美術館
- 89 亀井至一(画)
(舞楽)
石版・紙 神戸市立博物館
- 90 亀井至一(画)、蜷川式胤(編・発行)
『観古図説 陶器之部一』
1876(明治9) 石版・手彩色・紙
玄々堂(製造) 郡山市立美術館
- 91 亀井至一(画)、蜷川式胤(編・発行)
『観古図説 陶器之部二』
1877(明治10) 石版・手彩色・紙
玄々堂(製造) 郡山市立美術館
- 92 亀井至一(画)、蜷川式胤(編・発行)
『観古図説 陶器之部三』
1877(明治10) 石版・手彩色・紙
玄々堂(製造) 郡山市立美術館
- 93 亀井至一(画)、蜷川式胤(編・発行)
『観古図説 陶器之部四』
1877(明治10) 石版・手彩色・紙
玄々堂(製造) 郡山市立美術館
- 94 下国龍之助(画)、蜷川式胤(編・発行)
『観古図説 陶器之部五』
1877(明治10) 石版・手彩色・紙
玄々堂(製造) 郡山市立美術館
- 95 亀井至一/鮮斎永灌(図)、村井静馬(編輯)
延寿堂蔵版『明治太平記 十編上』口絵
1876(明治9) 石版・紙
玄々堂(製造) 杜若文庫
- 96 亀井至一(画)
『輿地誌略四篇上 卷之十』
1877(明治10) 石版・銅版・紙
郡山市立美術館/個人蔵
- 97 亀井至一(画)
『輿地誌略四篇上 卷之十一ノ上』
1877(明治10) 石版・紙
郡山市立美術館
- 98 亀井至一(画)、三橋惇(纂訳)
『今世西洋英傑伝 二編』口絵
1879(明治12) 石版・紙
玄々堂(製造)、修静館(出版)
個人蔵
- 99 亀井至一(画)
『中外水産雑誌 第二号』
1880(明治13) 石版・紙
玄々堂(製造) 個人蔵
- 100 亀井至一(画)、矢野文雄(纂訳)
『齋武名士 経国美談』後篇
1884(明治17) 石版・紙
報知新聞社(発行)
郡山市立美術館
- 101 亀井至一(画)、矢野文雄(纂訳)
『齋武名士 経国美談 完』(第7版)
1888(明治21) 石版・紙
郡山市立美術館
- 102 亀井至一(画)、山本邦之助(著)
『商業新書 卷之上』
1893(明治26) 石版・紙
山本書肆(発行) 個人蔵
- 103 五姓田芳柳
明治天皇大阪陸軍臨時病院行幸の図
1878(明治11) 絹本着色
靖國神社遊就館
- 104 五姓田芳柳
西南役大阪臨時病院負傷兵施術光景
1881(明治14) 絹本着色
東京藝術大学
- 105 伝・下岡蓮杖(画)
徳川家康像
1871(明治4)頃 石版・紙
横浜開港資料館
- 106 渡辺文三郎(画)
忠臣義士
1884(明治17)頃 石版・紙
玄々堂(製造) 個人蔵
- 107 下国龍之助(画)
削幹磨肝児島駐句之図
石版・紙
一般財団法人 黒船館
- 108 疋田敬蔵(画)
新羅三郎於足柄山伝笠時秋図
石版・手彩色・紙
一般財団法人 黒船館
- 109 【前期】
石井鼎湖(画)
弘安四年靈元兵於筑海図
石版・紙 神戸市立博物館
- 110 【後期】
石井鼎湖(画)
名和長重負帝登船上山図
石版・紙 神戸市立博物館
- 111 【前期】
石井鼎湖(画)
村上義光復錦旗之図
石版・紙 神戸市立博物館
- 112 【前期】
中丸精十郎(画)
台湾生蕃少猫里酋長伊厝及其隨員等之像
石版・紙 神戸市立博物館
- 113 高橋由一(画)
台湾鷄籠港口之景
石版・紙 玄々堂(製造)
一般財団法人 黒船館
- 114 高橋由一(画)
台湾石門美景
石版・紙
玄々堂(製造) 一般財団法人 黒船館
- 115 高橋由一(画)
月夜主従結約之図
石版・紙 玄々堂(製造) 個人蔵

- 116 高橋由一
『西洋画譜』
1874(明治7) 石版・紙
玄々堂(製造)
神奈川県立歴史博物館
(橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 117 高橋由一
『三県道路完成記念帖』
1885(明治18) 石版・絹
玄々堂(製造)
個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
- 118 五姓田義松(画)
多門丸射禽図
1875(明治8) 石版・紙
一般財団法人 黒船館
- 119 高橋由一(画)
桜井駅訣別之図
1875(明治8) 石版・紙
玄々堂(製造) 一般財団法人 黒船館
- 120 【後期】
山本芳翠(画)
鹿児島戦争之図
1877(明治10) 石版・手彩色・紙
玄々堂(製造) 神戸市立博物館
- 121 館道策(画)
巴女粟津ヶ原力戦
1877(明治10)頃 石版・紙
玄々堂(製造) 杜若文庫
- 122 【後期】
志田松翠(画)
芝中御蔭之松真景
1879(明治12) 石版・紙
玄々堂(製造) 神戸市立博物館
- 123 エドワルド・エス・モース(撰著)
『東京大学理学部会粹第一帙上冊』
大森介壺古物編』口絵
1879(明治12) 石版・紙
東京大学総合図書館
- 124 疋田敬蔵(画・発行)
北海道小樽港有幌之景
1881(明治14) 石版・紙
楽工舎(印刷) 郡山市立美術館
- 125 【前期】
玄々堂緑山(真写調整)
摂津箕面山瀑布之図
1881(明治14) 石版・紙
龍雲舎(製造) 神戸市立博物館
- 126 西尾篤(画・発行)
脱稗機之図
1882(明治15) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 127 大日本力士之肖像
(『絵入自由新聞』第453号附録)
1884(明治17) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 128 日本鉄道会社開業式御臨幸之図
(『絵入自由新聞』第462号附録)
1884(明治17) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 129 日本俳優之肖像
(『絵入自由新聞』第483号附録)
1884(明治17) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 130 仏軍清国福州ヲ攻撃之図
(『絵入自由新聞』第518号附録)
1884(明治17) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 131 清仏ノ二軍水戦之図
(『絵入自由新聞』第536号附録)
1884(明治17) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 132 日本十傑肖像
(『今日新聞』第301号附録)
1885(明治18) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 133 明治十八年略絵曆(糸物商児島定七)
1885(明治18) 多色刷石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 134 横山慶治郎(画)
隅田堤朝桜之図
1886(明治19) 石版・紙
永井兵治郎(発行)、写真石版本社(製造)
一般財団法人 黒船館
- 135 渡辺幽香
『大日本帝国古今風俗 寸陰漫稿』
1886(明治19) 石版・紙
玄々堂(製造) 神奈川県立歴史博物館
/個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
- 136 渡辺幽香
『大日本風俗漫画』
1887(明治20) 石版・銅版・紙
玄々堂(製造) 個人蔵
- 137 村井聰泉(下国巽之助)(画)
駿州富士沼遠景
1887(明治20) 石版・紙
盛広堂(製造・印刷・発行)
一般財団法人 黒船館
- 138 村井聰泉(下国巽之助)(画)
東京旧不忍秋月之図
1888(明治21) 石版・紙
新致堂(製造・印刷・発行)
一般財団法人 黒船館
- 139 水野孤芳(画)
憲法発布式場之図(『朝野新聞』号外)
1889(明治22) 石版・紙
玄々堂(印刷) 郡山市立美術館
- 140 六孫王神社境内縮図
1890(明治23) 多色刷石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 141 引札 明治廿五年略画曆
(糸物商児島定七)
1891(明治24) 多色刷石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 142 S.I(画)
楠公桜井駅訣別之図
1892(明治25) 石版・紙
玄々堂(印刷) 個人蔵
- 143 熊澤喜太郎(画・発行)
皇国貴顕肖像
1888(明治21) 石版・手彩色・紙
楽工舎(製造)
個人蔵
- 144 福宮源次郎(画)
柳橋校書於千代
1888(明治21) 石版・手彩色・紙
矢島智三郎(印刷・発行)、
楽工舎(製造)
個人蔵
- 145 東京待乳山雪景
1888(明治21) 石版・紙
香山秀吉(印刷・発行)、
楽工舎/盛広堂(製造)
個人蔵
- 146 亀井竹二郎
〈石版『懐古東海道五十三驛真景』
油彩原画〉全53点
1877-78(明治10-11) 油彩・紙
郡山市立美術館
- 147 亀井竹二郎(原画) /
徳永柳洲、他(石版)
『懐古東海道五十三驛真景』
1891-92(明治24-25)
多色刷石版・紙
郡山市立美術館
赤坂驛
興津驛 清見寺三保松原遠望
参考 亀井竹二郎(原画)
出品 『懐古東海道五十三驛真景』
のうち 興津驛
1892(明治25)頃 石版・紙
郡山市立美術館
- 148 亀井竹二郎(原画) /徳永柳洲、他(石版)
『懐古東海道五十三驛真景』
1892(明治25)頃
多色刷石版・紙(画帖)
郡山市立美術館
保土谷驛 望湯殿山
神奈川驛
川崎驛 六合川眺望
品川驛 自演川上流望海面
- 149 亀井竹二郎(原画) /徳永柳洲、他(石版)
『東海道懐古帖』
1892(明治25)頃
多色刷石版・紙 (画帖)
神奈川県立歴史博物館
参考 亀井竹二郎(原画)
出品 箱根駅 湖畔舊閑眺望
(『東海道懐古帖』より)
1892(明治25)頃
多色刷石版・紙
個人蔵
- 150 亀井竹二郎
大和国龍田川景
1876-78(明治9-11) 油彩・ボード
郡山市立美術館
- 151 亀井竹二郎
大和国春日ノ神社ノ若宮ノ夜景
1875(明治8) 油彩・キャンバス
郡山市立美術館
- 152 亀井竹二郎
蜷川与志肖像
1877(明治10) 油彩・キャンバス
郡山市立美術館
- 153 亀井竹二郎
老女肖像
1877(明治10)頃 油彩・キャンバス
郡山市立美術館
- 154 【12月27日まで展示】
亀井竹二郎
中根雪江像
1877(明治10) 油彩・キャンバス
福井市立郷土歴史博物館
- 155 【前期】
中根雪江(簀笠姿)肖像写真
1869(明治2) 写真
福井市立郷土歴史博物館
- 156 蜷川式胤
明治十年徵募巡査不二川ヲ
通行スルノ図
1880(明治13) 混合技法・板
郡山市立美術館
- 157 蜷川式胤
山城国上賀茂景
1880-81(明治13-14)
混合技法・板 郡山市立美術館
- 158 疋田敬蔵(春峰)
蜷川式胤・辰肖像
1898(明治31)頃 油彩・キャンバス
個人蔵
- 159 チャールズ・ワーグマン
街道
1872(明治5) 油彩・キャンバス
神奈川県立歴史博物館
- 160 チャールズ・ワーグマン
宿場
油彩・キャンバス
神奈川県立歴史博物館
- 161 チャールズ・ワーグマン
腰越風景
油彩・板 東京国立博物館
- 162 チャールズ・ワーグマン
西洋紳士スケッチの図
1870年代 油彩・スケッチボード
郡山市立美術館
- 163 チャールズ・ワーグマン
大名行列品川通行之図
1877(明治10) 水彩・紙
横須賀美術館寄託
- 164 チャールズ・ワーグマン
美濃国地獄谷景
水彩・紙 横須賀美術館寄託

第3章 夭折の画家・ 亀井竹二郎

- 165 高橋由一
相州江之島図
油彩・キャンパス
横須賀美術館寄託
- 166 高橋由一
甲冑図
1877(明治10) 油彩・キャンパス
靖國神社遊就館
- 167 高橋由一
驟雨図
1877(明治10)頃
油彩・板・キャンパス
栃木県立美術館
- 168 高橋由一
スケッチブック
水彩、鉛筆、墨・紙
東京藝術大学
- 169 五姓田芳柳
西洋老婦人像
1861-67頃 絹本着色
神奈川県立歴史博物館
- 170 渡辺幽香
五姓田芳柳像
1889(明治22) 油彩・キャンパス
東京藝術大学
- 171 五姓田義松
五姓田一家之図
1872(明治5)頃 油彩・紙
神奈川県立歴史博物館
- 172 五姓田義松
自画像
1877(明治10) 油彩・キャンパス
東京藝術大学
- 173 五姓田義松
井田磐楠像
1882(明治15) 油彩・キャンパス
神奈川県立歴史博物館
- 174 【後期】
五姓田義松
宇津ノ谷峠隧道
1876(明治9)以後 水彩、鉛筆・紙
神奈川県立歴史博物館
- 175 【後期】
五姓田義松
銀閣寺
水彩、鉛筆・紙
神奈川県立歴史博物館
- 176 【前期】
五姓田義松
皇居風景
水彩・紙 神奈川県立歴史博物館
- 177 【前期】
五姓田義松
五姓田工房内
1872(明治5)頃 鉛筆・紙
神奈川県立歴史博物館
- 参考 【前期】
出品 五姓田義松
鳥田髻の女
水彩、鉛筆・紙
神奈川県立歴史博物館
- 178 【前期】
五姓田義松
日光東照宮
水彩、鉛筆・紙
神奈川県立歴史博物館
- 179 【後期】
五姓田義松
石版刷り
インク、鉛筆・紙
神奈川県立歴史博物館
- 180 【後期】
五姓田義松
ワーグマン画像
1871(明治3)頃
水彩、鉛筆・紙
神奈川県立歴史博物館
- 181 五姓田義松
スケッチブック
水彩・紙
個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
- 182 五姓田義松
丹青雜集
水彩、鉛筆・紙
個人蔵(團伊能旧蔵コレクション)
- 183 山本芳翠
西洋婦人像
1882(明治15) 油彩・板
東京藝術大学
- 184 山本芳翠
灯を持つ乙女
1892(明治25)頃
油彩・キャンパス
岐阜県美術館寄託
- 185 渡辺幽香
犬吠岬
油彩・板
東京国立博物館
- 186 渡辺文三郎
海浜図
油彩・キャンパス
東京国立博物館
- 187 平木政次
箱根
1894(明治27) 油彩・キャンパス
東京国立博物館
- 188 中丸精十郎
ナイル河畔
明治中期 油彩・キャンパス
山梨県立美術館
- 189 中丸精十郎
異国風景
明治初期 油彩・キャンパス
山梨県立美術館
- 190 中丸精十郎
夕陽
明治初期 油彩・キャンパス
山梨県立美術館
- 191 本多錦吉郎
羽衣天女
1890(明治23) 油彩・キャンパス
兵庫県立美術館
- 192 本多錦吉郎
観梅図
1892(明治25) 油彩・キャンパス
東京国立博物館
- 193 小林清親
東京日比谷観兵式図
1882(明治15) 木版多色刷・紙
(尾崎民太郎発行) 個人蔵
- 194 小林清親
『諸国名所画帖』
1881(明治14) 銅版、木版・紙
(福田熊次郎発行) 杜若文庫
- 195 小林清親
〈小林清親写生帖〉
水彩、鉛筆・紙
練馬区立美術館寄託
- 196 「亀井家伝来資料」
郡山市立美術館
- 資料1 亀井至一、下国龍之助
『横山先生履歴』
1884(明治17)10月18日
墨・紙
個人蔵
- 資料2 亀井至一、下国龍之助
『横山先生之伝』
1884(明治17) 木版・紙
神奈川県立歴史博物館
(橋忠助氏旧蔵美術資料群)
- 資料3 蛭川式胤
『観古図説草稿本』
和紙、紐、布
個人蔵(印刷博物館寄託)
- 資料4 西田武雄(編)
『近代日本美術家写真アルバム』
明治～昭和戦前期撮影
銀塩写真、鶏卵紙
神奈川県立歴史博物館
(橋忠助氏旧蔵美術資料群)
- 資料5 本多錦吉郎
『追弔記念 洋風美術家小伝』
1908(明治41)
活版、網版・紙(本)
神奈川県立歴史博物館
(橋忠助氏旧蔵美術資料群)
- 資料6 平木政次
『明治初期洋画壇回顧』
1936(昭和11) 本
神奈川県立歴史博物館
(橋忠助氏旧蔵美術資料群)



展示風景



展示風景

開館30周年記念展② ヨハネ・パウロ2世美術館展

会 期：令和5年1月28日(土)～3月26日(日)
主 催：郡山市立美術館
企画協力：株式会社ホワイトインターナショナル
後 援：ポーランド広報文化センター
観 覧 料：一般1,200(960)円
 高校・大学生・65歳以上800(640)円
 ※()内は団体料金。中学生以下、障がい
 者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

ポーランドのワルシャワにあるヨハネ・パウロ2世美術館は、化学者ズビグニェフと妻ヤニナのポルチェンスキ夫妻から寄贈されたコレクションをもとに設立された。そのコレクションは、15世紀以降の西洋絵画の巨匠たちの優品であるオールドマスターから19世紀印象派まで網羅するものである。

本展では、そのコレクションの中でも女性像にスポットをあて、16世紀ルネサンスからロココ、アカデミー絵画に至るまで400年間の西洋絵画61点を紹介した。クラナハ、レンブラント、ヴァン・ダイク、ゴヤなど、各時代を代表する画家がどのように女性を描き出したのか、その様相を紹介した。



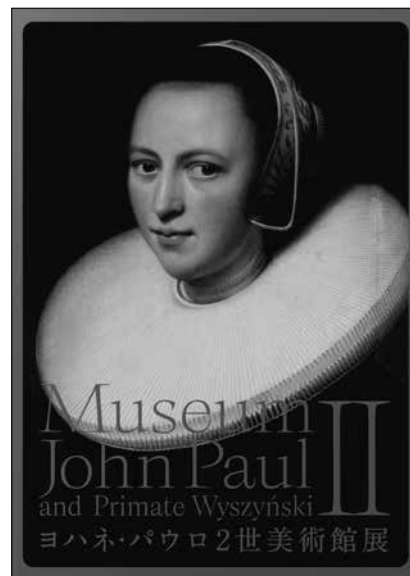
ポスター

関連行事

- 講演会「魅惑のほほえみー肖像画に描かれた女性たち」
講師：平川佳世氏(京都大学教授)
日時：令和5年2月19日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 講演会「聖母と母性の美術史」
講師：宮下規久朗氏(神戸大学教授)
日時：令和5年3月11日(土)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 美術講座「美術のなかの善い女、悪い女」
講師：川上恵理(当館学芸員)
日時：令和5年2月26日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
講師：鈴木えみこ(当館学芸員)
日時：令和5年2月23日(木・祝)午後2時から
場所：企画展示室
- ギャラリートーク
講師：富岡進一(当館学芸員)
日時：令和5年3月19日(日)午後2時から
場所：企画展示室
- 映画会
「マリー・アントワネット」
日時：3月5日(日)午後1時30分から
場所：多目的スタジオ
「別れの曲」
日時：3月18日(土)午後2時から
場所：多目的スタジオ

発行物

『ヨハネ・パウロ2世美術館展』
26.0×18.8cm 139ページ 発行日：令和5年
編集：郡山市立美術館、宮崎県立美術館、愛媛県美術館



図録

執筆：ピョートル・ドミトロヴィッチ(ヨハネ・パウロ2世美術館館長)／クリスティーン・カロール＝ボルチェンスキ／川上恵理(当館学芸員)
富岡進一(当館学芸員)／手塚朱映(宮崎県立美術館)／武田信孝(愛媛県美術館)

制作：クオラス

デザイン：ソース

発行：ホワイトインターナショナル

内容：ごあいさつ／はじめに／クリスティーン・カロール＝ボルチェンスキ「西欧美術の女性たち」／カタログ 凡例／第1章 母と子／第2章 神話と伝説／第3章 肖像／作品リスト

関連記事

「欧州の名画一堂に 郡山市立美術館記念展」、『福島民友』令和5年2月1日付

川上恵理「女性の肖像400年の美」、『福島民報』令和5年2月17日付

「西洋画／傑作に見入る／郡山で巡回展示」、『読売新聞』令和5年2月22日付

「西洋画 女性像の変遷 ヨハネ・パウロ2世美術館展 郡山で」、『福島民友』令和5年3月7日付

出品リスト

第1章 母と子

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質
1	ルーカス・クラナハ(子)	聖母子		油彩、板
2	アンニーバレ・カラッチ	聖母子	1587	油彩、カンヴァス
3	ピーテル・パウル・ルーベンス派	授乳の聖母		油彩、板
4	バルトロメ・エステバン・ムリーリョ	聖母子		油彩、カンヴァス
5	ジャン＝フランソワ・ド・トロワ	コーズル伯爵夫人とキューピッドに扮する息子の肖像		油彩、カンヴァス
6	マーガレット・サラ・カーペンター	レディ・スピアーマンと娘ジューンの肖像		油彩、カンヴァス
7	ナルシス＝ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	ジブシーの母と子		油彩、板
8	ジェイムズ・ジョン・ヒル	若い母親	1868	油彩、カンヴァス
9	ジョン・ウィリアム・ヘインズ	母性の喜び		油彩、カンヴァス
10	エミール・ミュルニエ	届かないもの	1888	油彩、カンヴァス
11	アンリ・カンポトスト	母性愛		油彩、カンヴァス
12	カルロ・ファッキネッティ	母性愛		油彩、カンヴァス

第2章 神話と伝説

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質
13	マビューズ(本名：ヤン・ホッサールト)	聖母		油彩、板
14	ヤン・ファン・スコレル	マグダラのマリア	1532/37	油彩、板
15	パリス・ポルドーネ	ダフニスとクロエ	1535頃	油彩、カンヴァス
16	ティントレット(本名：ヤーコポ・ロブスティ)	ウリヤの死を知らされるダヴィデ王	1552	油彩、カンヴァス
17	パルマ・イル・ジョヴァネ(本名：ヤーコポ・ネグレッティ)	ウルカヌスの鍛冶場のヴィーナス		油彩、カンヴァス
18	ヨーゼフ・ハイנטツ(父)	聖カタリナの神秘の結婚		油彩、板
19	ガイド・レーニ	聖家族-エジプトへの逃避途上の休息	1637	油彩、カンヴァス
20	16世紀ポローニャ派、ティツィアーノの追隨	ルクレティアの死	1527	油彩、カンヴァス
21	アントワーブ派	受胎告知		油彩、板に皮
22	ドメニキーノ(本名：ドメニコ・ザンピエーリ)	聖チェチリア		油彩、カンヴァス
23	フランチェスコ・ジェッシ	カリタス-慈愛		油彩、板
24	コルネリス・シュート	東方三博士の礼拝	1652	油彩、カンヴァス
25	アンソニー・ヴァン・ダイク	エジプトへの逃避途上の休息		油彩、カンヴァス
26	アンドレーア・サッキ	マグダラのマリアと天使		油彩、カンヴァス
27	ヨアヒム・フォン・ザンドラルト(父)	レアンドロスの死		油彩、カンヴァス
28	ディルク・ファン・デル・リッセ	森で水浴するニンフたち		油彩、板
29	カルロ・マラッティ/ジュゼッペ・バルトロメオ・キアリ	聖母子と聖カタリナと天使たち		油彩、カンヴァス
30	ドメニコ・ピオーラ(父)	聖家族	1657	油彩、カンヴァス
31	フランチェスコ・トレヴィサーニ	マグダラのマリア		油彩、カンヴァス
32	サミュエル・マッセ	口と娘たち		油彩、カンヴァス
33	ジャン＝フランソワ・ド・トロワ	泉のかたわらのリナルドとアルミーダ		油彩、カンヴァス
34	シャルル・アンドレ・ヴァン・ロー	キューピッドの教育		油彩、カンヴァス
35	ベンジャミン・ウエスト/ギルバート・スチュアート	美術の寓意		油彩、カンヴァス

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質
36	ウィリアム・エティ	ヴィーナスのもとを去る軍神マルス		油彩、カンヴァス
37	ジャン=バティスト・カミーユ・コロー	砂漠で罪を償うマグダラのマリア	1874頃	油彩、カンヴァス
38	ナルシス=ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	ヴィーナスの水浴		油彩、カンヴァス
39	ウィリアム=アドルフ・ブーグロー	ヴィーナスとキューピッド	1903	油彩、カンヴァス

第3章 肖像

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質
40	ニコラ・ヌーシャテール	皇女アンナの肖像	1567	油彩、カンヴァス
41	アロンソ・サンチェス・コエーリョ	イサベル・クララ・エウヘニアの肖像		油彩、板
42	ニコラ・ミニャール	レディ・メアリ・ウィットモアの肖像		油彩、カンヴァス
43	レンブラント・ファン・レイン	襲襟を着けた女性の肖像	1644	油彩、板
44	ヤン・メイテンス	ディアナに扮する少女の肖像	1666	油彩、カンヴァス
45	ピエルフランチェスコ・チッタディーニ	ソマーリア伯爵夫人の肖像		油彩、カンヴァス
46	アンリ・ガスカール	エリザベート・マルグリット・ドルレアン あるいはマリー・ド・セヴィニエ?		油彩、カンヴァス
47	シモン・ペーテルスゾーン・フェレルスト	羊飼いの服装をする若い婦人の肖像		油彩、カンヴァス
48	ニコラ・ド・ラルジリエール	モンロー皇女の肖像		油彩、カンヴァス
49	ジャン=マルク・ナティエ	花の神フローラに扮する女性の肖像	1753	油彩、カンヴァス
50	ジョシュア・レノルズ	ネリー・オプライン嬢の肖像		油彩、カンヴァス
51	ルイ=ロラン・トランケス	花を持つ若い女性の肖像	1785	油彩、カンヴァス
52	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・シルシエンテス	水を運ぶ女性		油彩、カンヴァスに紙
53	フランチェスコ・アイエツ	ルツに扮する女性の肖像	1853	油彩、カンヴァス
54	フリッツ・ツーパー=ビュラー	花環の少女		油彩、カンヴァス
55	ジャン・レオン・ジェローム	水を運ぶエジプトの女性の肖像	1883	油彩、カンヴァス
56	ウィリアム=アドルフ・ブーグロー	美しいブルネットの女性の肖像	1898	油彩、カンヴァス
57	ジュール・マルク・シャルメラ	リトル・マーメイド		油彩、カンヴァス
58	フレデリック・レイトン	ソフィア・ウェルズリーの肖像	1851	油彩、カンヴァス
59	ライムンド・マドラーソ・イ・ガレッタ	ピンク色のドレスを着た少女の肖像		油彩、カンヴァス
60	エミール・ブラク	白いドレスの少女の肖像	1886	油彩、カンヴァス
61	イグナシオ・スロアガ・イ・サバレタ	女性の肖像		油彩、カンヴァス



講演会（平川佳世氏）



講演会（宮下規久朗氏）



展示風景



展示風景

Ⅲ 教育普及事業

1) 講演会 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 352名

回	月日	演題	講師	開催企画展	参加者数
1	5月21日(土)	横浜美術館の日本画コレクション-天心、三溪、日本美術院	柏木智雄 (横浜美術館副館長)	日本美術院の作家たち展	51
2	10月23日(日)	写真家ソール・ライター	飯沢耕太郎 (写真評論家)	永遠のソール・ライター	61
3	11月20日(日)	記録する眼と表現する手の間で	小泉晋弥 (茨城大学名誉教授)	記録する眼 豊穣の時代	40
4	2月19日(日)	魅惑のほほえみ-肖像画に描かれた女性たち	平川佳世 (京都大学教授)	ヨハネ・パウロ 2世美術館展	112
5	3月11日(土)	聖母と母性の美術史	宮下規久朗 (神戸大学教授)	ヨハネ・パウロ 2世美術館展	88
合 計					352

2) シンポジウム 会場：多目的スタジオ 午後1時～ 参加者数 40名

回	月日	演題	講師	開催企画展	参加者数
1	12月3日(土)	展覧会ができるまで-亀井兄弟の足跡を辿って-	増野恵子(早稲田大学講師)、角田拓朗(神奈川県立歴史博物館学芸員)、中山恵理(当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	40
合 計					40

3) 美術講座 会場：講義室、多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 155名

回	月日	演題	講師	開催企画展	参加者数
1	4月29日(金・祝)	特別美術講座 院展とその作家たち	八柳サエ (横浜美術館主任学芸員)	日本美術院の作家たち展	37
2	9月23日(金・祝)	ソール・ライターと日本	永山多貴子 (当館学芸員)	永遠のソール・ライター	27
3	11月13日(日)	『観古図説』を読む	鈴木えみこ (当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	15
4	11月27日(日)	亀井至一と小林清親	塚本敬介 (当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	15
5	12月11日(日)	メディアとアートと石版画	永山多貴子 (当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	6
6	12月18日(日)	明治への旅	中山恵理 (当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	10
7	2月26日(日)	美術のなかの善い女、悪い女	川上恵理 (当館学芸員)	ヨハネ・パウロ 2世美術館展	45
合 計					155

4) スライドトーク 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 102 名

回	月 日	講 師	関連企画展	参加者数
1	5月8日(日)	菅野洋人(当館館長)	日本美術院の作家たち展	20
2	5月15日(日)	田中有沙子(当館学芸員)	日本美術院の作家たち展	25
3	5月22日(日)	塚本敬介(当館学芸員)	日本美術院の作家たち展	31
4	5月29日(日)	鈴木えみこ(当館学芸員)	日本美術院の作家たち展	26
合 計				102

5) ギャラリートーク 会場：企画展示室 午後2時～ 参加者数 207 名

回	月 日	講 師	関連企画展	参加者数
1	10月1日(土)	田中有沙子(当館学芸員)	永遠のソール・ライター	37
2	10月8日(土)	新田量子(当館学芸員)	永遠のソール・ライター	25
3	11月12日(土)	中山恵理(当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	15
4	11月26日(土)	塚本敬介(当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	15
5	12月10日(土)	永山多貴子(当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	12
6	12月17日(土)	鈴木えみこ(当館学芸員)	記録する眼 豊穣の時代	25
7	2月23日(木・祝)	鈴木えみこ(当館学芸員)	ヨハネ・パウロ2世美術館展	40
8	3月19日(日)	富岡進一(当館学芸員)	ヨハネ・パウロ2世美術館展	38
合 計				207

6) ミュージアム・シアター 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 200 名

回	月 日	上 映 作 品	参加者数
1	5月14日(土)	天心(監督:松村克弥、2013年/122分/日本)	41
2	10月22日(土)	写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと (監督・撮影:トーマス・リーチ、2012年/75分/イギリス、アメリカ)	49
3	3月5日(日)	マリー・アントワネット (監督:ソフィア・ Coppola、2006年/123分/アメリカ)	80
4	3月18日(土)	別れの曲 (監督:ゲザ・フォン・ボルヴァー、1934年/87分/ドイツ)	30
合 計			200

※「マリー・アントワネット」は午後1時30分より上映

7) 文化講座

参加者数 286 名

回	月 日	講座名	講 師	参加者数
1	11月23日(水・祝)	幕末明治の見世物寄席	林家正雀(落語家)、のだゆき(音楽パフォーマー)、林家彦三(落語家)	65
2	3月4日(土)	中本マリ with 福井ともみ ジャズ・ライブ	中本マリ(ボーカル)、福井ともみ(ピアノ)	111
3	3月25日(土)	吉野直子ハープ・コンサート ージェーンとともにー	吉野直子(ハープ)	110
合 計				286

会場：「幕末明治の見世物寄席」多目的スタジオ/午後2時～

「中本マリ with 福井ともみ ジャズ・ライブ」階段ホール/午後6時～

「吉野直子ハープ・コンサートージェーンとともにー」階段ホール/午後6時～

8) ミュージアム・コンサート 会場：階段ホール 午後7時～ 参加者数 145 名

回	月 日	タイトル	出 演	参加者数
1	3月23日(木)	女性作曲家たち～その響き	下山静香(ピアノ)、竹内永和(ギター)、yumi(フルート)、秋本悠希(ソプラノ)、他	145
合 計				145



幕末明治の見世物寄席



吉野直子ハープ・コンサート



中本マリ with 福井ともみ ジャズ・ライブ



女性作曲家たち～その響き

9) ワークショップ

参加者数 77 名

「粘土型でつくる 張り子の仮面」(3日間連続講座)

粘土で型を塑像し、その上に水で濡らした和紙(海老根和紙)を張りつけて仮面を制作した。アクリル絵具で絵付けして完成。

講師：大石尚(彫刻家)
日時：5月14日(土)、15日(日)
午前10時～午後4時
5月22日(日) 午後1時～午後4時
会場：創作スタジオ
参加者数：12名



「はじめてのテンペラで描く」(2日間連続講座)

卵を使った古典技法「テンペラ」の体験講座。卵メディウムを作って顔料と練り合わせ、油彩も併用しながら作品を制作した。

講師：齋藤ナオ(画家)
日時：7月2日(土)、3日(日)
両日：午前10時～午後4時
会場：創作スタジオ
参加者数：15名



魔法の美術館関連ワークショップ

「ピンホールシネマで遊ぼう」(1日講座)

頭にすっぽりかぶることのできるピンホールカメラを制作。出来上がった作品をかぶり自分だけの映画館を体験した。

講師：フワリラボ(冷水久仁江、岡田憲一)
日時：8月11日(木・祝)
午後1時～午後3時
会場：創作スタジオ、石庭
参加者数：13名



「木口木版でつくる蔵書票」(4日間連続講座)

「木口木版」という技法について学び、展示室で作品を鑑賞したのち、オリジナルの蔵書票を制作した。

講師：野口和洋(版画家)
日時：12月4日(日)10日(土)、11日(日)、17日(土)
各日：午前10時～午後4時
会場：創作スタジオ
参加者数：10名



「テンペラで楽しく描こう」(3日間連続講座)

古典技法「テンペラ」の基礎講座、SMサイズのパネルにテンペラと油彩を併用して作品を制作した。

講師：齋藤ナオ(画家)
日時：2月11日(土)、12日(日)、18日(土)
各日：午前10時～午後4時
会場：創作スタジオ
参加者数：13名



「岩絵具で描く」(2日間連続講座)

日本の伝統絵具・岩絵具や膠(にかわ)について学び、和紙や絹、麻紙ボードを使って作品を制作した。

講師：中村亞都子(画家)
日時：3月18日(土)、19日(日)
両日：午前10時～午後4時
会場：創作スタジオ
参加者数：14名



10) 学校との連携事業

①第20回風土記の丘の美術展～郡山市内の小学生による作品展～

主 催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会

郡山市内の小学生が図工教科の授業で制作した造形作品を美術館内に展示した。子供たちの造形活動を促し、教科研究に役立てるとともに、市民が美術館に身近に接する機会をつくる目的で毎年開催している。

会 期：7月23日(土)～8月19日(金)

第1期(7月23日～7月29日)

穂積、三和、多田野、河内、片平、喜久田、熱海、安子島、守山、御代田、高瀬、谷田川、金透

第2期(7月30日～8月5日)

芳山、橘、小原田、開成、芳賀、桃見台、赤木、薫、富田、富田東、富田西、大槻、白岩

第3期(8月6日～8月12日)

東芳、桜、桑野、大島、緑ヶ丘第一、小山田、大成、朝日が丘、宮城、海老根、御館、西田学園、湖南

第4期(8月13日～8月19日)

日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、安積第一、安積第二、安積第三、永盛、柴宮、

郡山ザベリオ学園

参 加 校：56校

作品点数：313点

会 場：美術館ロビー

観覧者数：14,984人

②第14回風土記の空 ～郡山市内の中学校美術部による作品展～

郡山市内の中学校が、美術部活動において制作した作品を美術館内に展示した。この展覧会は、美術館と中学校との連携と美術活動の活性化を目的に実施し、額装や展示等も中学生が行っている。

会 期：11月15日(土)～令和5年1月9日(日)

会 場：美術館ロビー

参 加 校：日和田中学校、郡山第四中学校、緑ヶ丘中学校、

小原田中学校、西田学園

作品点数：61点

観覧者数：1,579人

③鑑賞学習対応

小学校34校1,704名 中学校10校223名 高校3校81名

合計47校 2,008名



風土記の丘の美術展



風土記の空 展示



鑑賞学習の様子

11) 対外協力、部局連携、その他

①博物館実習

期 間：7月29日(金)～8月3日(水)

受入校及び実習生数5校7名

東北芸術工科大学 1名 宮城学院女子大学 1名

文星芸術大学 2名 都留文科大学 1名

郡山女子大学短期大学部 2名

実習内容：作品の取扱(平面・立体)、各概論(収集・保存・展示・普及) 野外彫刻の洗浄、ギャラリートーク実習、企画展立案実習 など



博物館実習 (作品の取扱)

- ②美術館・観光課共同企画
郡山写真部とのワークショップ、展示等
実施日：9月11日(日)
展示：10月1日(土)～23日(日)
会場：多目的スタジオ、ロビー

- ③明治美術学会特別研究会
『なぜ明治・美術・学会なのか』
実施日：11月19日(土)
会場：多目的スタジオ
※P.32参照

- ④こおりやまフィルムコミッション
AliA「僕が僕であるために」Official Music Video 撮影
撮影日：12月26日(月)
会場：美術館内

12) 図書資料・視聴覚資料

調査研究及び教育普及を目的とし、昭和63年から図書、ビデオ、レーザーディスク、CD-ROM、DVDなどの二次資料を収集し、一部は開架式図書コーナーにおいて公開している。

この二次資料は、令和4年度末現在23,000件を越えているが、専門職員(司書)の配置がなされていないために、慢性的な未整理状態が続いている。

13) 刊行物

美術館ニュース「ザ・ルーフ」A4判カラー8ページ
第60号(令和4年7月14日発行)

サー・ジョシユア・レイノルズ《エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像》	表紙
富岡進一「光と遊ぶ超体験型ミュージアム 魔法の美術館」	p.2
永山多貴子「ニューヨークが生んだ伝説の写真家 永遠のソール・ライター」	p.3
「常設展示室紹介」	p.4
「ワークショップ報告」	p.5
菅野洋人「報告 「横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展」」	p.6
Report(文化講座等)	p.7
Information、Topics	p.8

美術館ニュース「ザ・ルーフ」A4判(A2判四つ折り)
開館30周年記念増刊号(令和4年11月16日発行)
郡山市立美術館 展覧会大全集

美術館ニュース「ザ・ルーフ」A4判カラー8ページ
第61号(令和5年3月7日発行)

山本昇雲《ひなまつり》	表紙
川上恵理「罪深い”女たちの400年間の誘惑」	p.2
新田量子「20世紀の多彩な芸術家たち」	p.3
塚本敬介「報告 記録する眼 豊穣の時代 明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々」	p.4
木下直之(静岡県立美術館館長)「寄稿 「美術館へ、美術館から、出かける」」	p.5
「令和3年度収蔵品紹介」	p.6
Report(ワークショップ等)	p.7
Information、Topics	p.8

郡山市立美術館年報令和3年度
A4判 72ページ(令和4年7月1日発行)

ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー
A4判三つ折り、片面4色、片面1色

常設展示目録

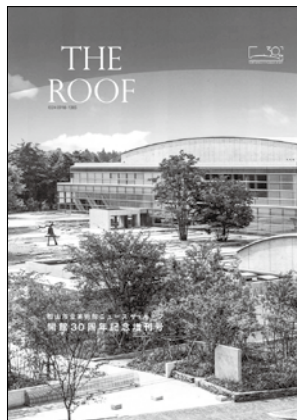
- 「常設展示目録 第1期 令和4年4月27日～7月18日」A3判二つ折り、両面1色
- 「常設展示目録 第2期 令和4年7月21日～10月10日」A3判二つ折り、両面1色
- 「常設展示目録 第3期(開館30周年 郡山市立美術館名品選+テーマ展示「旅をめぐるコレクション Collection×旅」) 令和4年10月13日～令和5年1月9日」A3判二つ折り、両面1色
- 「常設展示目録 第4期 令和5年1月28日～4月23日」A3判二つ折り、両面1色

ポスター、チラシ、パンフレット

- 横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展
ポスターB2判4色、チラシA4判4色
- 光と遊ぶ超体験型ミュージアム 魔法の美術館
ポスターB2判4色、チラシA4判4色
- ニューヨークが生んだ伝説の写真家 永遠のソール・ライター
ポスターB2判4色、チラシA4判4色
- 開館30周年記念展1
記録する眼 豊穡の時代 明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々
ポスターB2判4色、チラシA3判二つ折り4色
- 開館30周年記念展2
ヨハネ・パウロ2世美術館展
ポスターB2判4色、チラシA4判4色



ザ・ルーフ 第60号



ザ・ルーフ 開館30周年記念増刊号



ザ・ルーフ 第61号



カレンダー2022



年報 令和3年度

14) 館外での活動及び関連記事・報道

他機関からの委嘱

- ・菅野洋人：喜多方市美術館収集評価委員会委員(令和4年～)
一般社団法人全国美術館会議理事(令和4年～)
- ・杉原聡：福島大学芸術による地域創造研究所客員研究員(平成21年度～)
- ・中山恵理：福島県立美術館収集評価委員会委員(令和元年12月～)
- ・富岡進一：郡山市上下水道局水道週間ポスター展審査委員

出前講座講師

- ・田中有沙子「郡山ゆかりの美術講座」安積南地域公民館、令和4年7月22日(金)
- ・新田量子「美術に関する教養講座」あさかの学園大学、令和4年9月30日(金)
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」あさかの学園大学、令和4年11月11日(金)
- ・富岡進一「郡山ゆかりの美術講座」郡山市立郡山第一中学校、令和5年2月7日(火)

その他講師

- ・永山多貴子「郡山市小学校教育研究会 図画工作科研究部会研修会」(多目的スタジオ)、令和4年7月26日(木)
- ・永山多貴子「田村地区小学校教育研究会 図画工作科研究部会研修会」(多目的スタジオ)、令和4年7月28日(木)
- ・永山多貴子「福島県中学校教育研究会 美術専門部会 美術ゼミナール」(多目的スタジオ)、令和4年7月29日(金)
- ・永山多貴子「講演会～小林かいちと抒情画の系譜～」(北海道立帯広美術館)、令和4年7月9日(土)
- ・永山多貴子「講演会～イギリスの書物の魅力～」(群馬県立近代美術館)、令和4年10月16日(日)

関連記事

寄稿

- ・永山多貴子「作品から子どもの声を聞く「風土記の丘の美術展」」、『形 forme No.329-2023』、日本文教出版株式会社、令和5年2月24日
- ・中山恵理「コロナ禍での選考を終えて」、『東京藝術大学美術学部杜の会会報「杜」』第52号、杜の会事務局、令和4年6月20日
- ・塚本敬介「透明感のあるブルー」『福島民報』「いっぴん」令和4年7月15日付
- ・中山恵理「美術館の毎日と30年」、『福島民報』「民報サロン」令和4年9月8日付
- ・中山恵理「素晴らしい出会い」、『福島民報』「民報サロン」令和4年9月29日付
- ・中山恵理「広がる本の世界」、『福島民報』「民報サロン」令和4年10月20日付
- ・中山恵理「積み上げる宿題」、『福島民報』「民報サロン」令和4年11月9日付
- ・中山恵理「美術館の役割とは」、『福島民報』「民報サロン」令和4年11月30日付
- ・中山恵理「見ることの楽しさ」、『福島民報』「民報サロン」令和4年12月21日付
- ・川上恵理「女性の肖像400年の美」『寄稿、福島民報』令和5年2月17日付

その他

- ・永山多貴子「ローダー・コレクションの挿絵本」、『理想の書物—英国19世紀挿絵本からプライベート・ブレスの世界へ—』、群馬県立近代美術館、令和4年9月17日
- ・鈴木えみこ「深江芦舟の評伝と生涯について」、『パラゴネ』10号、令和5年3月、1-18頁



小学校教育研究会 研修会

IV 作品収集・保存管理事業

1) 新収蔵作品・美術資料一覧

美術品の収集は、(1)イギリスの近代美術、(2)日本の近代美術、(3)郡山ゆかりの美術、(4)本(版)の美術、の4つの柱を基本方針として行っている。

令和4年度の収集状況は、購入8件、寄贈65件で、内訳は下表のとおりである。

	油彩画	水彩画、素描画	日本画	版画	彫刻	工芸	写真	計	美術資料
平成13年度まで	233	353	30	1,219	25	168	0	2,028	103
平成14年度	16	27	0	29	6	16	0	94	0
平成15年度	2	0	2	0	0	0	0	4	0
平成16年度	9	1	1	0	0	0	0	11	0
平成19年度	0	0	17	0	8	5	0	30	0
平成20年度	13	16	0	1	1	0	0	31	0
平成24年度	4	0	0	2	0	0	0	6	2
平成25年度	2	0	0	0	0	1	0	3	0
平成26年度	1	0	0	3	1	22	0	27	7
平成29年度	5	0	0	7	4	0	0	16	0
平成30年度	2	6	0	4	2	9	0	23	4
令和元年度	1	0	5	4	3	20	0	33	0
令和2年度	12	2	3	1	0	5	0	23	0
令和3年度	9	3	0	48	0	3	0	63	0
令和4年度	7	24	1	35	2	0	3	72	1
合計	316	432	59	1,353	52	249	3	2,464	117

■令和4年度新収蔵作品

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
1	ハミッシュ・フルトン	過去 現在 未来	1974年	写真、テキスト	54.0×44.7	購入
2	ハミッシュ・フルトン	雨/壁	1983年	写真、テキスト	147.0×119.0	購入
3	ハミッシュ・フルトン	鳥/石	1986年	写真、テキスト	139.5×110.0	購入
4	ハミッシュ・フルトン	稜線	1990年	鉛筆、紙	79.0×77.0	購入
5	太田喜二郎	サン・ピエール寺院	1910-1911 (明治43-44)年	油彩・キャンバス	74.0×50.5	購入
6	辻 永	ブルーデュにて	1920(大正9)年	油彩・キャンバス	72.8×100.0	購入
7	酒井三良	春池小景	1926(大正15)年	絹本墨画淡彩、二曲一隻	165.0×164.0	購入
8	土橋 醇	和光	1958(昭和33)年	油彩・キャンバス	46.0×91.0	購入
9	ハミッシュ・フルトン	北海道 1983	1983年	水彩・紙	16.5×20.5	大谷芳久氏寄贈
10	野見山暁治	北大の校舎	1939(昭和14)年	油彩・板	24.0×33.3	野見山暁治氏寄贈
11	野見山暁治	しおどき	1993(平成5)年	油彩・キャンバス	116.7×116.7	野見山暁治氏寄贈
12	野見山暁治	夜が明ける	2009-2020 (平成21-令和2)年	油彩・キャンバス	145.2×97.0	野見山暁治氏寄贈
13	土橋 醇	青い星	1965(昭和40)年	油彩、鉄板・板	73.0×100.0	丹代美奈子氏寄贈
14	三木宗策	傷つきたる鳥人	1941(昭和16)年	木彫	H173.0 W106.0 L56.0	三木康生氏寄贈
15	三木宗策	丹花綻ぶ(石膏原型)	1936(昭和11)年	石膏	(座像)H 135.8 W63.7 L44.0 (立像)H127.4 W41.5 L37.0	三木康生氏寄贈
16	佐藤静司	遙	1989(平成元)年	ブロンズ	H189.0 W54.0 L44.5	宇野洋子氏寄贈

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
17	南 薫造	滞船		水彩・紙	33.0×23.8	南 建氏寄贈
18	南 薫造	農作業	1907(明治40) -1910(明治43)年	水彩・紙	25.3×35.4	南 建氏寄贈
19	南 薫造	舟を曳く馬	1907(明治40) -1910(明治43)年	水彩・紙	25.2×35.3	南 建氏寄贈
20	南 薫造	ヒナギク	1907(明治40) -1910(明治43)年	水彩・紙	25.4×35.5	南 建氏寄贈
21	南 薫造	風景二題	1907(明治40) -1910(明治43)年	水彩・紙	35.4×25.2	南 建氏寄贈
22	南 薫造	首飾りとリボンをつけた少女	1907(明治40) -1910(明治43)年	水彩・紙	35.0×25.0	南 建氏寄贈
23	南 薫造	ドアの前に立つ少女	1907(明治40) -1910(明治43)年	水彩・紙	34.6×24.8	南 建氏寄贈
24	南 薫造	窓辺の少女	1907(明治40) -1910(明治43)年	水彩・紙	52.9×36.3	南 建氏寄贈
25	南 薫造	甲板上の鳥籠	1916(大正5)年	水彩・紙	24.2×33.2	南 建氏寄贈
26	南 薫造	雲		水彩・紙	16.6×19.7	南 建氏寄贈
27	南 薫造	夕日		水彩・紙	21.2×33.1	南 建氏寄贈
28	南 薫造	子を抱く母	1916(大正5)年	水彩・紙	24.1×33.1	南 建氏寄贈
29	南 薫造	写生するインドの若者	1916(大正5)年	水彩・紙	24.4×15.8	南 建氏寄贈
30	南 薫造	インドの建物	1916(大正5)年	水彩・紙	35.5×25.3	南 建氏寄贈
31	南 薫造	母と子	1916(大正5)年	水彩・紙	35.5×25.3	南 建氏寄贈
32	南 薫造	朝鮮の女	1942(大正17)年	水彩・紙	32.7×24.3	南 建氏寄贈
33	南 薫造	耕作		鉛筆・紙	24.3×33.0	南 建氏寄贈
34	南 薫造	浪(鎌倉)		水彩・紙	24.3×33.2	南 建氏寄贈
35	南 薫造	新宿百人町の自宅の庭		水彩・紙	32.9×24.3	南 建氏寄贈
36	南 薫造	6歳の南建	1947(昭和22)年	水彩・紙	30.2×22.8	南 建氏寄贈
37	原 撫松	白いブラウスの婦人、横向き	1906(明治39)年	水彩・紙	21.0×15.0	丹尾安典コレクション寄贈
38	谷中安規	たんぼぼ	1932(昭和7)年頃	墨、水彩・紙	33.1×24.1	丹尾安典コレクション寄贈
39	平塚運一、加藤太郎、 清宮 彬、初山 滋	愛書票歴(昭和20年)4点	1944(昭和19)年頃	木版等・紙	8.9×7.0、他	丹尾安典コレクション寄贈
40	清宮彬 他	「第11回榛の会」作品集 (全49点+ガリ版通信、 手紙、封筒)	1945(昭和20)年	木版、他	(ハガキ)	丹尾安典コレクション寄贈
41	亀井至一石画 玄々堂石版部製造	(鯨)	1879(明治12)年頃	石版、手彩色・紙	34.1×26.2	丹尾安典コレクション寄贈
42	楠山秀太郎石印	駿州田子之浦真景	1881(明治14)年	石版・紙	26.7×38.0	丹尾安典コレクション寄贈
43	福山大成石印	駿州戻橋真景	1883(明治16)年	石版、手彩色・紙	27.0×38.0	丹尾安典コレクション寄贈
44	亀井至一出版 鈴木鑑太郎画	駿州吉原ノ景	1885(明治18)年	石版、手彩色・紙	27.1×36.4	丹尾安典コレクション寄贈
45	フクミヤ画 藪崎芳次郎出版	小児犬戯図	1886(明治19)年	石版、手彩色・紙	27.8×36.7	丹尾安典コレクション寄贈
46	矢島智三郎印刷 福宮源次郎画	東都美人 小路久小園	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	36.5×26.8	丹尾安典コレクション寄贈
47	T. Meguro画 藪崎芳次郎発行 小島幸作印刷	愛犬之図	1888(明治21)年	石版・紙	35.8×27.0	丹尾安典コレクション寄贈
48	渡辺忠久発行	美人花見之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	35.9×26.8	丹尾安典コレクション寄贈
49	小山三造画	本願寺	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	24.1×35.1	丹尾安典コレクション寄贈
50	園田一郎編輯 水口龍之助印刷	大阪パノラマ館難波新 地阪堺停車場前	1891(明治24)年	二色石版・紙	37.4×37.0	丹尾安典コレクション寄贈

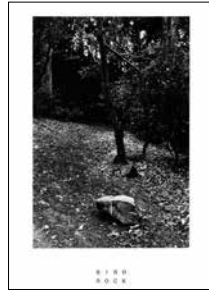
No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
51	松森宗平画工兼発行	故大村兵部大輔銅像真図	1893(明治26)年	木版・紙	30.1×23.7	丹尾安典コレクション寄贈
52	有山定次郎印刷	於上野公園祝捷大会図	1894(明治27)年	多色石版・紙	31.4×41.3	丹尾安典コレクション寄贈
53	誠山堂照沼印刷所石印	明治廿七八年戦役従軍馬匹記念	1895(明治28)年頃	石版・紙	47.4×32.9	丹尾安典コレクション寄贈
54	誠協堂製造 渡辺忠久発行	花鳥之図		石版・紙	27.0×36.3	丹尾安典コレクション寄贈
55	潮瀬茂一発行	芝高輪汽車夜景		石版、手彩色・紙	26.8×37.8	丹尾安典コレクション寄贈
56	後藤芳景図案 町田信次郎画 松聲堂編纂	教育歴史画第壹輯の参西郷と月照相約して海中に投す	1895(明治33)年	多色石版・紙	39.5×54.6	丹尾安典コレクション寄贈
57	東涛舎巴凌(霜鳥暗)画 小林桃山刻 精行社銅版部印行	別格官幣靖国神社全図	1906(明治39)年	銅版・紙	23.3×35.1	丹尾安典コレクション寄贈
58	町田信次郎画 田中良三印刷 尚美堂発行	当世風俗花と美人 薔薇の花	1908(明治41)年	二色石版・紙	47.1×34.6	丹尾安典コレクション寄贈
59	町田信次郎画 田中良三印刷 尚美堂発行	当世風俗花と美人 理想之友	1910(明治43)年	二色石版・紙	46.9×35.0	丹尾安典コレクション寄贈
60	町田信次郎画	(洋装婦人)		二色石版・紙	47.2×34.9	丹尾安典コレクション寄贈
61	町田信次郎画	(和装婦人座像)		二色石版・紙	47.0×35.0	丹尾安典コレクション寄贈
62	町田信次郎画	(和装婦人立像)		二色石版・紙	47.2×35.0	丹尾安典コレクション寄贈
63	小林清親	COLLYRIUM 東京銀座式町目 楽善堂岸田吟香		多色石版、木版・紙	34.9×24.9	丹尾安典コレクション寄贈
64	水野孤芳画 保民・雪光・汀角・ 兼松刻	(『絵入朝野新聞』第1835号附録)	1889(明治22)年	木口木版・紙	36.0×50.7	丹尾安典コレクション寄贈
65	山本芳翠画 生巧館合田清刻	貴顕之肖像(『東京朝日新聞』第1076号附録)	1888(明治21)年	木口木版・紙	32.2×22.3	丹尾安典コレクション寄贈
66	生巧館刻	希臘親王ジョージ殿下御肖像 露国皇太子ニコライ殿下御肖像 (『東京朝日新聞』第1936号附録)	1891(明治24)年	木口木版・紙	31.0×22.3	丹尾安典コレクション寄贈
67	藤嶋武二画 生巧館刻	濃尾震災惨状真図 岐阜市街災後之惨状(『東京朝日新聞』第2088号附録)	1891(明治24)年	木口木版・紙	46.8×33.5	丹尾安典コレクション寄贈
68	菊池容斎画 生巧館刻	(『東京朝日新聞』第2732号附録)	1894(明治27)年	木口木版・紙	30.2×45.8	丹尾安典コレクション寄贈
69	精巧堂万里刻	貴顕肖像(『小国民』第3年第13号附録)	1891(明治24)年	木口木版・紙	37.5×25.8	丹尾安典コレクション寄贈
70	小林清親画 精巧堂万里刻	楠正成卿(『小国民』第4年第1号附録)	1892(明治25)年	木口木版・紙	27.3×41.0	丹尾安典コレクション寄贈
71	(不明)	ウインチェスター、ハンブシャー (『正確なイングランドとウエールズ』(トマス・ダグデイル著、L・タリス、1850年代)挿絵)	1850年代	エングレーヴィング、 手彩色・紙	7.3×11.1	丹尾安典コレクション寄贈
72	ジョゼフ・マロード・ ウィリアム・ターナー画 ウィリアム・ラドクリフ刻	サン・ジュリアン(『セーヌ川とロワール川』(M・B・ヒュイッシュ著、H・ヴァーチュー社、1895年)挿絵)	1895年	エングレーヴィング、 手彩色・紙	9.5×14.4	丹尾安典コレクション寄贈
73	フェリックス・ レガメ画	京都での当社の画家 (『ハーバース・ウィークリー』1877年5月5日付挿絵)	1877年	木口木版・紙	23.0×34.4	丹尾安典コレクション寄贈



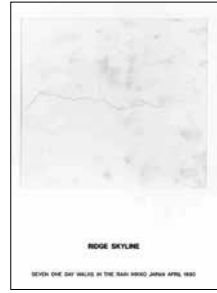
1



2



3



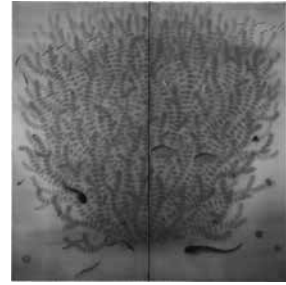
4



5



6



7



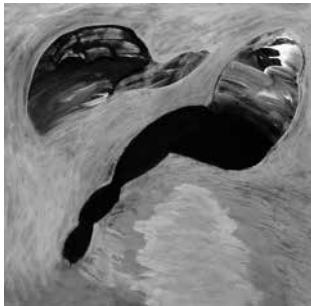
8



9



10



11



12



13



14



15



16



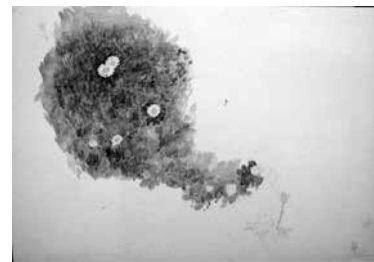
17



18



19



20

作品収集・
保存管理事業



21



22



23



24



25



26



27



28



29



30



31



32



33



34



35



36



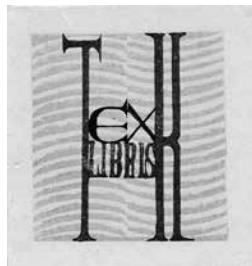
37



38



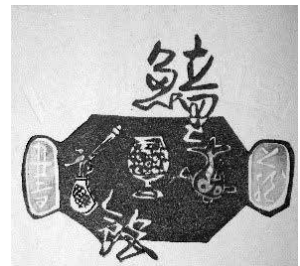
39-1



39-2



39-3



39-4



41



42



43



44



45



46



47



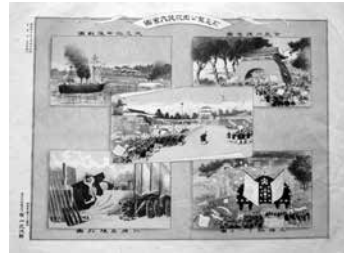
48



49



50



52



53



54



55



56



57



58



59



60



61



62



63



64



65



66



67



68



69



70



71



72



73

40 「第11回様の会作品集」



1 若山八十氏



2 池上もと



3 清宮 彬



4 根本霞外



5 山口 進



6 福島つね子



7 河辺 篤



8 水船六洲



9 幸内純一



10 杉原正巳



11 加藤太郎



12 料治朝鳴



13 平塚運一



14 河原侃二



15 前川千帆



16 関野準一郎



17 八重垣逸郎



18 恩地孝四郎



19 武井武雄



20 熊谷元一



21 橋本興家



22 初山 滋



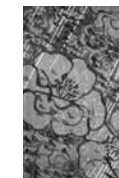
23 西川藤太郎



24 内藤政勝



25 江南史朗



26 根市良三



27 馬淵録太郎



28 加地春彦



29 川上澄生



30 山口 源



31 鈴木登三



32 佃 政道



33 岩田覚太郎



34 大岩忠一



35 守 洞春



36 高桑了英



37 月岡忍光



38 稲垣稔次郎



39 北川有三



40 高羽 敏



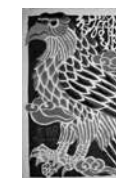
41 山内金三郎



42 山林文字



43 木村義男



44 板 祐生



45 武藤完一



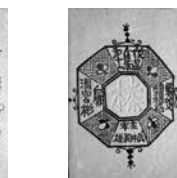
46 佐藤米太郎



47 佐藤米次郎



48 清宮 彬



49 (作者不詳)

作品収集・
保存管理事業

2) 収蔵作品貸出状況

作家名	作品名	展覧会名、会場、会期
ウィリアム・ブレイク	『墓』(ロバート・ブレア)	「理想の書物 -英国19世紀挿絵本から プライヴェート・プレスの世界-」 群馬県立近代美術館 令和4年9月17日(土)~11月13日(日)
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』より 扉	
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』より 第13図、第14図	
トマス・ビューイック	『ゴルドスミス、パーネル詩集』	
マイルズ・バーケット・フォスター	『イギリス風景画集』	
A. B. ホートン	『家庭の思想と情景』(ジーン・インジェロー他)	
ジョン・レイトン	『人の一生』(R.ピゴット編)	
ウィリアム・ホルマン・ハント他	『英国宗教詩集』(R. A. ウィルモット編)	
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	『救世主イエス・キリストの寓話』	
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ他	『ディエルの聖書ギャラリー』より 第7図、第12図、第32図、第53図、 第59図、第61図	
マイルズ・バーケット・フォスター他	『詩集』(ワーズワース)	
G. J. ピンウエル他	『詩集』(ジーン・インジェロー)	
ウィリアム・ホルマン・ハント他	『詩集』(アルフレッド・テニス)	
ウィリアム・ニコルソン	『スポーツ歳時記』	
オーブリー・ビアズリー	『アーサー王の死』(トマス・マロリー)分冊	
サー・エドワード・コーリー・バーン =ジョーンズ	『ジェフリー・チョーサー作品集』(F.エリス編)	
サー・エドワード・コーリー・バーン =ジョーンズ	『クビドとプシュケの物語』全2巻 (ウィリアム・モリス)	
サー・エドワード・コーリー・バーン =ジョーンズ	『クビドとプシュケの物語』(ウィリアム・モリス)プルーフ集	
チャールズ・リケッツ、チャールズ・シャノン	『ダフニスとクロエ』(ロンゴス)	
リュシアン・ピサロ	『眠れる森の美女と赤ずきん』(C.ペロー)	
ポール・ナッシュ	『創世記』	
エリック・ギル	『主イエス・キリストの受難』	
エリック・ギル	ゲッセマネの園におけるキリストの苦悶 (『主イエス・キリストの受難』)プルーフ版	
エリック・ギル	『四福音書』	
エリック・ギル	降下(『四福音書』)プルーフ版	
エリック・ギル	磔刑(『四福音書』)プルーフ版	
ロバート・ギビングズ	『生命の栄光』(ルウェリン・ボウイス)	
ジョン・ナッシュ	『花』(H. E. ベイツ)	
エサルバート・ホホワイト	『愛情物語』(R. ジェフリーズ)	
G.C.L.アンダーウッド	『月陰の調べ』(J. B. キャベル)	
E.W.ラヴィリアス	『砂漠、伝説』(M. アームストロング)	
アグネス・ミラー・パーカー	『イソップ物語』	
C.V.Hレイトン	『農民の一年』	
J.F.W.C.ファーレー	『神を探し求める黒人少女の冒険』(B.ショウ)	
グウェンドレン・メアリー・ラヴェラ	『ダフニスとクロエの純愛物語』(ロンゴス)	

作家名	作品名	展覧会名、会場、会期
亜欧堂田善	新鑄総界全図 付・日本辺界略図	「没後200年 亜欧堂田善展」 福島県立美術館 令和4年10月29日(土)～12月18日(日)
安田雷洲	銅版万国方図	千葉県美術館 令和5年1月13日(金)～2月26日(日)
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	「自然という書物 15～19世紀のナチュラルヒストリー& アート」 町田市立国際版画美術館 令和5年3月18日(土)～5月21日(日)
ジョン・マーティン	ノアの大洪水	
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』『ビザンティン期の柱頭 トルチェッロとサン・マルコ聖堂』	
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』『サン・マルコ聖堂 百合形柱頭の詳細』	
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』『ビザンティン期の廃墟 リオ・ディ・カ・フォスカリ』	
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』『ビザンティン期の廃墟 リオ・ディ・カ・フォスカリ』	
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』『リオ・ディ・カ・フォスカリ邸 推定復元図』	
ジョン・ラスキン	『ヴェネツィアの建築』『カ・ベルナルド・モチェニーゴ 窓の方立柱の柱頭』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『ヤコブの梯子』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『旅人の喜び』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『神の花』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『蛇の舌』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『ベツレヘムの星』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『淋しい木陰』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『白い庭』	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』『火の木』	
クリストファー・ドレッサー 著	『植物学の基礎』	
クリストファー・ドレッサー 著	『植物学の手引き』	
クリストファー・ドレッサー 著	『アート・オブ・デコラティヴ・デザイン』	

3) 収蔵作品等の掲載

- ・三木宗策《威容抱慈(坂上田村麻呂像)》
『TJMOOK 新発見でここまでわかった！日本の古代史』宝島社、令和4年5月12日。
- ・肖像写真「故高橋由一享年六十七歳像」
「開運！なんでも鑑定団」(テレビ東京系列)、放送日：令和4年5月17日。
- ・北沢楽天《やまとひめとブリタニヤ》
歴史雑誌「EPOCH」(オンライン出版物)英国ランカスター大学、令和4年9月1日。
- ・松田緑山『大日本政府 舊公債証書』金三百圓
増野恵子著「近代歴史画の萌芽—国立銀行紙幣の歴史・神話イメージ」、『もやもや日本近代美術』編集委員会編、勉誠社、令和4年10月。
- ・白瀧幾之助《編物をする少女》
「日本の近代洋画における技法と画題の展開—白瀧幾之助の活動を題材に—」京都女子大学、令和5年1月。
- ・ジーン・インジェロー他著、A. B. ホートン画『家庭の思想と情景』より、22ページ図版
ロンゴス著、ジョージ・ソーンリー訳、チャールズ・リケッツ、チャールズ・シャノン画『ダフニスとクロエ』より、96-97頁。
『令和4年度群馬県立近代美術館研究紀要』令和5年3月28日。
- ・サー・アルフレッド・イースト《村の茶店、箱根》
「岩崎家による西洋絵画の購入について—岩崎弥之助宛加藤高明書簡に基づく考察」、『三菱史料館論集24号』、令和5年3月。
- ・北沢楽天《やまとひめとブリタニヤ》
菊池裕子著『「工芸」から「この国」の『日本美術史』を脱帝国主義化する：ジェンダー、伝統、サステナビリティ』、『近代日本—「この国」の芸術をめぐって』月曜社、令和5年夏。
- ・肖像写真「故高橋由一享年六十七歳像」
『三島通庸機関誌第3号』、初代山形県令三島通庸をNHK大河ドラマに推薦する米沢市万世会。

4) 収蔵作品修復状況

◆アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ《箱根の秋》

技法・材質：水彩・紙

制作年：不詳

寸法：27.5×48.0cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 洋紙が用いられ、旧処置により紙製パネルに接着されている。
- パネルの側面部に、かつて作品をマットに固定した縁貼りテープが残っている。
- 全体に経年による褪色がみられる。
- マットでおおわれていた箇所の内側に、窓型の褪色が生じている。

修復内容

- 刷毛、練りゴムを使用し乾式洗浄。
- 縁貼りテープの側面からはみ出た部分をカット、側面に収まる部分を生麩糊とメチルセルロースの混合液で接着。
- 低反射アクリル、Book型マット、緩衝材、裏蓋、吊り金具、トンボ金具等新調。
- 和紙ヒンジとカルボキシメチルセルロースを用いて、作品をベースマットに固定。
- 旧裏蓋に接着されていたラベル類を取り外し、和紙と生麩糊を用いて裏打ち後、新しい裏蓋に移設。

◆サー・フランク・ブランギン《エリザベス女王の乗船を待つゴールデン・ハインド号》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1903-05年

寸法：76.2×61.0cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 旧ワニス塗布されており、黄化している。
- ワックス裏打ちと補彩の旧処置が施されている。
- 全面に亀裂が生じている。
- 支持体に大きなたわみがある。

修復内容

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 支持体裏面の清掃、殺菌(エタノール水)。
- 画面洗淨(精製水、希アンモニア水)。
- 旧ワニス除去(ミネラルスピリット+エタノール(1:3))。
- 絵具層の剥落部に充填剤(ワックス)を詰めマチエールに合わせて整形。
- 画面に防黴剤(チアベンダゾールなど)入りのワニスを塗布。
- 充填整形部等に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ダンマル樹脂ワニスを噴霧。
- 額縁裏面に泥足を取り付け、吊り金具、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆土橋 醇《喜望の星》

技法・材質：油彩、水彩・紙

制作年：1977(昭和52)年

寸法：36.7×98.0cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 洋紙が用いられ、経年による劣化がある。
- 画面中央天地方向に紙の継ぎ目がある。
- 支持体は裏打ちされ、パネル(和骨)に張り込まれている。
- 裏打ち紙には全体的にしみが生じている。
- 水彩絵具の上から厚塗りの油絵具が用いられ、全体に微細な亀裂と浮き上がりが散在する。

修復内容

- 刷毛、練りゴムを使用し乾式洗淨。
- 精製水による湿式洗淨。
- 浮き上がり接着(チョウザメ膠水溶液、イソプロパノール)。
- 低反射アクリル、窓マット、泥足材、吊り金具を新調。
- 裏枠、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆高木背水《紅海の夕焼け》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：不詳

寸法：45.8×33.5cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 旧ワニス塗布されており、黄化している。
- 木枠の下辺に水染み、裏面全体に油性染みがある。
- 全体的に亀裂が生じており、厚塗り部分は浮き上がり、地塗り層から細かな剥落が散在している。

修復内容

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 支持体裏面の清掃、殺菌(エタノール水)。
- 画面洗淨(精製水)。
- 旧ワニス除去(キシレン)。
- 裏面を殺菌(エタノール水)。
- 絵具層の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰めマチエールに合わせて整形。
- 画面に防黴剤(チアベンダゾールなど)入りのワニスを塗布。
- 充填整形部や樹脂層の黄化が著しい部分に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ダンマル樹脂ワニスを噴霧。
- 額縁の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰め整形。
- 額縁の充填部と剥落部にアクリル樹脂絵具で補彩。
- 額縁裏面に泥足を取り付け、吊り金具、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆亀井竹二郎《大和国春日ノ神社若宮ノ夜景》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1875(明治8)年

寸法：48.2×66.3cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 旧ワニスが塗布されており、劣化により白濁している。
- 全面がチョーキングしており、描画内容が不鮮明。
- 天地方向の亀裂が広範囲に生じている。
- 中央上部の突傷があり、傷周囲は地塗り層から剥落している。
- 画布にたわみがあり、支持体は波形に変形している。

修復内容

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 支持体裏面の清掃、殺菌(エタノール水)。
- 支持体の張りしろ裏面に、麻布をBEVAシートで接着し耳補強。
- 支持体変形部の裏面を加湿し、支持体の変形を修正。
- 画面洗浄(精製水)。
- 旧ワニスを除去(ミネラルスピリット+エタノール(2:1))。
- 絵具層の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰めマチエールに合わせて整形。
- 充填整形部に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ダンマル樹脂ワニスを噴霧。
- ターレンス社製のマットワニスを噴霧。
- 額縁裏面に泥足を取り付け、吊り金具、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆亀井至一《東京上野之景》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1874(明治7)年

寸法：24.1×31.3cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 額縁で隠れていた部分以外の絵具層に油焼け、画面全体に亀裂が生じている。
- 亀裂の伴った浮き上がりや剥落もみられる。
- 木枠が薄く不安定、木枠と画布が釘止めされていない。
- 画布にたわみが生じている。織り糸も細い。
- 額縁には擦傷が広範囲に生じている。

修復内容

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 支持体裏面の清掃、殺菌(エタノール水)。
- 支持体の張りしろ裏面に、麻布をBEVAシートで接着し耳補強。
- 画面洗浄(精製水、エタノール水)。
- 新調した木枠に張り込む。
- 絵具層の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰めマチエールに合わせて整形。
- 画面に防黴剤(チアベンダゾールなど)入りのワニスを塗布。
- 充填整形部に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ダンマル樹脂ワニスで噴霧。
- 額縁裏面に泥足を取り付け、吊り金具、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆亀井竹二郎《大和国龍田川景》

技法・材質：油彩・厚紙

制作年：1876～78(明治9～11)年

寸法：22.8×29.6cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 旧ワニスが厚く塗布されており、全体に塗りむらがある。
- 旧ワニスは茶褐色に焼けている。
- 下辺に地塗りからの剥落が集中している。
- 支持体(厚紙)の裏面に破れがみられる
- 額縁には擦傷が広範囲に生じている。

修復内容

- 画面洗浄(精製水)。
- 旧ワニスを軽減除去(キシレン)。
- 支持体裏面の清掃、殺菌(エタノール水)。
- 絵具層の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰めマチエールに合わせて整形。

- 画面に防黴剤(チアベンダゾールなど)入りのワニスを塗布。
- 充填整形部や旧補彩の上層に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ダンマル樹脂ワニスを噴霧。
- 額縁の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰め整形。
- 額縁の充填部と剥落部にアクリル樹脂絵具で補彩。
- 額縁に吊り金具、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆亀井竹二郎《蜷川与志肖像》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1877(明治10)年

寸法：34.1×25.7cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 旧ワニス塗布されており、黄化が著しく、劣化により白濁している。
- 下辺と左辺に剥落がある。
- 下辺中央部浮き上がりが生じている。
- 画面周辺に張り皺、中央には波形に変形が生じている。
- 中央右部に水性染みがある。
- 額縁の深さが浅いため、作品が裏面に飛び出している。

修復内容

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 支持体裏面の清掃、殺菌(エタノール水)。
- 支持体の張りしろ裏面に、麻布をBEVAシートで接着し耳補強。
- 支持体変形部の裏面を加湿、加圧しながら変形修正。
- 画面洗浄(精製水、エタノール水)。
- 絵具層の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰めマチエールに合わせて整形。
- 画面に防黴剤(チアベンダゾールなど)入りのワニス塗布。
- 充填整形部と絵具層の剥落部に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ダンマル樹脂ワニスを噴霧。
- 額縁裏面に泥足を取り付け、吊り金具、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆亀井家資料《夜の船》

技法・材質：油彩・紙

制作年：不詳

寸法：26.0×35.0cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 洋紙が用いられている。
- 広範囲に支持体の欠損があり、大きな破れがある。
- 支持体裏面には、天地方向に細かな間隔で、筋状の変形が生じている。
- 裏面には汚れやしみ、テープ痕が認められる。
- 支持体の破れた部分に絵具層の剥落が集中している。
- 広範囲に白い付着物(紙の繊維)がある。

修復内容

- 和紙に生麩糊を塗布し破れ口に接着、補強。
- 紙繊維が付着した部分にダンマル樹脂ワニスを塗布し、色調の回復と光沢の調整。
- 中性ボードに張り込む。

◆亀井家資料《女性図(表)／風景(裏)》

技法・材質：油彩・紙

制作年：不詳

寸法：(台紙)42.0×30.0cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 台紙の真中が破れ、ほかにも折れや染み等の損傷がある。
- 「女性図」上辺に本紙の欠損がある。また、本紙周辺や中央の破れ部分等に本紙と台紙の剥がれがある。
- 「女性図」本紙には、こすれや染み等、一部皺も生じている。
- 「風景」本紙に支持体変形や皺が生じている。また、破れや欠損などの損傷がある。

○本紙の周囲には接着剤跡が付着している。

修復内容

- 刷毛、練りゴムを使用し画面洗浄。
- 和紙に生麩糊を塗布し破損部接着、補強。
- 補紙部分に水彩絵具、パステルを用いて補彩。

◆亀井家資料《葡萄》

技法・材質：油彩・紙

制作年：不詳

寸法：42.0×30.0cm

修復者：(有)修復研究所21

処置前の状態

- 支持体に画面側に向かって反りが生じている。
- 左下に支持体の欠損。画面中央、左右方向に支持体の折れ。
- 支持体が折れた部分に絵具層の剥落が集中している。
- 画面広範囲に白いしみが、左上部に黒い染みがある。

修復内容

- 刷毛、練りゴムを使用し画面洗浄。
- 和紙に生麩糊を塗布し破損部接着、補強。
- ダンマル樹脂ワニスを塗布し、色調の回復と光沢の調整。

5) その他の保存管理事業

燻蒸

作業日時：令和5年1月15日(日)～1月21日(土)

燻蒸箇所：常設展示室(容積合計7,984m³)

使用薬剤：エキヒュームS

施工業者：東化研株式会社

効果判定：殺虫、殺卵、殺カビすべて100%(公益財団法人文化財虫菌害研究所による判定)

V 利用者数

美術館総利用者数 107,430人

1) 展覧会 87,288人

展覧会観覧者数

(人)

展覧会名	会 期	日 数	観覧者数
横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展	令和4年4月23日～6月5日	38	5,100
光と遊ぶ超体験型ミュージアム 魔法の美術館	令和4年6月18日～8月28日	62	34,796
永遠のソール・ライター	令和4年9月10日～10月23日	38	5,061
開館30周年記念展① 記録する眼 豊穣の時代	令和4年11月3日～令和5年1月9日	52	2,506
開館30周年記念展② ヨハネ・パウロ2世美術館展	令和5年1月28日～3月26日	50	8,442
企画展小計		240	55,905
常設展	令和4年4月1日～令和5年3月31日		2,846
企画展観覧券で常設展も観覧した人数			28,537
合 計			87,288

(内訳)

(人)

		企画展計	日本美術院の作家たち展	魔法の美術館	永遠のソール・ライター	記録する眼 豊穣の時代	ヨハネ・パウロ2世美術館展	常設展	企画展観覧券で常設展も観覧した人数	
有 料	個 人	一 般	24,071	1,685	14,975	2,668	855	3,888	1,117	13,870
		高・大	1,570	128	720	198	68	456	209	1,198
		65歳以上	6,521	1,800	1,587	635	449	2,050		3,783
		計	32,162	3,613	17,282	3,501	1,372	6,394	1,326	18,851
	団 体	一 般	72	3	10	7	7	45	10	66
		高・大	76	1	23	51	1	0	0	26
		65歳以上	19	0	0	2	16	1		18
		計	167	4	33	60	24	46	10	110
	友の会	一 般	350	72	49	61	61	107	41	195
		高・大	31	4	7	5	5	10	2	16
		65歳以上	493	114	56	57	98	168		226
		計	874	190	112	123	164	285	43	437
小 計		33,203	3,807	17,427	3,684	1,560	6,725	1,379	19,398	
無 料	高 齢 者							609		
	シルバー=友の会							18		
	一 般							169		
	高・大							17		
	中学生以下(個人)	14,658	71	14,071	170	74	272	91	4,403	
	中学生以下(団体)	1,349	164	760	254	72	99	466	1,249	
	減 免	217	66	112	39	0	0	0	217	
	ピラ下券	2,300	367	786	338	260	549	2	1,142	
	招 待 券	1,067	143	302	277	201	144	5	527	
	ネ ー ム	966	147	324	121	207	167	48	519	
	障 が い 者	916	202	333	78	67	236	18	575	
	療育/精神	672	51	373	69	38	141	14	253	
	同 伴 者	557	82	308	31	27	109	10	254	
	小 計	22,702	1,293	17,369	1,377	946	1,717	1,467	9,139	
合 計		55,905	5,100	34,796	5,061	2,506	8,442	2,846	28,537	

2) 教育普及事業 20,142 人

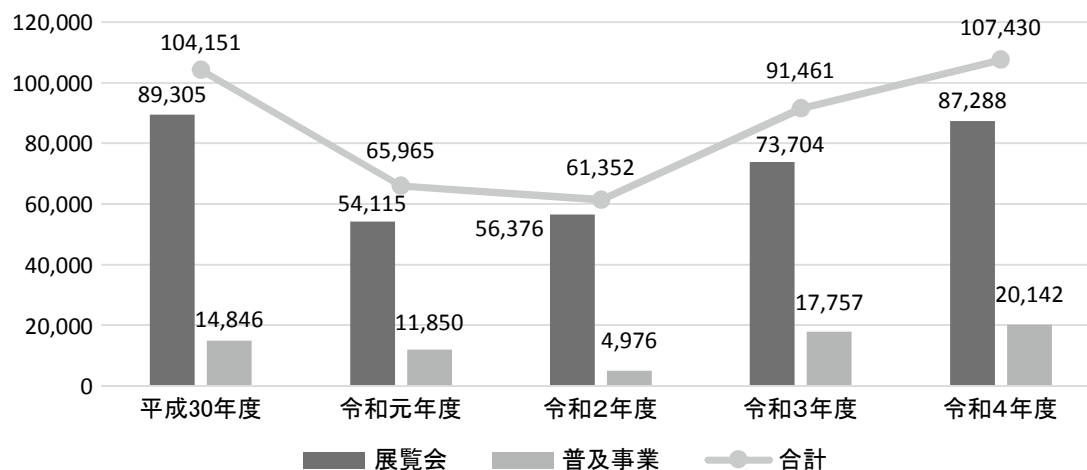
事業名	回数	参加者数	備考
講演会	5	352	
シンポジウム	1	40	
美術講座	7	155	
スライドトーク	4	102	
ギャラリートーク	8	207	
文化講座	3	286	
ミュージアム・シアター	4	200	
ミュージアム・コンサート	1	145	
ワークショップ	6	77	
風土記の丘の美術展	1	14,984	令和4年7月23日～8月19日
風土記の空	1	1,579	令和4年11月15日～令和5年1月9日
鑑賞学習対応(延べ人数)	1	2,008	小学校34校、中学校10校 高校3校 計47校
博物館実習	1	7	令和4年7月29日～8月3日
合計	43	20,142	

3) 過去5年間の利用者数推移状況

年 度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総利用者数(人)		104,151	65,965	61,352	91,461	107,430
展覧会	展覧会観覧者数(人)	89,305	54,115	56,376	73,704	87,288
	企画展本数(本)	3	5	4	5	5
普及事業	普及事業参加者数(人)	14,846	11,850	4,976	17,757	20,142
	普及事業回数(回)	58	48	15	30	43

※令和2年度の企画展本数は、「石田智子展」(令和元年度事業)を除く。

利用者数推移グラフ



4) 教育普及事業別参加者数の推移状況

年 度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
アート・トーク	参加者数(人)	395	248	令和元年度で 終了	令和元年度で 終了	令和元年度 で終了
	回数	4	3			
講演会	参加者数(人)	482	376	140	229	352
	回数	4	5	3	4	5
シンポジウム	参加者数(人)	-	-	-	-	40
	回数	-	-	-	-	1
文化講座	参加者数(人)	-	-	14	54	286
	回数	-	-	1	1	3
美術講座	参加者数(人)	482	172	123	0	155
	回数	9	5	3	0	7
スライドトーク	参加者数(人)	-	-	-	303	102
	回数	-	-	-	10	4
アーティスト トーク	参加者数(人)	-	-	-	110	-
	回数	-	-	-	2	-
ギャラリートーク	参加者数(人)	208	470	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	207
	回数	8	18			8
ワークショップ	参加者数(人)	107	160	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	26	77
	回数	4	4		2	6
ミュージアム・ シアター	参加者数(人)	181	316	74	304	200
	回数	2	4	2	6	4
ミュージアム・ コンサート	参加者数(人)	630	0	488	72	145
	回数	2	0	2	1	1
グリーティング・ イベント	参加者数(人)	-	222	-	-	-
	回数	-	4	-	-	-
風土記の丘の 美術展	参加者数(人)	5,431	4,304	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	4,525	14,984
	回数	1	1		1	1
風土記の空	参加者数(人)	2,351	1,793	1,787	8,735	1,579
	回数	1	1	1	1	1
鑑賞学習対応	参加者数(人)	3,773	3,780	2,270	3,394	2,008
	受入れ校数	50	47	49	60	47
博物館実習	参加者数(人)	5	5	5	5	7
	受入れ校数	3	5	3	3	5
ジュニア・ インターンシップ	参加者数(人)	3	4	0	0	0
	受入れ校数	2	2	0	0	0

VI 管理運営

1) 関係法規

郡山市立美術館条例

【設置】

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項及び博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

【名称及び位置】

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市立美術館	郡山市安原町字大谷地130番地の2

【管理】

第3条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、これを管理する。

【事業】

第4条 美術館の事業は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1)美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2)美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3)美術に関する展覧会、講演会、講習会及び映写会等を開催すること。
- (4)前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(平22条例78・一部改正)

【観覧料】

第5条 美術館の常設展(美術品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める常設展観覧料を納入しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、常設展観覧料を無料とする。

(1)国民の祝日に関する法律(昭和23年法律178号)に規定する休日に観覧する場合

(2)次項に定める企画展を観覧する場合

2 美術館の企画展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第2に定める企画展観覧料を納入しなければならない。

(平10条例35・一部改正)

【撮影等の許可及び特別観覧料】

第6条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術品等の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める特別観覧料を納入しなければならない。

【観覧料等の不返還】

第7条 既納の常設展観覧料、企画展観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

(1)観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなかったとき。

(2)その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

【観覧料等の免除】

第8条 市長は、公用又は公益上特に必要があると認めるときは、観覧料等の全部又は一部を免除することができる。

【入館の制限等】

第9条 次の各号のいずれかに該当するときは、教育委員会は、美術館への入館を拒み、又は退館させることができる。

(1)公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認めるとき。

(2)施設、設備又は美術品等をき損又は汚損するおそれがあると認めるとき。

(3)この条例及びこれに基づく規則に違反し、又はそのおそれがあると認めるとき。

(4)前各号に掲げるもののほか、管理運営上適当でないとき。

(平22条例78・一部改正)

【賠償責任】

第10条 施設、設備又は美術品等をき損、汚損、又は滅失した者は、教育委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し又は免除することができる。

(平22条例78・一部改正)

【美術館協議会】

第11条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、10名以内とし、その任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例31・一部改正)

【職員】

第12条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

【委任】

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年7月1日から施行する。ただし、第5条から第9条の規定は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成10年郡山市条例第35号)

この条例は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第5条第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年郡山市条例第31号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成15年郡山市条例第25号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成22年郡山市条例第78号)

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の日前に撮影等の許可を受けた者に係る特別観覧料の額については、なお従前の例による。

附 則(平成24年郡山市条例第31号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の際限にこの条例による改正前の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員である者は、この条例による改正後の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員とみなす。

附 則(平成30年郡山市条例第41号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1 【第5条関係】

(平10条例35・平13条例31・平22条例78・一部改正)
常設展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき 100円	1人1回につき 70円
一 般	1人1回につき 200円	1人1回につき 150円

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 65歳以上の者は、無料とする。

別表第2 【第5条関係】

(平13条例31・平15条例25・平30条例41・一部改正)
企画展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき1,500円の範囲内でそのつど市長が定める額	
一 般		

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 団体観覧料は、個人観覧料の10分の8に相当する額とし、10円未満の端数が生じた場合は、これを10円に切り上げる。

別表第3 【第6条関係】

(平22条例78・一部改正)
特別観覧料

区 分	観覧料	
撮影	モノクローム	1点1回につき 1,600円
	カラー	1点1回につき 3,100円
模 写 模 造	1点1日につき	2,100円
熟 覧	1点1回につき	200円

備考

- 1 一双屏風は、一双以内を1点とする。
- 2 一揃えの卷子(巻物をいう。)は、一揃え以内を1点とする。
- 3 対幅は、対幅以内を1点とする。
- 4 写真撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

郡山市立美術館条例施行規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館条例(平成4年郡山市条例第29号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

【観覧券の交付】

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、常設展観覧料を納入した者に対して郡山市立美術館常設展観覧券(第1号様式)を、企画展観覧料を納入した者に対してそのつど定める郡山市立美術館企画展観覧券を交付する。

【撮影等の許可】

第3条 美術品その他美術に関する資料の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、郡山市立美術館撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する撮影等を許可したときは、郡山市立美術館撮影等許可書(第3号様式)を申請人に交付する。

【観覧料等の返還】

第4条 条例第7条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなくなった場合
当該観覧料等の全額

(2) その他教育委員会が特別の理由があると認めた場合
教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市立美術館観覧料等返還請求書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

【観覧料等の免除】

第5条 条例第8条に規定する観覧料等の免除は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として常設展を観覧する場合常設展観覧料を全部免除

(2) その他教育委員会が観覧料等を免除することが適当と認める場合教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市立美術館観覧料等免除申請書(第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請に基づき観覧料等の免除を決定したときは、郡山市立美術館観覧料等免除決定通知書(第6号様式)を申請人に交付する。

【開館時間】

第6条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

【休館日】

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日とする。)

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

【遵守事項】

第8条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、美術品等をき損若しくは汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(4) 風紀及び秩序を乱さないこと。

(5) その他職員の指示に従うこと。

【委任】

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成6年教委規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に様式の規定に基づいて作成されている用紙は、この規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成15年教委規則第4号)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の様式の規定により作成されている用紙は、改正後の規則の様式の規定にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

郡山市立美術館協議会規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)の会議運営について必要な事項を定めるものとする。

【招集】

第2条 協議会は、郡山市立美術館長(以下「館長」という。)が招集する。

2 会議開催の場所及び日時は、付議すべき事項とともに、あらかじめ委員に通知しなければならない。

【定例会及び臨時会】

第3条 協議会は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は年2回とし、臨時会は必要があるときに招集する。

【会長及び副会長】

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長及び副会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

【職務】

第5条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

【会議】

第6条 協議会は、委員の過半数で成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長が決する。

【庶務】

第7条 協議会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の会議に必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、平成4年7月1日から施行する。

郡山市美術品収集評価委員会設置要綱

【設置】

第1条 郡山市が美術品を収集するため、その適正な評価等を行うに当たり、有権者の意見を聴くために開催する郡山市美術品収集評価委員会(以下「委員会」という。)について必要な事項を定めるものとする。

【委員会の役割】

第2条 会議は次の事項について意見交換を行う。

- (1)美術品の選定評価に関すること。
- (2)美術品の寄託又は、寄贈に関すること。
- (3)美術品選定のための資料の収集その他専門的な事項に関すること。

【委員会の構成】

第3条 委員会の委員は、8名以内とし、美術に関する専門的知識を有する者のうちから教育長が依頼する。

2 委員の依頼期間は、2年以内とする。

3 委員会に座長を置き、委員の互選により定める。

【会議】

第4条 委員会の会議は、教育長が招集する。

2 会議は、座長が進行する。

3 座長に事故あるときは、あらかじめ座長の指名する者が会議を進行する。

【庶務】

第5条 委員会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、昭和63年6月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年7月1日から施行する。

2) 名簿・組織（令和4年度）

郡山市立美術館協議会

◎会長 ○副会長

（任期：令和2年6月1日～令和4年5月31日）

- 鈴木 裕之 郡山市立河内小学校長
- 半沢 一寛 郡山市立西田学園校長
- 源田 浩一 日本大学工学部情報工学科教授
- 馬場 典枝 FMいわきパーソナリティ
- 宗像 利訓 本郷焼・宗像窯9代目
- 高澤 俊郎 画家
- 斎藤由美子 白沢ふれあい文化ホール館長
- ◎荒木 康子 福島県立美術館専門員
- 瀬谷 賢次 福島交通株式会社郡山支社長
- 目黒 朋子 (公募)教育のための科学研究所

（任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日）

- 平塚 学 郡山市立河内小学校長
- 横田 勝秋 郡山市立第四中学校長
- 源田 浩一 日本大学工学部情報工学科教授
- 馬場 典枝 FMいわきパーソナリティ
- 宗像 利訓 本郷焼・宗像窯9代目
- 高澤 俊郎 画家
- 斎藤由美子 白沢ふれあい文化ホール副専門学芸員
- ◎荒木 康子 福島県立美術館専門員
- 瀬谷 賢次 福島交通株式会社郡山支社長
- 高橋 真貴子 (公募)尚志高等学校非常勤講師

郡山市立美術館収集評価委員会

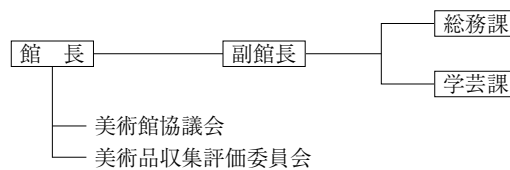
（任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日）

- 齋藤 美保子 郡山女子大学短期大学部副学長
- 古田 亮 東京芸術大学大学美術館教授
- 早川 博明 福島県立美術館前館長
- 猿渡 紀代子 (公財)三溪園保勝会副理事長
- 吉田 尊子 岩手県立美術館学芸普及課長
- 濱崎 礼二 宮城県美術館副館長
- 杉村 浩哉 慶応義塾大学文学部教授
- 唐澤 昌宏 国立工芸館長

郡山市立美術館職員

- | | |
|----------|-------|
| 館長 | 菅野 洋人 |
| 副館長兼学芸課長 | 杉原 聡 |
| 総務課長 | 井上 高志 |
| 総務課主査 | 伊藤 恵子 |
| 総務課主任学芸員 | 工藤 一記 |
| 学芸課主任主査 | 中山 恵理 |
| 学芸課主任主査 | 永山多貴子 |
| 学芸課主任学芸員 | 富岡 進一 |
| 学芸課主査 | 田中有沙子 |
| 学芸課主査 | 新田 量子 |
| 学芸課主査 | 川上 恵理 |
| 学芸員 | 塚本 敬介 |
| 学芸員 | 鈴木えみこ |

■組織図



3) 建築設備概要・平面図・面積表

■敷地面積	38,420.24㎡
[建築概要]	
■建築面積	3,776.52㎡
■建築床面積	6,848.37㎡
■駐車場面積	3,300㎡ 収容台数 乗用車123台 バス 8台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
展示室壁	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス(二面サンドブラスト加工)
展示室床	不燃クロス貼ペンキ拭取仕上げ 木製フローリング(ホワイトオーク)
■設計	(株)TAK建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	(株)方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	(株)和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	(株)ユアテック郡山営業所
空調和建設工事	高砂・菱和特定建設工事共同体
情報防火設備工事	(株)ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業(株)
昇降機設置工事	フジテック(株)仙台営業所
■工期	着工：1990(平成2)年12月18日 竣工：1992(平成4)年6月30日
■建築費	40億円
[設備概要]	
■電気設備	
受電	3相3線、6KV、50Hz
変圧器	電灯：単相3線、210/15V、100KVA×3 動力：3相3線、210V、500KVA×2、300KVA×2
蓄電池	シール形鉛蓄電池100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン228PS、出力3相200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、LEDスポットライト、直管式LED
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV監視装置(監視カメラ、14型カラーモニター・四分割型)
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

■空気調和設備

熱源設備

空冷ヒートポンプチラー(圧縮機50KW) 4台

暖房能力：524KW、冷房能力：724KW

水冷チラー(圧縮機40KW)

暖房能力：198KW、冷房能力：157KW

空調設備

4管式恒温恒湿制御方式(収蔵庫系統)、4管式再熱制御方式(展示室系統)

VAV方式(普及部門諸室系統)

外調機+ファンコイルユニット方式(事務管理諸室系統)

空調機+ファンコイルユニット方式(エントランスホール・ロビー系統)

その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

■給排水設備

給水設備

圧力給水方式 受水槽10㎡、副受水槽1.5㎡

給湯設備

電気温水器(貯湯量224ℓ、10KW)電気湯沸器(貯湯量40ℓ、4KW)

消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消化設備(収蔵庫)

■くん蒸設備

常圧・減圧兼用式4.0㎡、ミニガスベンベ脱着方式

■昇降機設備

乗用

750Kg、11人乗り(車椅子対応)

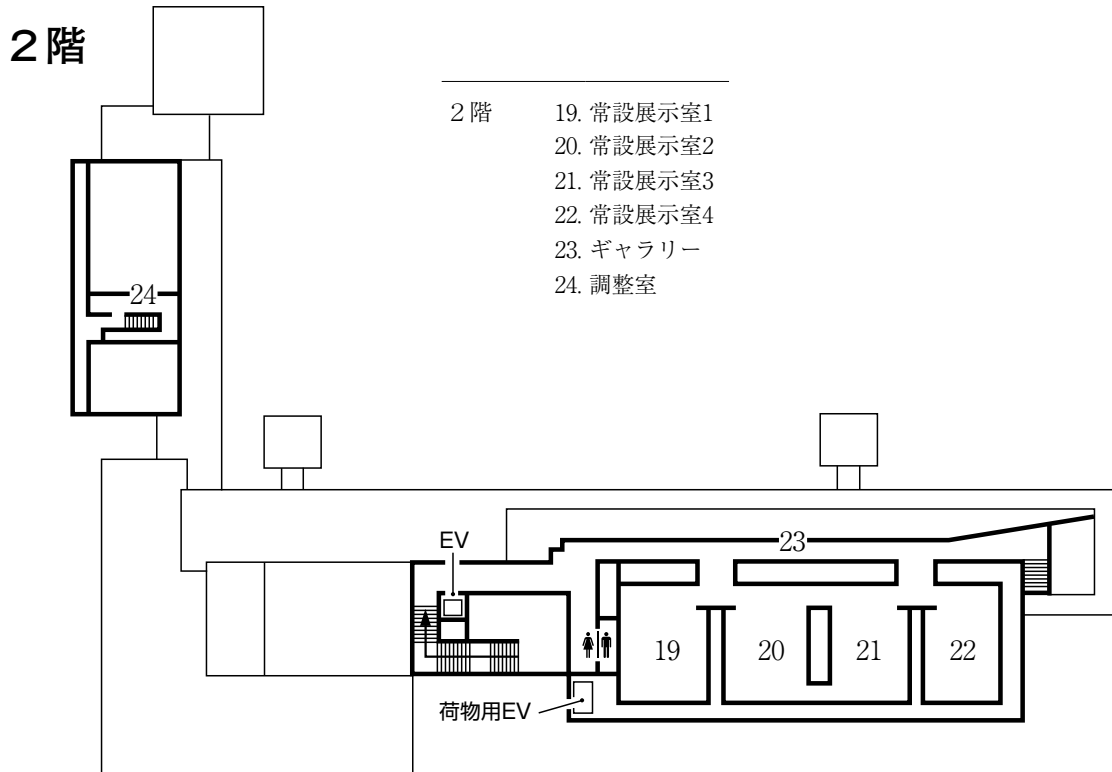
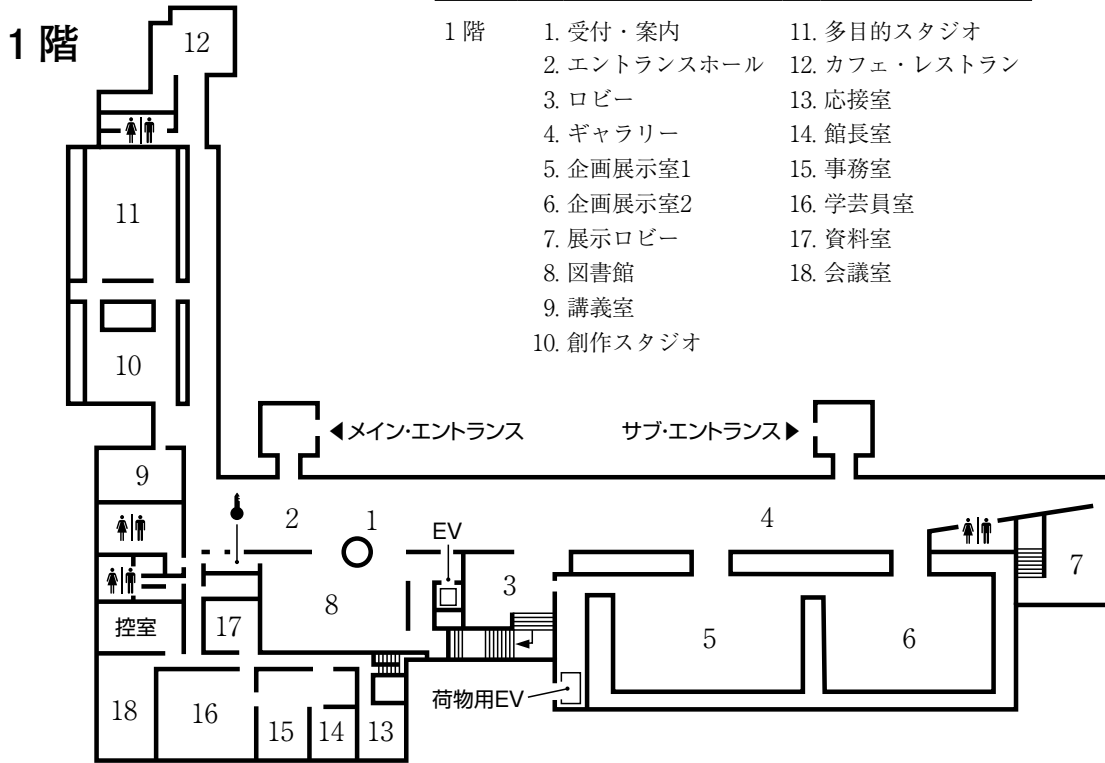
荷物用

3,000 Kg、油圧加速制御

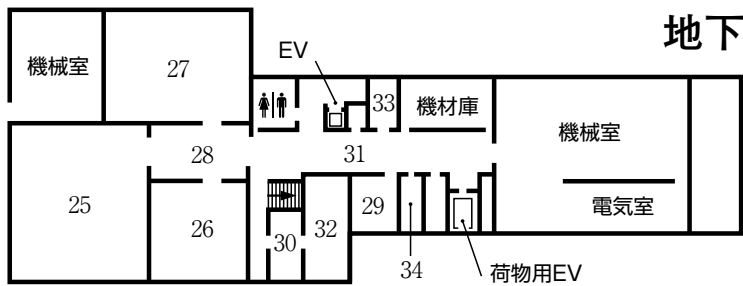
テーブルリフター

2,000 Kg

■平面図・面積表



- 地下
- 25. 収蔵庫1
 - 26. 収蔵庫2
 - 27. 収蔵庫3
 - 28. 収蔵庫前室
 - 29. 修復室
 - 30. 中央監視室
 - 31. 荷解場
 - 32. トラックヤード
 - 33. くん蒸室
 - 34. 清掃員室



部門名	面積	階	室名	面積
展示部門	2,330.38 m ²	2	常設展示室1~4	932.51 m ²
		1	企画展示室1~2、展示ロビー	1,333.24 m ²
		B1・1	器材庫、エレベーター前室	64.63 m ²
収蔵部門	1,040.28 m ²	B1	収蔵庫1~3	618.35 m ²
		B1	収蔵庫前室	61.48 m ²
		B1	器材庫	69.25 m ²
		B1	荷解場	238.71 m ²
		B1	くん蒸室	19.10 m ²
		B1	修復室	33.39 m ²
教育普及部門	570.34 m ²	1	多目的スタジオ	196.42 m ²
		1	創作スタジオ	122.40 m ²
		1	講義室	56.87 m ²
		1	図書室(ビデオコーナーを含む)	194.65 m ²
研究研修部門	117.45 m ²	1	学芸員室	117.45 m ²
管理部門	852.19 m ²	B1	中央監視室	24.22 m ²
		B1	機械室	520.43 m ²
		1	事務室	79.85 m ²
		1	館長室	32.48 m ²
		1	会議室	73.92 m ²
		1	応接室	38.10 m ²
		B1・1	控室	54.52 m ²
		1	資料室	28.67 m ²
サービス部門	702.62 m ²	1	エントランスホール	222.77 m ²
		1	ギャラリー	344.72 m ²
		1	ロッカールーム	16.69 m ²
		1	カフェ・レストラン	118.44 m ²
その他	1,235.11 m ²	B1・1・2	廊下、階段、便所、その他	1,235.11 m ²
計	6,848.37 m ²			6,848.37 m ²

4) 利用案内

■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350

E-mail : bijutsukan@city.koriyama.lg.jp

ホームページ

<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>



■開館時間

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

■休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

■交通案内

- 郡山駅から美術館まで約4km
- 乗用車 駐車場(123台、バス8台収容・料金は無料)
- バス 郡山駅前5番のりばから『美術館経由東部ニュータウン行』乗車、「郡山市美術館」下車すぐ。(所要時間10分)



■観覧料

	常設展		企画展	
	個人	団体 (20名以上)	個人	団体 (20名以上)
一般	200円	150円	規模・内容等に応じて、その都度定めた額	
高・学大生	100円	70円		
65歳以上	無料			
中学生以下	無料			
障害者手帳をお持ちの方	無料(手帳を提示)			

郡山市立美術館年報

令和4年度

令和5年6月30日発行

発行 郡山市立美術館

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

TEL 024-956-2200 FAX 024-956-2350

E-mail bijutsukan@city.koriyama.lg.jp



